平成 23 年 3 月

平成 23 年度静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援事業
（インド国グジャラート州における携帯電話を中心とする小型家電等リサイクル事業）

報告書本編

日本環境設計株式会社

これまでの成果

1. 回収ルート：スクラップ事業者ルートが量、質、価格とも現実的であることが判明。
2. 規制：リサイクル事業実施に追い風となる、電子廃棄物規制が 2012 年 5 月施行予定。
3. 事業採算性：本リサイクル事業計画時の収支計画を詳細に検討し、達成できる見通し。
4. 環境負荷：排ガスには基準値（労働安全衛生法）を越える値は検出されず。

仕様書に定める業務内容に対する結果

（1）インド国グジャラート州における携帯電話や廃電子基板の回収ルート確立のための調査の結果

インド国グジャラート州における携帯電話を中心とする小型家電等リサイクル事業（以下、本リサイクル事業という）は、インド国内で廃携帯電話や廃電子基板を回収し、インド国内（カウンターパートである GEPIL 社敷地内）に設置する予定の装置で減容油化し、日本国内に輸入後、日本の銅精錬事業者に貴金属の抽出を委託するというビジネスモデルである。

インドでは、廃携帯電話や廃電子基板の市場があり、市場価格が存在している。そこで、本実現可能性調査等支援事業ではリサイクル事業が成立するように、廃携帯電話や廃電子基板の長期、安定、大量、合理的価格にて買収できるルートの確立に関する下記の5つのルートに関し調査を行っており、現在までに判明した調査結果を報告する。

（ア）GEPIL 社顧客からの回収ルート

① 回収テスト： GEPIL 社既存顧客ごと事業内容をリスト化し、携帯電話や電子基板を取り扱っているかどうかを検討した。その結果、携帯電話や電子基板を

事業として取り扱っている顧客は存在しなかった。そのため、GEPIL 社既存顧客からの回収は、回収量、回収潜在量ともに期待できないことがわかった。その理由は次の通りである。顧客から廃携帯電話や廃電子基板を回収する場合、それらを業務として取り扱っているかどうかでその可能性は大きく変化する。すなわち、業務で電子基板を取り扱う事業者である場合は、多くの場合生産ロスや不良在庫が発生し、それらを我々が回収する可能性がある。しかしながら、それらを業務として取り扱わない場合、残された可能性は従業員等が使用し不要となった携帯電話や電子機器を回収することである。ただし、インドにおいては不要となった廃携帯電話や廃電子機器は中古やスクラップ品として売却することが一般的であり、事業者が回収する事による実効性は低いと考えられる。GEPIL 社既存顧客に従業員から不要となった携帯電話や電子機器を買い取ることを打診したところ、全ての事業者に断られるか反応がなかった。一方で、携帯電話や電子機器を業務で取り扱う事業者を開拓し、GEPIL 社新規顧客とし回収テストを実施することを検討している。特にインドで携帯電話もしくは電子機器を製造している日系事業者を選定し、GEPIL 社回収し我々がリサイクルすることを日印双方から日系事業者に対して提案する方針である。

② 回収にかかる課題の整理： 日系事業者が回収に応じる場合の条件、特に廃携帯電話や廃電子基板の回収に関するインド国内の規制について検討中である。

③ 買取り価格の試算： 日系事業者への営業が開始された後に実施する。

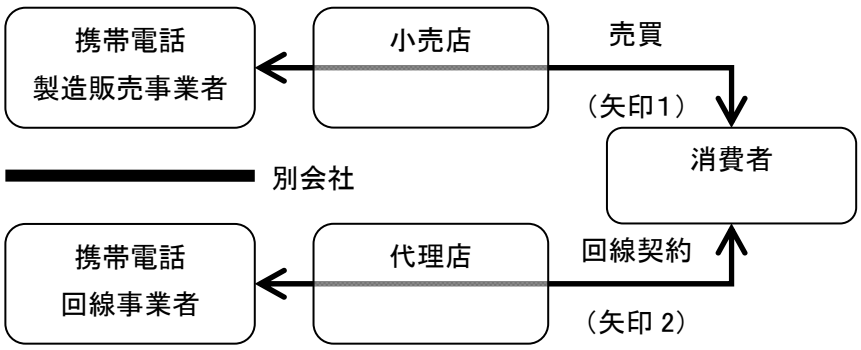
（イ）携帯電話等 E-Waste を製造・販売する事業者からの回収ルート

① 回収テスト： 携帯電話を製造・販売する事業者に対して回収ルート構築について提案した。回収ルート構築とは回収センターを設営したり小売店舗等に回収ボックスを設置したりして、消費者から廃携帯電話を直接回収する体制を構築することをいう。さらには、そこで回収された携帯電話を我々がリサイクルすることも併せて提案している。その結果、携帯電話製造販売事業者大手 2 社から GEPIL 社と我々が回収ルートを構築しリサイクルすることに対して前向きな回答を得た。今後は回収テストの実施等具体策について検討することとなる。携帯電話製造販売事業者大手 2 社から前向きな回答を得られたことの背景には、インドにおいて 2012 年 5 月より電子廃棄物規制が施行されることがあると考えられる。電子廃棄物規制は参考資料 1 を参照。この規制は電子廃棄物の再生・再利用促進を目指すものであり、電子機器を製造販売する事業者（輸入業者や組み立て事業者を含む）、消費者、回収事業者、リサイクル事業者それぞれに対して義務が課せられている。このうち、電子機器を製造販売する事業者は、製造過程で生じた電子廃棄物のリサイクルを義務づけられるばか

りではなく、不要となった自社電子機器を消費者から回収し、リサイクルすることを義務づけられることとなっている。本電子廃棄物規制について、GEPIL 社と我々は本実現可能性調査等支援事業実施前よりインド廃棄物行政機関である Pollution Control Board と電子廃棄物リサイクルの在り方について意見交換を続けてきた。この取組みもその施行について寄与したものと考えている。このように、我々のリサイクルが電子廃棄物規制の施行という形でインド社会に受容されようとしていると言える。

② 回収にかかる課題の整理: 携帯電話製造販売事業者大手 2 社の廃携帯電話の回収を実施するには、携帯電話回線事業者の代理店にその回収を依頼することが効果的で有ると考えられ、今後は携帯電話回線事業者との調整が必要となる。インドでは、日本と違い携帯電話製造販売事業者と携帯電話回線事業者は別会社であるのが一般的である。消費者はいったん携帯電話を購入すると携帯電話製造販売事業者との関係は製品保証契約関係のみとなり、一方で、日々の通話料金の支払い等は携帯電話回線事業者と実施することとなる。さらに、インドでは携帯電話の回線契約は店頭でのプリペイド式が一般的であり、消費者は頻繁に携帯電話回線事業者の代理店店頭に赴いている。つまり、携帯電話における回収を実施する環境動線は携帯電話製造販売事業者ではなく、携帯電話回線事業者と構築するべきである。しかしながら、本電子廃棄物規制は携帯電話回線事業者に何ら義務を課してはおらず、回収について携帯電話回線事業者の協力を得るためには、代理店に対する我々もしくは携帯電話製造販売事業者からの回収インセンティブの支払い等を検討する必要がある。また、NTT ドコモはインド TATA グループと共に携帯電話回線事業を実施しておりかつ、シェアを急速に伸ばしている。NTTドコモとの関係を構築してインド携帯電話回線事業者の説得に寄与させることも効果的であると考えられる。

インドにおける携帯電話事業の構図



携帯電話製造販売事業者は小売店等を通じて携帯電話を消費者に販売する。（矢印 1） 携帯電話を購入した事業者は、自由に携帯電話回線事業者を選んで回線契約を締結する。（矢印 2） 携帯電話製造販売事業者と携帯電話回線事業者は別会社であることが一般的である。
小売店数と代理店数を比較すると、圧倒的に代理店数のほうが多い。よって、代理店と回収ルート構築について検討するべきである。

③ 買取り価格の試算： 携帯電話製造販売事業者と携帯電話回線事業者さらにGEPIL 社と我々が調整して決定するべきものであり、4 社の枠組みが決定した後に試算する予定である。

（ウ）学校からの回収ルート

① 回収テスト： GEPIL 社がグジャラート州内 40 校へ回収ボックスを設置し、回収テストを実施した。写真 1 参照。その結果 0.07 トンを回収することが出来た。また、リサイクルとは何なのか？地球環境を守るための方法とは？といった環境教育を実施した。またそれを継続している。写真 2 参照。

写真１　学校に設置した回収ボックス

写真２　回収ボックスを設置している学校の生徒達

② 回収にかかる課題の整理: インドでリサイクルを普及させることが課題である。この課題解決には、様々な手段が考えられるが、環境教育により普及させることは最も地道であり長い時間と努力が必要であるが、最も効果的で社会的である言える。このような取組みを継続することにより、我々のリサイクルがインド社会に受容されることに繋がると考えられる。

③ 買取り価格の試算: 本ルートでの買取りは不要、つまり買取り価格は 0 ルピーである。

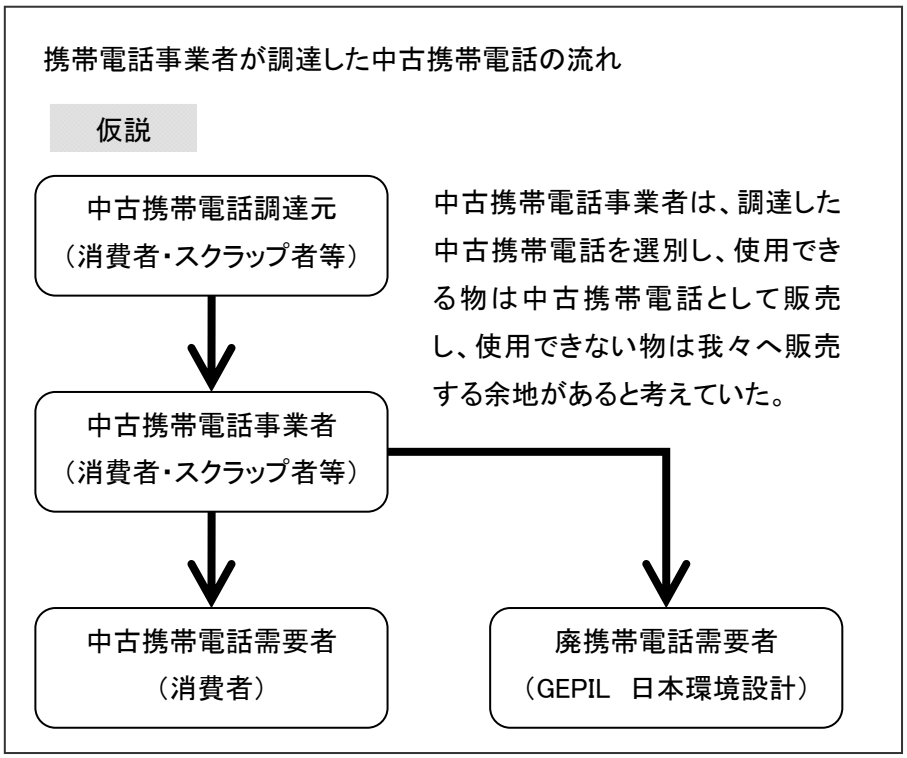
（エ）中古携帯事業者からの回収ルート

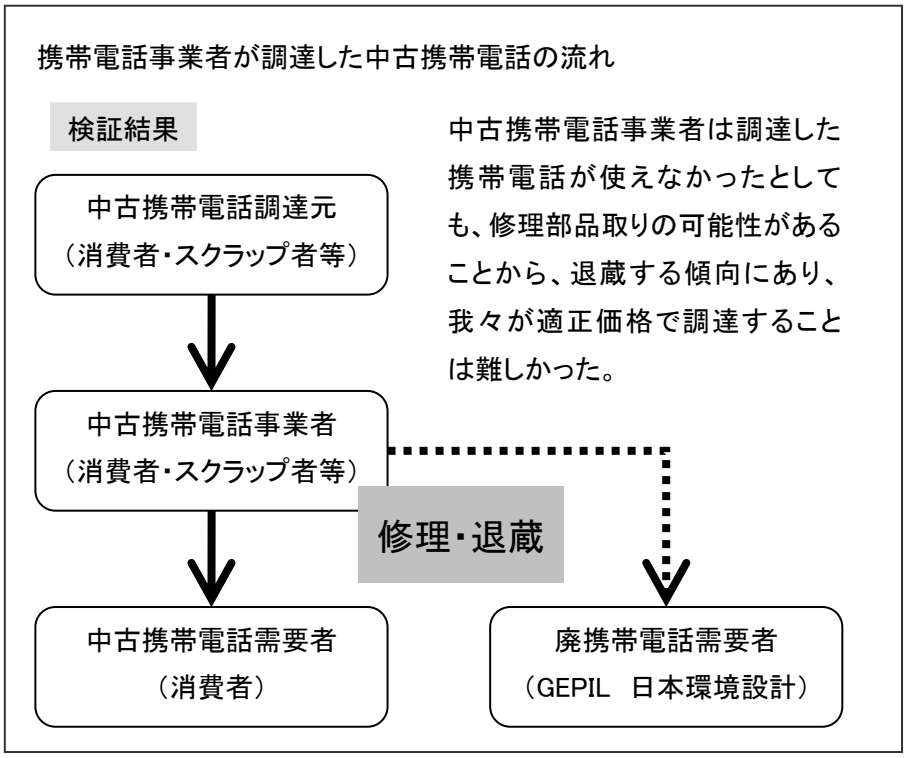
① 市場規模　回収潜在量　回収品目調査: グジャラート州の州都アーメダバードおよび第 2 の都市スーラトにある中古携帯電話事業者から下記の条件で携帯電話の回収テストを実施した。

- 壊れてしまって使用できない携帯電話を対象とする
- メーカーは問わない

- 少量でかまわない

この条件では、5 事業者より約 90kg 回収することができた。1 事業者あたりの平均ロットは 20kg/月であり、後述する買取りの平均単価は 1740 ルピー/kg であった。中古携帯電話事業者中古携帯電話事業者は主に、中古携帯電話の調達と販売、および携帯電話の修理を実施している。調達した中古携帯電話はそのまま販売するものと修理して販売するものがある。いずれにせよ中古携帯電話事業者は自社で修理することで利益を得ているようである。この修理を実施するために、携帯電話の部品取りがよく行われている。部品取りとは壊れてしまった携帯電話からまだ使える部品を取り出して、修理部品として使用することである。このため、中古携帯電話事業者は壊れてしまって使用できない携帯電話は廃棄するのではなく退蔵する傾向にあることがわかった。





中古古携帯電話事業者はスクラップ事業者と違い、携帯電話のリユースを目的に携帯電話を回収しておりまた、携帯電話として使用できるものを回収するため、中古携帯電話の調達単価もスクラップ品に比べて非常に高い。おそらく5000 ルピー/kg 程度と想定される。たとえ退蔵品だとしてもより高く調達している中古携帯電話を我々が考える調達価格（2000 ルピー/kg 程度）で調達することは難しかった。

写真 3　中古携帯電話事業者 （修理をしている。彼から 20kg 調達した。）

②　回収にかかる課題の整理：　中古携帯電話事業者に対して、退蔵している携

帯電話を我々の適正価格で買い取らせてもらえるように粘り強く説得することが課題である。

③ 買取り価格の試算： 1740 ルピー/kg

（オ）スクラップ事業者からの回収ルート

① 市場規模、回収潜在量、回収品目調査： 各都市にスクラップ業者があつまる地域があり、そこに直接出向くことにより廃携帯電話や廃電子基板を調達することが出来た。

写真 4 スクラップ事業者店頭

スクラップ事業者は、詳細は不明であるが様々なところから廃家電や廃 PC を調達してきて、店頭で部品ごとに分別解体する。20kg 程度がはいる土嚢袋をロットとして分別解体した廃電子基板を詰込むことが主なスクラップ事業者の業務である。通常は、ブローカー（中国資本が多いという噂である）がスクラップ事業者の店頭を定期的に周回し、土嚢袋ごとに値段をつけて店頭で買い付け、さらにこのようなブローカーが調達した廃電子基板はデリー郊外に集積されるようである。インド国内で廃棄される廃電子基板の市場規模は年間 40 万トンと言われているが、その半分程度はこのようなルートで回収されデリーに運ばれるようである。我々の回収潜在量は 20 万トンだと想定される。その後のルートは判明していないが、多くは水銀アマルガム法による不適切で環境負荷の高いリサイクルが実施されている可能性が指摘されている。どの程度の廃電子基板が不適切で環境負荷の高いリサイクルが実施されていて、どの程度の健康被害や環境汚染が起こっているかの統計情報は未整備であるか、もしくは公開されておらず、かつ、本実現可能性調査等支援事業の仕様書ではそれらを調査することとはなっていないため、写真 5 で示すような不適切で環境負荷の高いリサイクルによる環境汚染度合いは不明である。そのため、我々のリサイクルが実現することによる、環境負荷の低減がどの程度のもの

であるかも不明である。しかしながら、定性的には環境負荷が低減されると言って良いと考えられる。

写真 5　水銀アマルガム法による貴金属抽出のイメージ （インドで我々が撮影したものではありません）（出典：平成 14 年度 国際的水銀汚染問題への対応に関する研究　有機水銀の健康影響に関する研究のレビュー　佐藤洋　東北大学医学系研究科教授）

一方、我々は、スクラップ業者の店頭を周回し、独自に作成した回収品目ポジティブリスト（Good 基板）、回収品目ネガティブリスト（NG 基板）をもとに調達を実施した。本ルートにおいては表 1 通りの調達が実現した。

Good基板の例

NG基板の例

写真 6　Good 基板　NG 基板例

回収品目	重量(トン)
PCB-A （PC 系の廃電子基板）	8.56
PCB-C （家電系の廃電子基板）	1.04
Mobile PCB （携帯電話系の廃電子基板）	0.300
CPURAM （メモリや CPU 類）	6.71
合計	16.6

表 1　スクラップ事業者からの回収ルートテスト結果

写真 7　回収後の積替えの様子

写真 8　回収物の例 （PCB-A）

② 回収にかかる課題の整理：　前述のとおり、我々はスクラップ事業者にとって、新規参入のブローカーとして対応されるため、調達価格で不利である。つまり、商売における信頼関係、例えば、月ごとの買い付け量の調整やバーター取引の経験など、が構築されていないため調達価格は割高となることが課題である。これを解決する 2 つの方法が考えられる。

方法 1　信頼関係を構築する

スクラップ事業者との信頼関係を構築することが先決であり、そのためには毎

週定期的に調達する必要がある。

方法 2　GEPIL 社が法律認められた認可登録事業者となる

前述の通り、インドでは 2012 年 5 月より電子廃棄物規制が施行されることとなっている。この規制では、リサイクル業者は州の Pollution Control Board からの認可と登録を受けることとなっており、GEPIL 社は、前述の Pollution Control Board とのコミュニケーションと適切なリサイクルが日印両事業者の協調で可能なことから、その認可と登録を受ける予定である。本規制の施行により電子基板スクラップの流通が規制を受けることとなり、認可と登録を受けた事業者のみがその流通に関与できることとなる。一方で、適切な方法で電子基板をリサイクルするのはインド国内では難しく、本規制の認可と登録を受けることは一般のインド国内事業者は難しいことが予想される。これにより、GEPIL 社と我々は、スクラップ事業者から価格交渉力をもって調達することが出来ると考えられる。

③　買取り価格の試算：　回収品目ごとの買取り価格は下記の通りである。

品目	加重平均単価（Rs./t）
PCB-A （PC 系の廃電子基板）	351
PCB-C （家電系の廃電子基板）	216
Mobile PCB （携帯電話系の廃電子基板）	2160
CPURAM （メモリや CPU 類）	1652

表 2　回収品目ごとの買取り価格

(2) プロセス輸出にかかる事業実現可能性調査の結果報告

(ア) プロセス輸出の事業性評価

プロセス輸出の事業性評価を下記の手順で実施した。

①　携帯電話や廃電子基板等の回収対象とする範囲は、独自に作成した回収品目ポジティブリスト（Good 基板）、回収品目ネガティブリスト（NG 基板）とした。

② 循環資源や再生品の単価や市場規模、廃棄物の分別・回収制度等の政策・制度面や社会的状況等を下記の通り整理した。

- 市場規模について

インド国内の廃電子基板の流通量は年間 40 万トンである。そのうち、我々が対象とする電子基板の割合は不明であるが、一方、我々は、インドに設置する予定の電子基板類の中間処理装置（油化装置）の処理能力から年間 625 トンの回収を目標としていることから、十分な市場があると考えられる。

また、流通している 40 万トンの電子基板は貴金属が多く含まれる品位が高いものと、そうでない低品位なものが混在していると考えられる。我々は事業効率から考えて高品位品のみの調達を模索することとしている。

- 政策制度および社会的状況について

前述の通り、2012 年 5 月よりインド国内において、電子廃棄物規制「The E－waste（management and handling）Rules,201」が施行される予定である。これは、インド国内では、回収・リサイクルシステムが未整備なため電子基板の 5%程度しか適切な方法で再生・再利用されていないことや、大量の電子基板が貴金属の採取を目的として不法にインド国内に持ち込まれており、これらが環境負荷の高い方法で処理されていることが問題になっていることが、社会問題化していることへの対応と考えられる。つまり、電子基板の適切なリサイクルは社会的な要求として顕在化していると言える。次に、インドにおける電子基板処理に関する公的文書一覧を挙げる。

規制名称	概要
HW Rules Final Noti	インド国内バーゼル法
Guide lines for E-Waste	E-waste の取扱に関するガイドライン　法的根拠無はない。
The E-waste Rules	2012 年 5 月に施行される新しいルール。

表 3　インドにおける電子基板処理に関する公的文書

このように、インド国内においても電子基板類の取扱い規制について整備するべきだという社会的要求の高まりを見て取ることができ、GEPIL 社と我々のリサイクル事業に対する期待も高いと考えられる。

③ 買取り価格・回収にかかるコスト普及啓発方法を検討し、回収を実施した。その結果は前述の通りである。

④　サンプルの資源評価の結果を下記に示す。

品目	AU（ppm）	Ag（ppm）	Cu(%)
PCB-A	341	2760	20.9
PCB-C	261	2100	16.7
Mobile　PCB	260	1730	12.9
中古携帯電話	317	1930	14
CPU RAM	1430	1720	26.8

表 4　資源評価結果

⑤　上記の結果をもとに事業実施のための実現可能性を評価すると下記の通りとなった。

事業実施のための実現可能性は採算性（経済性）、環境負荷、社会受容性の3点から検討した。なお、仕様書では⑤で実現可能性を評価し、⑦で環境負荷、経済性の評価を実施することとなっていたが、ここでまとめて評価することとする。

採算性（経済性）

採算性とは、一般的にはIRRやNPVを算定することにより実施される。しかしながら、本事業においては、売上に対する投資資金使途である設備投資の償却額小さくそのため投資期間を設定することがそぐわないこと、さらに、本リサイクル事業を実施する主体がインド資本か日本資本もしくは第三国なのかで割引率大きく変化し、それがまだ確定していないことを踏まえると、現在の採算性は、損益計算で単年度評価することが適当であると考える。

年間処理量（回収量）	625	トン
貴金属含有減容油化残渣生成量	406	トン
再生油販売量	113	KL
プラント（油化減容装置）初期投資額	60,000,000	円

表5　損益計算の前提条件

この条件をもとに、現在の損益計算を実施すると下記の通りとなる。

大項目	小項目	額(円)
売上	貴金属含有油化減容残渣	650,000,000
	再生油	4,513,000
	小計	654,513,000
原価	廃携帯電話廃電子基板調達	350,625,000
	小計	350,625,000
費用	運営費	4,330,000
	プラント償却費	6,000,000
	小計	10,330,000
利益	売上－原価－費用	293,567,000

表 6　損益計算

この通り、現在の利益(費用のうち本社経費は計上していません)は 2 億 9356 万円であり、これに対する設備償却費は 600 万円である。本支援事業が開始される前の予想される利益が 3 億 1900 万円であり、本支援事業を進めることにより 2 億 9356 万円に下がっている。これは、調達価格が想定よりも高かったことに起因している。このように本リサイクル事業は、調達価格の変動リスクを内在しているが、近年の貴金属価格の高騰により十分な採算性を確保することが出来るといえる。

環境負荷

本リサイクル事業では、廃携帯電話や廃電子基板を新たにインド国内に設置する装置で減容油化することとしている。これは、リサイクルプロセスをインド国内でスタートすることによる参入障壁を設けることと、インド国内における本装置稼働による雇用を増やすこと、さらには、生産される再生油をインド国内で市場価格よりも安く提供することによる利益還元の意味がある。しかしながら、本装置の設置稼働により、あらたに環境負荷が発生してしまう事がないようにしなければならない。よって、サンプル品を対象に同様の装置を日本で稼働させることにより、新たな環境負荷が発生しないかどうか検証した。その結果を下記に示す。

対象品目	日本での油化率	環境負荷ガス分析
携帯電話	22%	可燃性ガス　Br　CN

表 7　減容油化後の環境負荷ガス分析結果

ガス分析結果から、放出されるガスは可燃性ガスおよび Br、CN など環境負荷にかかる物質は確認されなかった。また、基準値（労働安全衛生法）を越える値は検出されていない。
また、本リサイクル事業が実施されることにより、水銀法による貴金属の抽出が行われることが減少し環境負荷が低減される。その効果については、前述の通り、どの程度の健康被害や環境汚染が起こっているかの統計情報が未整備なため定量評価難しい。しかしながら、GEPIL 社と我々の本リサイクル事業が推進され取扱量が増加することにより、確実に環境負荷は低減すると言える。

社会的受容性
インドでは、電子基板の不適切なリサイクルによる健康被害と環境負荷が深刻化している。この状況を打開するために、インド国中央政府、州政府は様々な取組みを実施している。その取組みのなかでその最も大きな成果は、2012 年 5 月より施行される電子廃棄物規制である。そして、この規制において、我々のカウンターパートの GEPIL 社が認可登録される予定であることが、何よりも本リサイクル事業がインド社会に受容されるといる証左である。また、法律により認可登録されるだけでなく、スクラップ事業者との信頼関係構築の動きにより我々は廃携帯電話や廃電子基板のスクラップを実際に調達できていることも、インド社会に受容されている証と言える。

（イ）減容油化装置の設置・運営のための条件検討
本リサイクル事業において、廃携帯電話と廃電子基板を減容油化するための装置の設置に向桁調査を下記の通り実施した。

① 回収した廃携帯電話と廃電子基板からサンプルを抽出し、下記の通り保管している。

写真 9 保管の様子

② インドから日本へのサンプル輸出については現在、手続き中である。
サンプル輸出については、輸出許可と輸出業免許の取得が必要だからである。
インドでは、前述の通り新しい電子廃棄物規制が施行される予定である。この規制の施行に伴い、様々な行政権限が中央政府から州政府に委譲されており、電子廃棄物の輸出許可と輸出業免許の付与もそのうちのひとつである。このため、輸出許可と輸出業免許付与が遅れており、未だ輸出できていない。当該許可と免許は 2012 年 7 月に下りる予定である。我々当該許可と免許が下り次第、早急に輸入し、我々の実証プラントでの油化実験を実施する予定である。

③ 上記の理由により、油化率、オフガス量、重油の成分分析、重油販売評価は実証プラントでの油化実験後実施する予定である。

④ インドへの油化減容装置の設置計画
実証プラントでの油化減容が未実施であるので、詳細な計画は立案できていないが、設置予定地のみ下記の通り決定している。

写真　10　設置予定場所　（道路左側の空き地）

（ウ）廃携帯電話や廃電子基板に含まれる貴金属含有量の試験の実施

実証プラントでの油化減容が未実施であるので、実施次第貴金属含有量の分析と精錬事業者の販売可能性を評価する予定である。

なお、今後は下記のようなスケジュールで本支援事業を実施する予定である。

2012 年 04 月以降　　収集ルートの確立
2012 年 06 月　収集量・買取り単価・安定性・長期性・発展性の精査
2012 年 07 月　買付業者と契約　単価の確定
2012 年 07 月　静脈物流の構築
2012 年 08 月　サンプルの試験輸入およびテスト
油化減容による油化率、環境負荷の調査
金、銀、白金、レアメタル含有量の調査
2012 年 08 月　事業計画立案
2012 年 08 月　事業計画立案
2012 年 10 月　合弁会社設立
2012 年 12 月　油化装置の調達　設置　試運転
2013 年　本リサイクル事業開始予定

（3）検討会の結果報告

（ア）検討会1

1. 日時 ：2011 年 6 月 20 日（月）11:00 – 13:00
2. 場所 ：GEPIL Surat 本社
3. 出席者：GEPIL-Priyesh Bhatti (CEO)、Dhruv Luthra (Joint General Manager)、M. Sekhar(President)、Manish Bhimani (Manager) 、JEPLAN-高尾、JDI-大脇
4. 検討内容

1） PCB トライアル輸出と貴金属回収パイロット事業の合意

先に JEPLAN が行った貴金属包含量調査に基づき、インドにおいて発生している電子プリント基板(PCB)のうち、高水準の包含量が確認された PCB についてのみ 12MT、インドリサイクル市場から購入し、日本へ輸出したのち、貴金属回収を行うことで合意。

2） 事業を実施する上でのコスト負担について合意

発生コスト全般（購買費、輸送費、油化処理費等）について GEPIL 社。JEPLAN 社折半にてコスト負担していくことで合意

3） 回収ルートからの回収対象製品

現在 GEPIL 社の手中にある PCB6MT に加え、追加で市場から購入する PCB(category C)の手当てについては、GEPIL 社より JEPLAN 社の回収ノウハウ・経験をもとに実施したい意向を伺う。ついては JEPLAN 社中村氏をインドへ派遣し、GEPIL 社と共同して PCB 購入にあたらせることで合意。

4） 輸出手続き

e-waste の輸出手続きに必要な Ministry of Environment and Forestry からの Clearance 取得の問題が議論されたが、この取得にあたって GEPIL 社が関係省庁との調整することと、他輸出手続きに必要な手続きを GEPIL 社が三菱商事関連会社と共に行うことを確認。

5） スケジュール

7 月上旬予定される中村氏の訪印後、追加 PCB の手当て、7 月中旬には 12MT の輸出手当てを完了するべく両者調整していくことを確認。

1. 日時 ：2011 年 6 月 20 日（月）11:00 – 13:00
2. 場所 ：Surat
3. 出席者： Manish Bhimani (Manager) 、JEPLAN-高尾、JDI-大脇
4. 検討内容

スラット市内にあり、中古携帯電話取扱業者が集まるショッピングモールを訪

問し、携帯電話プリント基盤のリサイクル事情について調査を行った。携帯電話プリント基盤は一部業者により買い取られているものを除き、大部分が各店舗で保管されており、取引価格も様々。いまだリサイクル市場の確立が進んでいない様子が伺い知れた。

1. 日時 :2011 年 6 月 21 日(月)14:00 - 15:00
2. 場所 :Gujarat Pollution Control Board (GPCB), Gandhinagar
3. 出席者: GPCB－V. R. Patel (Senior Environmental Engineer)Manish Bhimani (Manager) 、JEPLAN-高尾、JDI-大脇
4. 検討内容
   1) JEPLAN 社が行う日本での携帯電話リサイクル事業の紹介
      プレゼンテーション資料を用いて日本での取り組みを紹介、インドの現状との違いについて議論すると共に、事業推進に必要な協力を要請。また必要な政策・法整備についても提案を行った。インドにおいては拡大生産者責任を盛り込んだ e-waste リサイクル法案・ガイドラインが中央政府内で審議されており、本事業の追い風となることが期待される。
   2) GEPIL 社が進めるコミュニティー啓蒙活動・GreenGene プログラムについての紹介
      e-waste や他廃棄物の適正処理にあたり、住民・産業・自治体などの各コミュニティー全体に対するリサイクル社会の意義について啓蒙活動を行っていくことの重要性を議論。Green Gene プログラムへの関心と、GPCB として積極的に活動を支援していくことを確認。

結果については、切り分けることが難しいため前述の報告にまとめている。

（イ）検討会2

1. 日時 : 2012 年 2 月 10 日 （金） 9:00 - 12:00
2. 場所 : GEPIL Surat 本社
3. 出席者 : GEPIL-Priyesh Bhatti、Dhruv Luthra、M. Sekhar、Manish Bhimani
   JEPLAN-高尾、JDI-大脇
4. 検討内容
   1) 回収ルート開拓の進捗について
   2) 輸出許可取得進捗について
   3) 輸出手続きについて
   4) 日本への研修について
   5) 回収品の検査

結果については、切り分けることが難しいため前述の報告にまとめている。

なお、定期的に GEPIL 社は本支援事業の内容について州政府と連絡、相談を実施している。

以上

平成 23 年 3 月

平成 23 年度静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援事業
（インド国グジャラート州における携帯電話を中心とする小型家電等リサイクル事業）

報告書資料編

日本環境設計株式会社

（1） The E-waste(management and handling) Rules, 2011

（2） 27.06.08 guidelines for E-Waste

（3） 写真集

MINISTRY OF ENVIRONMENT AND FORESTS

NOTIFICATION

New Delhi, the 12th May, 2011

S.O. 1035(E).—Whereas, the draft rules, namely the e-waste (Management and Handling) Rules, 2010 were published by the Government of India in the Ministry of Environment and Forests vide number S.O.1125 (E), dated 14th May, 2010 in the Gazette of India, Extraordinary Part II, Section 3, Sub-section (ii) dated 14th May, 2010 inviting objections and suggestions from all persons likely to be affected thereby, before the expiry of the period of sixty days from the date on which copies of the Gazette containing the said notification were made available to the public;

AND WHEREAS the copies of the said Gazette were made available to the public on the 14th day of May, 2010;

AND WHEREAS the objections and suggestions received within the said period from the public in respect of the said draft rules have been duly considered by the Central Government;

NOW, THEREFORE, in exercise of the powers conferred by sections 6, 8 and 25 of the Environment (Protection) Act, 1986 (29 of 1986), the Central Government hereby makes the following rules, namely:-

CHAPTER I

PRELIMINARY

1. **Short title and commencement.** –

(1) These rules may be called the e-waste (Management and Handling) Rules, 2011.
(2) They shall come into effect from 1st May, 2012.

2. **Application.** – These rules shall apply to every producer, consumer or bulk consumer involved in the manufacture, sale, purchase and processing of electrical and electronic equipment or components as specified in Schedule-I, collection centre, dismantler and recycler of e-waste and shall not apply to-

(a) batteries as covered under the Batteries (Management and Handling) Rules, 2001 made under the Act;
(b) Micro and small enterprises as defined in the Micro, Small and Medium Enterprises Development Act, 2006 (27 of 2006); and
(c) radio-active wastes as covered under the provisions of the Atomic Energy Act, 1962 (33 of 1962) and rules made there under.

3. **Definitions.** – (1) In these rules, unless the context otherwise requires, -

(a) 'Act' means the Environment (Protection) Act, 1986 (29 of 1986);
(b) 'authorisation' means permission for handling, collection, reception, storage, transportation, dismantling, recycling, treatment and disposal of e-waste granted under sub-rule (3) of rule 9;
(c) 'bulk consumer' means bulk users of electrical and electronic equipment such as Central Government or State Government Departments, public sector undertakings, banks, educational institutions, multinational organizations, international agencies and private companies that are registered under the Factories Act, 1948 and Companies Act, 1956;
(d) 'central pollution control board' means the Central Pollution Control Board constituted under sub-section (1) of section 3 of the Water (Prevention and Control of Pollution) Act, 1974 (6 of 1974);
(e) 'collection centre' means a centre established, individually or jointly or a registered society or a designated agency or a company or an association to collect e-waste;
(f) 'consumer' means any person using electrical and electronic equipment excluding the bulk consumers;
(g) 'dismantler' means any person or registered society or a designated agency or a company or an association engaged in dismantling of used electrical and electronic equipment into their components;
(h) 'disposal' means any operation which does not lead to recycling, recovery or reuse and includes physico-chemical or biological treatment, incineration and deposition in secured landfill;
(i) 'environmentally sound management of e-waste' means taking all steps required to ensure that e-waste are managed in a manner which shall protect health and environment against any adverse effects, which may result from hazardous substance contained in such wastes;
(j) 'electrical and electronic equipment' means equipment which is dependent on electric currents or electro-magnetic fields to be fully functional;
(k) 'e-waste' means waste electrical and electronic equipment, whole or in part or rejects from their manufacturing and repair process, which are intended to be discarded;
(l) 'extended producer responsibility' means responsibility of any producer of electrical or electronic equipment, for their products beyond manufacturing until environmentally sound management of their end-of-life products.
(m)'facility' means any location wherein the process incidental to the collection, reception, storage, segregation, refurbishing, dismantling, recycling, treatment and disposal of e-waste are carried out;
(n) 'Form' means form appended to these rules;

(o) 'historical e-waste' means e-waste generated from electrical and electronic equipment as specified in Schedule I, which was available on the date from which these rules come into force;

(p) 'orphaned products' means non branded or assembled electrical and electronic equipment as specified in Schedule I or those produced by a company, which has closed its operations or has stopped product support;

(q) 'producer' means any person who, irrespective of the selling technique used;

(i) manufactures and offers to sell electrical and electronic equipment under his own brand; or

(ii) offers to sell under his own brand, assembled electrical and electronic equipment produced by other manufacturers or suppliers; or

(iii) offers to sell imported electrical and electronic equipment;

(r) 'recycler' - means any person who is engaged in recycling or reprocessing of used electrical and electronic equipment or assemblies or their component;

(s) 'Schedule' means the Schedule appended to these rules;

(t) 'State Government in relation to a Union territory' means, the Administrator thereof appointed under article 239 of the Constitution;

(u) 'state pollution control board'- means the concerned State Pollution Control Board or the Pollution Control Committee of the Union Territories constituted under sub-section (1) of section 4 of the Water (Prevention and Control of Pollution) Act, 1974;

(v) 'transporter' means a person engaged in the off-site transportation of e-waste by air, rail, road or water

(2) Words and expressions used in these rules and not defined but defined in the m Act shall have the meanings respectively assigned to them in that Act.

CHAPTER II

RESPONSIBILITIES

4. **Responsibilities of the producer.** – The producer of electrical and electronic equipment listed in Schedule I shall be responsible for,-

(1) collection of e-waste generated during the manufacture of electrical and electronic equipment and channelizing it for recycling or disposal;

(2) collection of e-waste generated from the 'end of life' of their products in line with the principle of 'Extended Producer Responsibility' and to ensure that such e-wastes are channelized to registered dismantler or recycler. Producer shall, as necessary, ensure collection and channelization by authorizing collection agencies;

(3) setting up collection centers or take back systems either individually or collectively;

(4) financing and organizing a system to meet the costs involved in the environmentally sound management of e-waste generated from the 'end of life' of its own products and historical waste available on the date from which these rules come into force. The financing arrangement of such a system shall be transparent. The producer may choose to establish such a system either individually or by joining a collective scheme;

(5) providing contact details such as address, telephone numbers/helpline number of authorized collection centers to consumer(s) or bulk consumer(s) so as to facilitate return of used electrical and electronic equipment;

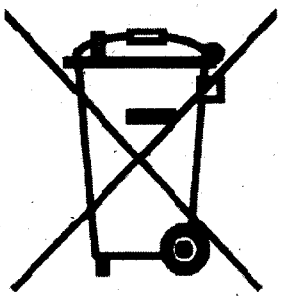
(6) creating awareness through publications, advertisements, posters, or by any other means of communication and information booklets accompanying the equipment, with regard to-

(i) information on hazardous constituents as specified in sub-rule 1 of rule 13 in electrical and electronic equipment;

(ii) information on hazards of improper handling, accidental breakage, damage and/or improper recycling of e-waste;

(iii) instructions for handling the equipment after its use, along with the Do's and Don'ts;

(iv) affixing a visible, legible and indelible symbol given below on the products or information booklets to prevent e-waste from being dropped in garbage bins containing waste destined for disposal;



(7) obtaining an authorization from the concerned State Pollution Control Board or Pollution Control Committee in accordance with the procedure under rule 9;

(8) maintaining records in Form 2 of the e-waste handled and make such records available for scrutiny by the State Pollution Control Board or the Committee concerned.

(9) filing annual returns in Form 3, to the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee concerned, on or before the 30th day of June following the financial year to which that return relates.

5. **Responsibilities of collection centers** –Collection centre shall-

(1) obtain an authorization in accordance with the procedure under rule 9 from the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee concerned as the case may be and provide details such as address, telephone numbers/helpline number, e-mail, etc. of such collection centre to the general public;

(2) ensure that the e-waste collected by them is stored in a secured manner till it is sent to registered dismantler(s) or recycler(s) as the case may be;

(3) ensure that no damage is caused to the environment during storage and transportation of e-waste;

(4) file annual returns in Form 3, to the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee concerned on or before the 30th day of June following the financial year to which that return relates; and

(5) maintain records of the e-waste handled in Form 2 and make such records available for scrutiny by the State Pollution Control Board or the Pollution Control Committee concerned.

6. **Responsibilities of consumer or bulk consumer.** –

(1) Consumers or Bulk consumers of electrical and electronic equipment listed in Schedule I shall ensure that e-waste generated by them is channelised to authorized collection center(s) or registered dismantler(s) or recycler(s) or is returned to the pick-up or take back services provided by the producers; and

(2) bulk consumers shall maintain records of e-waste generated by them in Form 2 and make such records available for scrutiny by the State Pollution Control or the Pollution Control Committee concerned.

7. **Responsibilities of dismantler** – Every dismantler shall-

(1) obtain authorization and registration from the State Pollution Control Board in accordance with the procedure under the rules 9 and 11;

(2) ensure that no damage is caused to the environment during storage and transportation of e-waste;

(3) ensure that the dismantling processes do not have any adverse effect on the health and the environment;

(4) ensure that the facility and dismantling processes are in accordance with the standards or guidelines published by the Central Pollution Control Board from time to time;

(5) ensure that dismantled e-waste are segregated and sent to the registered recycling facilities for recovery of materials;

(6) ensure that non-recyclable/non- recoverable components are sent to authorized treatment storage and disposal facilities;

(7) file a return in Form 3, to the State Pollution Control Board or the Pollution Control Committee concerned as the case may be, on or before 30th June following the financial year to which that return relates;

(8) not process any e-waste for recovery or refining of materials, unless he is registered with State Pollution Control Board as a recycler for refining and recovery of materials.

8. **Responsibilities of recycler**– Every recycler shall-

(1) obtain authorization and registration from State Pollution Control Board in accordance with the procedure under the rules 9 and 11;

(2) ensure that the facility and recycling processes are in accordance with the standards laid down in the guidelines published by the Central Pollution Control Board from time to time;

(3) make available all records to the Central or State Pollution Control Board or Pollution Control Committee of Union territories for inspection;

(4) ensure that residue generated thereof is disposed of in a hazardous waste treatment storage disposal facility;

(5) file annual returns in Form 3, to the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee concerned as the case may be, on or before 30th June following the financial year to which that returns relate.

CHAPTER III

PROCEDURE FOR SEEKING AUTHORIZATION AND REGISTRATION FOR HANDLING E-WASTES

9. **Procedure for grant of authorization.–**

(1) Every producer of electrical and electronic equipment listed in Schedule I, collection centre, dismantler and recycler of e-waste shall obtain an authorization from the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee of Union territories concerned as the case may be.

(2) Every producer of electrical and electronic equipment listed in Schedule I, collection centre, dismantler and recycler of e-waste shall make an application, within a period of three months starting from the date of commencement of these rules in Form 1 to the State Pollution Control Board or the Pollution Control Committee for grant of authorization:

Provided that any person authorized under the provisions of the Hazardous Wastes (Management, Handling and Transboundary Movement) Rules, 2008, prior to the date of coming into force of these rules shall not be required to make an application for authorization till the period of expiry of such authorization:

Provided further that a recycler of e-waste who has not been authorized under the provisions of the Hazardous Waste (Management, Handling and Transboundary Movements) Rules, 2008, shall require auhtorization following the procedure mentioned in sub-rule (1) above.

(3) On receipt of the application complete in all respects for the authorization, the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee of Union territories may, after such enquiry as it considers necessary and on being satisfied that the applicant possesses appropriate facilities, technical capabilities and equipment to handle e-waste safely, grant within a period of ninety days an authorization in Form-1(a) to the applicant to carry out safe operations in the authorized place only, which shall be valid for a period of five years.

(4) The State Pollution Control Board or Pollution Control Committee of the Union territories after giving reasonable opportunity of being heard to the applicant shall refuse to grant any authorization.

(5) Every person authorized under these rules shall maintain the record of e-waste handled by them in Form-2 and prepare and submit to the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee, an annual return containing the details specified in Form 3 on or before 30th day of June following the financial year to which that return relates.

(6) An application for the renewal of an authorization shall be made in Form-1 before sixty days of its expiry and the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee may renew the authorization after examining each case on merit and subject to the condition that there is no report of violation of the provisions of the Act or the rules made there under or the conditions specified in the authorization.

(7) Every producer of electrical and electronic equipment listed in Schedule I, collection centre, dismantler and recycler of e-waste shall take all steps, wherever required, to comply with the conditions specified in the authorization.

(8) The State Pollution Control Board in case of a respective State or the Pollution Control Committee in case of Union territories shall maintain a register containing particulars of the conditions imposed under these rules for environmentally sound management of e-waste, and it shall be open for inspection during office hours to any person interested or affected or a person authorized by him on his behalf.

10. **Power to suspend or cancel an authorization**.-

(1) The State Pollution Control Board or Pollution Control Committee of the Union territories may, if in its opinion, the holders of the authorization has failed to comply with any of the conditions of the authorization or with any provisions of the Act or these rules and after giving a reasonable opportunity of being heard and after recording reasons thereof in writing cancel or suspend the authorization issued under these rules for such period as it considers necessary in the public interest.

(2) Upon suspension or cancellation of the authorization, the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee of the Union territories may give directions to the persons whose authorization has been suspended or cancelled for the safe storage of the e-waste and such person shall comply with such directions.

PROCEDURE FOR REGISTRATION WITH STATE POLLUTION CONTROL BOARD

11. **Procedure for grant of registration.** –

(1) Every dismantler or recycler of e-waste shall make an application, within a period of three months starting from the date of commencement of these rules, in Form-4 in triplicate to the State Pollution Control Board accompanied with a copy of the following documents for the grant or renewal of registration:-

(i) consent to establish granted by the State Pollution Control Board under Water (Prevention and Control of Pollution) Act, 1974, (25 of 1974) and Air (Prevention and Control of Pollution) Act, 1981(21 of 1981);

(ii) certificate of registration issued by the District Industries Centre or any other government agency authorized in this regard;

(iii) proof of installed capacity of plant and machinery issued by the District Industries Centre or any other government agency authorized in this behalf;

(iv) in case of renewal, a certificate of compliance of effluent and emission standards, treatment and disposal of hazardous wastes as applicable from the State Pollution Control Board or Committee of the Union territories or any other agency designated for this purpose:

Provided that any person registered under the provisions of the Hazardous Wastes (Management, Handling and Transboundary Movements) Rules, 2008, prior to the date of coming into force of these rules shall not be required to make an application for registration till the period of expiry of such registration:

Provided further that a recycler of e-waste who has not been registered under the provisions of the Hazardous Waste (management, Handling and Transboundary Movements) Rules, 2008, shall require registration following the procedure mentioned in sub-rule (1) of rule 11.

(2) The State Pollution Control Board, on being satisfied that the application is complete in all respects and that the applicant is utilizing environmentally sound technologies and possess adequate technical capabilities, requisite facilities and equipment to recycle and process e-waste, may grant registration to such applicants stipulating therein necessary conditions as deemed necessary for carrying out safe operations in the authorized place only.

(3) The State Pollution Control Board shall dispose of the application for registration within a period of ninety days from the date of the receipt of such application complete in all respects.

(4) The registration granted under these rules shall be valid initially for a period of two years and thereafter for a period of maximum five years on subsequent renewals from the date of its issue, unless the operation is discontinued by the unit or the registration suspended or cancelled by the State Pollution Control Board.

(5) The State Pollution Control Board may after giving reasonable opportunity of being heard to the applicant, by order, refuse to grant or renew.

(6) The State Pollution Control Board shall monitor the compliance of conditions stipulated for granting registration.

(7) The State Pollution Control Board may cancel or suspend a registration granted under these rules, if it has reasons to believe that the registered recycler has failed to comply with any of the conditions of registration, or with any provisions of the Act or rules made there under, after giving an opportunity to the recycler to be heard and after recording the reasons there for.

(8) An application for the renewal of registration shall be made in Form-4 before sixty days of its expiry and the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee may renew the registration after examining each case on merit and subject to the condition that there is no report of violation of the provisions of the Act or the rules made there under or the conditions specified in the registration.

(9) The dismantler or recycler shall maintain records of the e-waste purchased and processed and shall file annual returns of its activities of previous year in Form 3 to the State Pollution Control Board or Pollution Control Committee on or before 30th day of June of every year.

(10) The Central Government and the Central Pollution Control Board may issue guidelines for standards of performance for recycling processes from time to time.

CHAPTER IV

12. **Procedure for storage of e-waste,-** Every producer, collection centre, dismantler or recyclers may store the e-waste for a period not exceeding one hundred and eighty days and shall maintain a record of collection, sale, transfer, storage and segregation of wastes and make these records available for inspection:

Provided that the State Pollution Control Board may extend the said period up to one year in the following cases, namely:

(i). Collection centers in the States, which do not have any registered dismantling or recycling facility; or Dismantlers in the States, which do not have any registered recycling facility;

(ii). the waste which needs to be specifically stored for development of a process for its recycling or reuse.

CHAPTER V

REDUCTION IN THE USE OF HAZARDOUS SUBSTANCES IN THE MANUFACTURE OF ELECTRICAL AND ELECTRONIC EQUIPMENT

13. **Reduction in the use of hazardous materials in the manufacture of electrical and electronic equipment.–**

(1) Every producer of electrical and electronic equipment listed in schedule I shall ensure that, new electrical and electronic equipment does not contain Lead, Mercury, Cadmium, Hexavalent Chromium, polybrominated biphenyls or polybrominated diphenyl ethers:

Provided that a maximum concentration value of 0.1% by weight in homogenous materials for lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls and polybrominated diphenyl ethers and of 0.01% by weight in homogenous materials for cadmium shall be permitted.

(2) The applications listed in Schedule-II shall be exempted from provisions of sub-rule (1) of rule 13.

(3) The sub-rule(1) of rule 13 shall not apply to components of electrical and electronic equipment manufactured or placed in the market six years before the date of commencement of these rules.

(4) In the event of such reduction in the hazardous materials used in the electrical and electronic equipment, the detailed information on the constituents of the equipment shall be provided in the product information booklet.

(5) Imports or placement in the market for new electrical and electronic equipment shall be permitted only for those which are compliant to provisions of sub-rule (1) of rule 13.

(6) Manufacture and supply of electrical and electronic equipment used for defense and other similar strategic applications shall be excluded from provisions of sub-rule (1) of rule 13.

(7) Such reduction in use of hazardous substances in manufactured or imported electrical and electronic equipment shall be achieved within a period of two years from the date of commencement of these rules.

CHAPTER VI

MISCELLANEOUS

14. **Duties of Authorities.** - subject to other provisions of these rules, the authorities shall perform duties as specified in Schedule-III.

15. **Annual Report.-**

(1) The State Boards and the Committees shall prepare and submit to the Central Pollution Control Board an annual report with regard to the implementation of these rules by the 30th September every year in Form 5.

(2) The Central Pollution Control Board shall prepare the consolidated annual review report on management of e-waste and forward it to the Central Government along with its recommendations before the 30th December every year.

16. **Transportation of e-waste.** –

(1) In case of transportation of e-waste for final disposal to a facility in a State other than the State where the waste is generated/collected, the transporter shall obtain 'No Objection Certificate' from the State Pollution Control Board concerned and shall intimate the State Pollution Control Board of the State(s) of transit.

(2) In case of transportation of e-waste for dismantling or for recycling in a State other than the State where the waste is generated or collected, the transporter shall give prior intimation to the State Pollution Control Boards concerned and the State Pollution Control Boards of the State(s) of transit.

17. **Accident reporting and follow-up.-** where an accident occurs at the facility processing e-waste or during transportation of e-waste, the producer, transporter, dismantler, or recycler, as the case may be, shall report immediately to the State Pollution Control Boards or Committees of Union territories about the accident.

18. The collection, storage, transportation, segregation, refurbishment, dismantling, recycling and disposal of e-waste shall be in accordance with the procedures prescribed in the guidelines published by the Central Pollution Control Boards from time to time.

SCHEDULE I

(see rules 2 (1), 3(j) and (k))

Categories of electrical and electronic equipment covered under the rules

Sr. No.	Categories of electrical and electronic equipment
i.	**Information technology and telecommunication equipment :** Centralised data processing: Mainframes, Minicomputers Personal computing: Personal Computers (Central Processing Unit with input and output devices) Laptop Computers(Central Processing Unit with input and output devices) Notebook Computers Notepad Computers Printers including cartridges Copying equipment Electrical and electronic typewriters User terminals and systems Facsimile Telex Telephones Pay telephones Cordless telephones Cellular telephones Answering systems
ii.	**Consumer electrical and electronics:** Television sets (including sets based on (Liquid Crystal Display and Light Emitting Diode technology), Refrigerator, Washing Machine, Air-conditioners excluding centralised air conditioning plants

SCHEDULE II

[See rule 13(2)]

Applications, which are exempted from the requirements of sub-rule (1) of rule 13 (applicable to categories of electrical and electronic equipment as listed in Schedule I)

	Exemption
1	Mercury in single capped (compact) fluorescent lamps not exceeding (per burner):
1(a)	For general lighting purposes < 30 W:5 mg
1(b)	For general lighting purposes ≥ 30 W and < 50 W:5 mg
1(c)	For general lighting purposes ≥ 50 W and < 150 W:5 mg
1(d)	For general lighting purposes ≥ 150 W:15 mg
1(e)	For general lighting purposes with circular or square structural shape and tube diameter ≤ 17 mm: 7mg
1(f)	For special purposes: 5 mg
2(a)	Mercury in double-capped linear fluorescent lamps for general lighting purposes

	not exceeding (per lamp):
2(a)(1)	Tri-band phosphor with normal lifetime and a tube diameter > 9 mm (e.g. T2): 4 mg
2(a)(2)	Tri-band phosphor with normal lifetime and a tube diameter ≥ 9 mm and ≥ 17 mm (e.g. T5): 3 mg
2(a)(3)	Tri-band phosphor with normal lifetime and a tube diameter > 17 mm and ≤ 28 mm (e.g. T8): 3.5 mg
2(a)(4)	Tri-band phosphor with normal lifetime and a tube diameter > 28 mm (e.g. T12): 5 mg
2(a)(5)	Tri-band phosphor with long lifetime (≥ 25000 h): 8 mg
2(b)	Mercury in other fluorescent lamps not exceeding (per lamp):
2(b)(1)	Linear halophosphalte lamps with tube > 28 mm (e.g T 10 and T12): 10 mg
2(b)(2)	Non- linear halophosphate lamps (all diameters): 15 mg
2(b)(3)	Non- linear tri-band phosphor lamps with tube diameter > 17 mm (e.g. T9):15 mg
2(b)(4)	Lamps for other general lighting and special purposes (e.g. induction lamps): 15mg
3	Mercury in cold cathode fluorescent lamps and external electrode fluorescent lamps (CCFL and EEFL) for special purposes not exceeding (per lamp):
3(a)	Short length (≤ 500 mm): 3.5mg
3(b)	Medium length (> 500 mm and ≤ 1500 mm): 5mg
3(c)	Long length (> 1500 mm): 13mg
4(a)	Mercury in other low pressure discharge lamps (per lamp)
4(b)	Mercury in High Pressure Sodium (vapour) lamps for general lighting purposes not exceeding (per burner) in lamps with improved colour rendering index Ra>60:
4(b)-I	P ≤ 155 W: 30mg
4(b)-II	155 W < P ≤ 405 W: 40mg
4(b)-III	P > 405 W: 40mg
4(c)	Mercury in other High Pressure Sodium (vapour) lamps for general lighting purposes not exceeding (per burner):
4(c)-I	P ≤ 155 W: 25mg
4(c)- II	155 W <P≤ 405 W: 30mg
4(c)-III	P> 405 W: 40mg
4(d)	Mercury in High Pressure Mercury (vapour) lamps (HPMV)
4(e)	Mercury in metal halide lamps (MH)
4(f)	Mercury in other discharge lamps for special purposes not specifically mentioned in this Schedule
5(a)	Lead in glass of cathode ray tubes
5(b)	Lead in glass of fluorescent tubes not exceeding 0.2 % by weight
6(a)	Lead as an alloying element in steel for machining purposes and in galvanized steel containing up to 0.35% lead by weight
6(b)	Lead as an alloying element in aluminum containing up to 0.4%lead by weight
6(c)	Copper alloy containing up to 4% lead by weight
7 (a)	Lead in high melting temperature type solders (i.e. lead-based alloys containing 85% by weight or more lead)
7(b)	Lead in solders for servers, storage and storage array systems, network infrastructure equipment for switching, signaling, transmission, and network management for telecommunications
7(c)- I	Electrical and electronic components containing lead in a glass or ceramic other than dielectric ceramic in capacitors, e.g. piezoelectronic devices, or in a glass or ceramic matrix compound.
7(c)-II	Lead in dielectric ceramic in capacitors for a rated voltage of 125 V AC or 250 V DC or higher

7(c)-III	Lead in dielectric ceramic in capacitors for a rated voltage of 125 V AC or 250 V DC
8(a)	Cadmium and its compounds in one shot pellet type thermal cut-offs.
8(b)	Cadmium and its compounds in electrical contacts
9	Hexavalent chromium as an anticorrosion agent of the carbon steel cooling system in absorption refrigerators up to 0,75 % by weight in the cooling solution
9(b)	Lead in bearing shells and bushes for refrigerant-containing compressors for heating, ventilation, air conditioning and refrigeration (HVACR) application.
11(a)	Lead used in C-press complaining pin connector systems
11(b)	Lead used in other than C-press complaint pin connector systems
12	Lead as a coating material for the thermal conduction module C-ring
13(a)	Lead in while glasses used for optical applications
13(b)	Cadmium and lead in filter glasses and glasses used for reflectance standards.
14	Lead in solders consisting of more than two elements for the connection between the pins and the package of microprocessors with a lead content of more than 80% and less than 85% by weight
15	Lead in solders to complete a viable electrical connection between semiconductor die and carrier within integrated circuit flip chip packages.
16	Lead in linear incandescent lamps with silicate coated tubes
17	Lead halide as radiant agent in high intensity discharge (HID) lamps used for professional reprography applications.
18(a)	Lead as activator in the fluorescent powder (1 % lead by weight or less) of discharge lamps when used as specialty lamps for diazoprinting reprography, lithography, insect traps, photochemical and curing processes containing phosphors such as SMS ((Sr, Ba)2MgSi2O7:Pb)
18(b)	Lead as activator in the fluorescent powder (1 % lead by weight or less) of discharge lamps when used as sun tanning lamps containing phosphors such as BSP (BaSi2O5:Pb)
19	Lead with PbBiSn-Hg and PbInSn-Hg in specific compositions as main amalgam and with PbSn-Hg as auxiliary amalgam in very compact energy saving lamps (ESL)
20	Lead oxide in glass used for bonding front and rear substrates of flat fluorescent lamps used for Liquid Crystal Displays (LCDs)
21	Lead and cadmium in printing inks for the application of enamels on glasses, such as borosilicate and soda lime glasses
23	Lead in finishes of fine pitch components other than connectors with a pitch of 0.65 mm and less
24	Lead in solders for the soldering to machined through hole discoidal an planar array ceramic multilayer capacitors
25	Lead oxide in surface conduction electron emitter displays (SED) used in structural elements, notably in the seal frit and frit ring.
26	Lead oxide in the glass envelope of black light blue lamps
27	Lead alloys as solder for transducers used in high- powered (designated to operate for several hours at acoustic power levels of 125 dB SPL and above) loudspeakers
29	Lead bound in crystal glass
30	Cadmium alloys as electrical/mechanical solder joints to electrical conductors located directly on the voice coil in transducers used in high-powered loudspeakers with sound pressure levels of 100 dB (A) and more
31	Lead in soldering materials in mercury free flat fluorescent lamps(which e.g. are used for liquid crystal displays, design or industrial lighting)
32	Lead oxide in seal frit used for making window assemblies for Argon and Krypton laser tubes

33	Lead in solders for the soldering of thin copper wires of 100 µm diameter and less in power transformers
34	Lead in cermet-based trimmer potentiometer elements
36	Mercury used as a cathode sputtering inhibitor in DC plasma displays with a content up to 30 mg per display
37	Lead in the plating layer of high voltage diodes on the basis of a zinc borate glass body
38	Cadmium and cadmium oxide in thick film pastes used on aluminum bonded beryllium oxide
39	Cadmium in colour converting II-VI LEDs (< 10 µg Cd per mm^2 of light-emitting area) for use in solid state illumination or display systems.

SCHEDULE III

[See rule 14)]

LIST OF AUTHORITIES AND CORREPONDING DUTIES

Sl No	AUTHORITY	CORRESPONDING DUTIES
1.	Central Pollution Control Board, Delhi	(i) Coordination with State Pollution Control Boards/ Committees of Union territories (ii) Preparation of Guidelines for Environmentally Sound Management of e-waste (iii) Conduct assessment of e-waste generation and processing (iv) Recommend standards and specifications for processing and recycling e-waste (v) Documentation, compilation of data on e-waste and uploading on websites of Central Pollution Control Board (vi) Conducting training & awareness programmes (vii) Submit Annual Report to the Ministry (viii) Any other function delegated by the Ministry under these rules (ix) Enforcement of provisions regarding reduction in use of hazardous substances in manufacture of electrical and electronic equipment (x) Initiatives for IT industry for reducing hazardous substances, (xi) Set targets for compliance to the reduction in use of hazardous substance in manufacture of electrical and electronic equipment (xii) Incentives and certification for green design/products
2.	State Pollution Control Boards/ Committees of Union territories	(i) Inventorization of e-waste. (ii) Grant & renewal of Authorization (iii) Registration of recyclers of e-waste (iv) Monitoring compliance of authorization and registration conditions (v) Maintain information on the conditions imposed for authorization etc. (vi) Implementation of programmes to encourage environmentally sound recycling (vii) Action against violations of these rules (viii) Any other function delegated by the Ministry under these rules

3.	Urban Local Bodies (Municipal Committee/Council/ Corporation)	(i) To ensure that e-waste if found to be mixed with Municipal Solid Waste is properly segregated, collected and is channelized to either authorized collection centre or dismantler or recycler. (ii) To ensure that e-waste pertaining to orphan products is collected and channelized to either authorized collection centre or dismantler or recycler.

FORM – 1

[See rule 9(2)]

APPLICATION FOR OBTAINING AUTHORIZATION FOR GENERATION/ COLLECTION/ STORAGE/DISMANTLING/RECYCLING/ OF E-WASTE*

From: .....

.....

To

The Member Secretary,

..... Pollution Control Board or..... Pollution Control Committee

.....

.....

Sir,

I / We hereby apply for authorization/renewal of authorization under rule 11(2) and 11(6) of the E-wastes (Management and Handling) Rules, 2011 for collection/ storage/ transport/treatment/disposal of e-wastes.

For Office Use Only

Code No. :

Whether the unit is situated in a critically polluted area as identified by Ministry of Environment and Forests (yes/no);

To be filled in by Applicant

Part – A: General

1. (a) Name and full address, telephone nos. e-mail and other contact details of the unit :
   (b) Authorization required for (Please tick mark appropriate activity/ies*)
   (i) Generation* ☐
   (ii) Collection* ☐
   (iii) Dismantling* ☐
   (iv) Recycling* ☐
   (c) In case of renewal of authorization previous authorization no. and date
2. (a) Whether the unit is generating or processing e-waste as defined in the E-wastes (Management and Handling) Rules, 2011

:

(i) generating* ☐
(ii) processing* ☐

*strike off whichever is not applicable

3. (a) Total capital invested on the project :
   (b) Year of commencement of production:
   (c) Date of grant of the Consent to Establish:
   (d) Date of grant of the Consent to Operate:

Part – B: e-waste

4. E-waste details:

(a)	Type of e-wastes generated as defined under the e-wastes (Management and Handling) Rules, 2011:	
(b)	Total Quantity e-waste handled generated/collected/dismantled/ recycled :	
(c)	Mode of storage within the plant :	
(d)	Method of treatment and disposal :	
(e)	Installed capacity of the plant :	

Part – C : Dismantling and Recycling Facility

5. Detailed proposal of the facility (to be attached) to include:
   (i) Location of site (provide map).
   (ii) Details of processing technology
   (i) Type and Quantity of waste to be processed per day
   (iv) Site clearance (from local authority, if any)
   (v) Utilization of the e-waste processed
   (vi) Method of disposal of residues (details to be given)
   (vii) Quantity of waste to be processed or disposed per day
   (viii) Details of categories of e-waste to be dismantled/processed
   (ix) Methodology and operational details
   (x) Measures to be taken for prevention and control of environmental pollution including treatment of leachates
   (xii) Investment on Project and expected returns
   (xiii) Measures to be taken for safety of workers working in the plant

Place : _____ Signature _____

(Name_____)

Date : _____

Designation : _____

FORM 1(a)

[*See rule 9(3)*]

FORM FOR GRANTING AUTHORIZATION FOR GENERATION/COLLECTION/ /STORAGE/DISMANTLING/ RECYCLING/ OF E-WASTE*

1. (a) Authorization and (b) date of issue .....

2. .....of.....is hereby granted an authorization for generation, collection, storage, dismantling and recycling of e-waste on the premises situated at.....

3. The authorization granted for generation, collection, storage, dismantling, and recycling of e-wastes.

4. The authorization shall be in force for a period from .....to .....

5. The authorization is subject to the conditions stated below and such conditions as may be specified in the rules for the time being in force under the Environment (Protection) Act, 1986.

Signature----------
Designation ----------

Date: ----------

Terms and conditions of authorization

1. The authorization shall comply with the provisions of the Environment (Protection) Act, 1986, and the rules made there under.
2. The authorization or its renewal shall be produced for inspection at the request of an officer authorized by the State Pollution Control Board or Committee of Union territories.
3. The person authorized shall not rent, lend, sell, transfer or otherwise transport the e-wastes without obtaining prior permission of the State Pollution Control Board or Committee of Union territories.
4. Any unauthorized change in personnel, equipment as working conditions as mentioned in the application by the person authorized shall constitute a breach of his authorization.
5. It is the duty of the authorized person to take prior permission of the State Pollution Control Board or Committee of Union territories to close down the operations.
6. An application for the renewal of an authorization shall be made as laid down in sub-rule (6) of rule 9.

FORM – 2

[See rules 4(8), 5(5) and 9(5)]

FORM FOR MAINTAINING RECORDS OF E-WASTE HANDLED/ GENERATED

Quantity in Metric Tonnes (MT) or Kilograms (Kg) per year

1.	Name & Address: Producer /Collection Centre/Dismantler/ Recycler/ Bulk consumer *		
2.	Date of Issue of Authorization* Registration *		
3.	Validity of Authorization* /Registration*		
4.	Types & Quantity of e-waste handled/ generated	Category	Quantity
		Item Description	
5.	Types & Quantity of e-waste stored	Category	Quantity
		Item Description	
6.	Types & Quantity of e-waste sent to authorized collection centre/ registered dismantler or recycler	Category	Quantity
		Item Description	
7.	Types & Quantity of e-waste transported*	Category	Quantity
		Quantity	
	Name, address and contact details of the destination		
8.	Types & Quantity of e-waste refurbished*	Category	Quantity
		Item Description	
	Name, address and contact details of the destination of refurbished materials		
9.	Types & Quantity of e-waste dismantled*	Category	Quantity
		Item Description	
	Name, address and contact details of the destination		
10.	Types & Quantity of e-waste recycled*	Category	Quantity
	Types & Quantity of materials recovered	Item Description	
		Quantity	
	Name, address and contact details of the destination		
11.	Types & Quantity of waste treated & disposed	Category	Quantity
		Item Description	

* Strike off whichever is not applicable

FORM – 3

[See rules 4(9), 5(4), 6(2), 7(7), 8(5) and 9(5)]

FORM FOR FILING ANNUAL RETURNS

[To be submitted by producer/collection centre/dismantler/recycler by 30th June following to the financial year to which that return relates].

Quantity in Metric Tonnes (MT) or Kilograms (Kg) per year

1	Name and address of the producer/ collection centre/ dismantler/ recycler		
2	Name of the authorized person and complete address with telephone and fax numbers and e-mail address		
3	Total quantity e-waste sold/purchased/ sent for processing during the year for each category of electrical and electronic equipment listed in the Schedule I (Attach list)		
	Details of the above	TYPE	QUANTITY
3(A)*	**DISMANTLERS**: Quantity of e-waste in MT purchased & processed and sent to (category wise):		
3(B)*	**RECYCLERS**: Quantity of e-waste in MT purchased/processed (category wise):		
4	Name and full address of the destination with respect to 3 (A-B) above		
5	Type and quantity of materials segregated/ recovered from e-waste of different categories as applicable to 3(A) &3(B)	Type	Quantity

Note: The applicant shall provide details of funds received (if any) from producers and its utility with an audited certificate

✓ enclose the list of recyclers to whom e-waste have been sent for recycling.

*strike off whichever is not applicable

Place_____

Date_____

Signature of the authorized person

FORM - 4

[see rule 11(1)]

APPLICATION FORM FOR REGISTRATION OF FACILITIES POSSESSING ENVIRONMENTALLY SOUND MANAGEMENT PRACTICE FOR RECYCLING E-WASTE

(To be submitted in triplicate)

1.	Name and Address of the unit			
2.	Contact person with designation, Tel./Fax			
3.	Date of Commissioning			
4.	No. of workers (including contract labour)			
5.	Consents Validity	a. Water (Prevention & Control of Pollution) Act, 1974; Valid up to _____ b. Air (Prevention & Control of Pollution) Act, 1981; Valid up to_____		
6.	Authorization validity	E-wastes (Management and Handling) Rules, 2011; Valid up to _____		
7.	Manufacturing Process	Please attach manufacturing process flow diagram for each product(s)		
8.	Products and Installed capacity of production in (MTA)	Products	Installed capacity (MTA)	
9.	Products manufactured during the last three years (as applicable)	Year	Product	Quantity
10.	Raw material consumption during the last three years (as applicable)	Year	Product	Quantity
11.	Water consumption	Industrial _____m3/day Domestic _____m3 / day		
	Water Cess paid up to (if applicable)			
	Waste water generation as per consent _____m3/day	Actual (avg., of last 3 months) Industrial _____m3 /day Domestic _____m3 /day		
	Waste water treatment (provide flow diagram of the treatment scheme)	Industrial Domestic		
	Waste water discharge	Quantity _____m3/day Location _____ Analysis of treated waste water for pH, BOD,COD, SS, O&G, any other		

		parameter stipulated by SPCB/SPCC (attach details)			
12.	Air Pollution Control				
	a. Provide flow diagram for emission control system(s) installed for each process unit, utilities etc.				
	b. Details for facilities provided for control of fugitive emission due to material handling, process, utilities etc				
	c. Fuel consumption	Fuel	Qty per day/month		
		(i)			
		(ii)			
	d. Stack emission monitoring	Stack attached to	Emission (SPM, SO_2, NOx , Pb etc.) mg/Nm^3		
		(i)			
		(ii)			
	e. Ambient air quality	Location Results ug/m3	Parameters SPM, SO_2, NOx, Pb etc.) $\mu g/m^3$		
		(i)			
		(II)			
13.	Waste Management:				
	a. Waste generation in processing e-waste	S No	Type	Category	Qty
	b. Waste Collection and transportation (attach details)				
	c. Provide details of disposal of residue.	S No	Type	Category	Qty
	d. Name of Treatment Storage and Disposal Facility utilized for				
	e. Please attach analysis report of characterization of hazardous waste generated (including leachate test if applicable)				
14.	Details of e-waste proposed to be procured through sale, contract or import, as the case may be, for use as raw material	(i) Name (ii) Quantity required /year (iii) Basel Convention Number			
15.	Occupational safety and health aspects	Please provide details of facilities			

16.	Remarks:	
	Whether industry has provided adequate pollution control system / equipment to meet the standards of emission / effluent.	Yes/No If Yes, please furnish details
	Whether industry is in compliance with conditions laid down in the Authorization	Yes / No
17.	Any Other Information of relevance: i) ii)	

I hereby declare that the above statements /information are true and correct to the best of my knowledge and belief.

Signature

Date:_____ Name:_____

Place:_____ Designation:_____

Form - 5

[see rule 15 (1)]

FORM FOR ANNUAL REPORT TO BE SUBMITTED BY THE STATE POLLUTION CONTROL BOARD/COMMITTEES TO THE CENTRAL POLLUTION CONTROL BOARD

To,

The Chairman,
Central Pollution Control Board,
(Ministry of Environment And Forests)
Government Of India,
'Parivesh Bhawan', East Arjun Nagar,
Delhi- 110 0032

1. Name of the State/Union territory :
2. Name & address of the State Pollution Control Board / Committee :
3. Number of authorised Producers, Collection Centres, registered Dismantler and Recyclers for management of e-waste in the State or Union territory under these rules :
4. Categories of waste collected along with their quantities on a monthly average basis: : Please attach as Annexure-I

5.	A Summary Statement on Category wise and product wise quantity of e-waste collected	:	Please attach as Annexure-II
6.	Mode of treatment with details	:	Please attach as Annexure-III
7.	Brief details of collection, dismantling and recycling facilities	:	Please attach as Annexure-IV
8.	Any other information	:	

9. Certified that the above report is for the period from ....
.....

Date: _____
Place : _____

Chairman or the Member Secretary
State Pollution Control Board/
Pollution Control Committee

[F. No. 23-71/2009-HSMD]

RAJIV GAUBA, Jt. Secy.

Printed by the Manager, Government of India Press, Ring Road, Mayapuri, New Delhi-110064
and Published by the Controller of Publications, Delhi-110054.

GUIDELINES FOR ENVIRONMENTALLY SOUND MANAGEMENT OF E-WASTE

(As approved vide MoEF letter No. 23-23/2007-HSMD dt. March 12, 2008)

MINISTRY OF ENVIRONMENT & FORESTS
CENTRAL POLLUTION CONTROL BOARD
Delhi

MARCH, 2008

सचिव
भारत सरकार
पर्यावरण एवं वन मंत्रालय

Secretary
Government of India
Ministry of Environment and Forests

मीना गुप्ता
Meena Gupta

FOREWORD

Rapid advancements in technology over the last twenty five years in electronics have drastically improved quality of life, working and operating environment globally. It has also created some environmental challenges, which if not addressed, will escalate into a situation that will cause irreversible damage to the environment and ultimately human health. The end product of this advancement in electronics is frequently waste electrical and electronic equipment. The increasing obsolescence rate of electrical and electronic equipment results in higher generation of WEEE leading to their disposal problems.

Realising the growing concern over e-waste, the Government of India (GOI) has supported several initiatives. Of particular importance is the assessment conducted by the Central Pollution Control Board (CPCB) on the management and handling of e-waste leading to the preparation of a "Guideline Document for Environmentally Recycling of E-Waste" for the SPCBs/PCCs as well as the industries. MOEF had also constituted a Task Force on E-Waste Management under the Chairmanship of Shri R. H. Khwaja, Additional Secretary, Ministry of Environment and Forests (MoEF) with Chairman, CPCB ;and senior representatives of the MoEF, Ministry of Health, Ministry of Industrial Policy & Promotion, Ministry of Information Technology, Confederation of Indian Industry, Manufacturer Association of Information Technology, National Metallurgical Laboratory, Indian Toxicological Research Institute as members.

During the three meetings of the Committee, there was consensus on the comments received. Accordingly the Guidelines on Environmentally Sound Management of E-Waste were revised.

The Guidelines as finalized are reference document for the management, handling and disposal of e-waste and are intended to provide broad guidance. However, the specific methods of treatment and disposal for specific wastes need to be worked out according to the hazard/risk potential of the waste under question . These Guidelines provide the minimum practice required to be followed in the management of e-wastes. The State Departments of Environment or State Pollution Control Board may prescribe more stringent norms as deemed necessary for local conditions. The implementation & monitoring of these Guidelines shall be done by the concerned State Pollution Control Boards/Committees.

I would like to place on record the valuable contribution made by all the Task Force Members, Central Pollution Control Board, State Pollution Control Boards, NGOs and the individuals who had contributed to the finalization of the Guidelines for Management of E-Waste.

(Meena Gupta)

May 21, 2008

जहाँ है हरियाली / वहाँ है खुशहाली //

पर्यावरण भवन, सी.जी.ओ. कॉम्पलेक्स, नई दिल्ली-110 003 फोन : 24360721, 24361896, फैक्स : (011) 24362746
PARYAVARAN BHAWAN, CGO COMPLEX, NEW DELHI-110 003, Ph. : 24360721, 24361896, Fax : (011) 24362746
E-mail : meena.gupta@nic.in

TABLE OF CONTENTS

EXECUTIVE SUMMARY

The electrical and electronic waste (e-waste) is one of the fastest growing waste streams in the world. The increasing “market penetration” in developing countries, “replacement market” in developed countries and “high obsolescence rate” make e-waste as one of the fastest growing waste streams. Environmental issues and trade associated with e-waste at local, transboundary and international level has driven many countries to introduce interventions.

In accordance with the National Environmental Policy (NEP) and to address sustainable development concerns, there is a need to facilitate the recovery and/or reuse of useful materials from waste generated from a process and/or from the use of any material thereby, reducing the wastes destined for final disposal and to ensure the environmentally sound management of all materials. The NEP also encourages giving legal recognition and strengthening the informal sectors system for collection and recycling of various materials. In particular considering the high recyclable potential of e-waste such wastes should be subject to recycling in an environmentally sound manner.

E-waste comprises of wastes generated from used electronic devices and house hold appliances which are not fit for their original intended use and are destined for recovery, recycling or disposal. Such wastes encompasses wide range of electrical and electronic devises such as computers, hand held cellular phones, personal stereos, including large household appliances such as refrigerators, air conditioners etc. E-wastes contain over 1000 different substances many of which are toxic and potentially hazardous to environment and human health, if these are not handled in an environmentally sound manner.

The growth of e-waste has significant economic and social impacts. The increase of electrical and electronic products, consumption rates and higher obsolescence rate leads to higher generation of e-waste. The increasing obsolescence rate of electronic products also adds to the huge import of used electronics products. The e-waste inventory based on this obsolescence rate in India for the year 2005 has been estimated to be 1,46,180 tonnes which is expected to exceed 8,00,000 tonnes by 2012.

The objective of these Guidelines is to provide guidance for identification of various sources of waste electrical and electronic equipments (e-waste) and prescribed procedures for handling e-waste in an environmentally sound manner.

These Guidelines shall apply to all those who handle e-waste which includes the generators, collectors, transporters, dismantlers, recyclers and stakeholders of e-wastes irrespective of their scale of operation.

In India, there are no specific environmental laws or Guidelines for e-waste. None of the existing environmental laws have any direct reference to electronic

waste or refer to its handling as hazardous in nature. However several provisions of these laws may apply to various aspects of electronic wastes. Since e-waste or its constituents fall under the category of ‘hazardous” and “non hazardous waste”, they shall be covered under the purview of “The Hazardous Waste Management Rules, 2003”.

Composition of e-waste is very diverse and differs in products across different categories. Broadly, it consists of ferrous and non-ferrous metals, plastics, glass, wood & plywood, printed circuit boards, concrete and ceramics, rubber and other items. Iron and steel constitutes about 50% of the e-waste followed by plastics (21%), non ferrous metals (13%) and other constituents. Non-ferrous metals consist of metals like copper, aluminium and precious metals ex. silver, gold, platinum, palladium etc. The presence of elements like lead, mercury, arsenic, cadmium, selenium, and hexavalent chromium and flame retardants beyond threshold quantities in e-waste classifies them as hazardous waste.

The e-waste inventory based on this obsolescence rate and installed base in India for the year 2005 has been estimated to be 146180.00 tonnes. This is expected to exceed 8,00,000 tonnes by 2012. There is a lack of authentic and comprehensive data on e-waste availability for domestic generation of e-waste and the various State Pollution Control Boards have initiated the exercise to collect data on e-waste generation.

Sixty-five cities in India generate more than 60% of the total e-waste generated in India. Ten states generate 70% of the total e-waste generated in India. Maharashtra ranks first followed by Tamil Nadu, Andhra Pradesh, Uttar Pradesh, West Bengal, Delhi, Karnataka, Gujarat, Madhya Pradesh and Punjab in the list of e-waste generating states in India. Among top ten cities generating e-waste, Mumbai ranks first followed by Delhi, Bangalore, Chennai, Kolkata, Ahmedabad, Hyderabad, Pune, Surat and Nagpur.

Under Rule 3, “Definitions”, E-waste can be defined as “Waste Electrical and Electronic Equipment including all components, sub assemblies and their fractions except batteries falling under Schedule 1, Schedule 2 and Schedule 3” of these rules.

There is an increasing trend in the reduction in the use of hazardous substances such as lead, cadmium, mercury, polychlorinated biphenyls (pcbs) and other toxic and hazardous substances for which safe substitutes have been found. Many countries have adopted the RoHS regulations in the manufacture of electrical and electronic equipments.

The Extended Producer Responsibility (EPR) is an environment protection strategy that makes the producer responsible for the entire life cycle of the product, especially for take back, recycle and final disposal of the product. Thus the producers’ responsibility is extended to the post-consumer stage of the product life cycle. This needs to be included in the legislative framework making

EPR a mandatory activity associated with the production of electronic and electrical equipments over a period of time.

Environmentally sound E-waste treatment technology was identified at three levels. The first level included decontamination, dismantling and segregation. The second level included shredding and four special treatment processes like electromagnetic separation, eddy current separation, CRT breaking and treatment and density separation using water. The 3rd level treatment included recovery of metals and disposal of hazardous E-waste fractions including plastics with flame retardants, CFCs, capacitors, Mercury, lead and other items.

All the three levels of e-waste treatment are based on material flow. The material flows from 1st level to 3rd level treatment. Each level treatment consists of unit operations, where e-waste is treated and out put of 1st level treatment serves as input to 2nd level treatment. After the third level treatment, the residues are disposed of either in TSDF or incinerated. The efficiency of operations at first and second level determines the quantity of residues going to TSDF or incineration. The details of the type of treatment technology to be put in place are given in Chapter – VI.

The establishment of E-waste Recycling & Treatment Facility shall be in line with the existing Guidelines/best practices/requirements in India for establishing and operating “Recycling and Treatment and Disposal Facilities” for hazardous wastes. Such facilities shall be set up in the organized sector. However, the activities presently operating in the informal sector need to be upgraded to provide a support system for the integrated facility. This would enable to bring the non-formal sector in the main stream of the activity and facilitate to ensure environmental compliances.

The procedures for setting up & management of e-waste facility shall include licenses from all appropriate governing authorities such as environmental clearance, recycler registration from Central Pollution Control Board under HW Rules, obtaining of consents under water act, Air act and authorization from the state pollution control board.

These Guidelines are reference document for the management, handling and disposal of e-wastes. These are intended to provide guidance and broad outline, however, the specific methods of treatment and disposal for specific wastes needs to be worked out according to the hazard/risk potential of the waste under question. These Guidelines provide the minimum practice required to be followed in the management of e-wastes and the *State Department of Environment or State Pollution Control Board* may prescribe more stringent norms as deemed necessary.

✪✪✪✪✪

CHAPTER 1

INTRODUCTION

1.0 Preamble

The electrical and electronic waste (e-waste) is one of the fastest growing waste streams in the world. The increasing “market penetration” in developing countries, “replacement market” in developed countries and “high obsolescence rate” make e-waste as one of the fastest growing waste streams. Environmental issues and trade associated with e-waste at local, transboundary and international level has driven many countries to introduce interventions.

In accordance with the National Environmental Policy (NEP) and to address sustainable development concerns, there is a need to facilitate the recovery and/or reuse of useful materials from waste generated from a process and/or from the use of any material thereby, reducing the wastes destined for final disposal and to ensure the environmentally sound management of all materials. The NEP also encourages giving legal recognition and strengthening the informal sectors system for collection and recycling of various materials. In particular considering the high recyclable potential of e-waste such wastes should be subject to recycling in an environmentally sound manner.

1.1 E-waste

E-waste comprises of wastes generated from used electronic devices and house hold appliances which are not fit for their original intended use and are destined for recovery, recycling or disposal. Such wastes encompasses wide range of electrical and electronic devises such as computers, hand held cellular phones, personal stereos, including large household appliances such as refrigerators, air conditioners etc. E-wastes contain over 1000 different substances many of which are toxic and potentially hazardous to environment and human health, if these are not handled in an environmentally sound manner.

1.2 Environmentally Sound Management of E-waste

The growth of e-waste has significant economic and social impacts. The increase of electrical and electronic products, consumption rates and higher obsolescence rate leads to higher generation of e-waste. The increasing obsolescence rate of electronic products also adds to the huge import of used electronics products. The e-waste inventory based on this obsolescence rate in India for the year 2005 has been estimated to be 146180.00 tonnes which is expected to exceed 8,00,000 tonnes by 2012. There is no large scale organized e-waste recycling facility in India and there are two small e-waste dismantling facilities are functioning in Chennai and Bangalore, while most of the e-waste recycling units are operating in un-organized sector.

Chapter 2

OBJECTIVE & SCOPE OF THE GUIDELINES

2.1 Objective

The objective of these Guidelines is to provide guidance for identification of various sources of waste electrical and electronic equipments (e-waste) and prescribed procedures for handling e-waste in an environmentally sound manner.

2.2 Scope

These Guidelines are reference document for the management, handling and disposal of e-wastes. These are intended to provide guidance and broad outline, however, the specific methods of treatment and disposal for specific wastes needs to be worked out according to the hazard/risk potential of the waste under question. These Guidelines provide the minimum practice required to be followed in the management of e-wastes and the *State Department of Environment or State Pollution Control Board* may prescribe more stringent norms as deemed necessary.

2.3 Applicability

These Guidelines shall apply to all those who handle e-waste which includes the generators, collectors, transporters, dismantlers, recyclers and stakeholders of e-wastes irrespective of their scale of operation. The definitions in Hazardous Wastes (Management and Handling) Rules, 1989 as amended in 2003 include:

(i) "occupier" in relation to any factory or premises, means a person who has, control over the affairs of the factory or the premises an includes in relation of any substance, the person in possession of the substance;

(ii) "operator of facility" means a person who owns or operates a facility for collection, reception, treatment, storage or disposal of hazardous wastes;

(iii) "recycler" means an occupier who procures and processes hazardous materials for recovery;

(iv) "recycling" means reclamation and reprocessing of hazardous materials from a production process in an environmentally sound manner for the original purpose or for other purposes.

(v) "reuse" means hazardous materials that are used for the purpose for its original use or another use.

(vi) "registered recycler or re-refiner or reuser" means a recycler or re-refiner or reuser registered for reprocessing hazardous material with the Central Government in the Ministry of Environment and Forests or the Central Pollution Control Board, as the case may be, for recycling or reprocessing hazardous materials;

(vii) "recovery" means to any operation in the recycling activity wherein specific materials are recovered;

2.4 Need for the Guidelines for Environmentally Sound Management

Based on the outcome of the studies carried out and the consensus arrived at the National Workshop on electronic waste management held in March 2004 and June 2005 organised by CPCB and Ministry of Environment & Forests an assessment was made of the existing practice in the e-waste management.

(a) Increasing amount of E- Waste:

Product obsolescence is becoming more rapid since the speed of innovation and the dynamism of product manufacturing / marketing has resulted in a short life span (less than two years) for many computer products. Short product life span coupled with exponential increase at an average 15% per year will result in doubling of the volume of e-waste over the next five to six years.

(b) Toxic components:

E-waste are known to contain certain toxic constituents in their components such as lead, cadmium, mercury, polychlorinated bi-phenyls (PCBs), etched chemicals, brominated flame retardants etc., which are required to be handled safely. The recycling practices were found to more in informal sectors leading to uncontrolled release of toxic materials into the environment as a result of improper handling of such materials.

c) Lack of environmentally sound recycling infrastructure:

It has been established that e-waste, in the absence of proper disposal, find their way to scrap dealers, which are further pushed into dismantler's, supply chain. Existing environmentally sound recycling infrastructure in place is not equipped to handle the increasing amounts of e-waste. The major dismantling operations are occurring in unorganized/informal sector in hazardous manner. The potential of increased e-waste generation and lack of adequate recycling facilities have attracted the attention of a number of recyclers globally, expressing interest to start recycling facility in India.

CHAPTER 3

REGULATORY REGIME FOR E-WASTE

In India, there are no specific environmental laws or Guidelines for e-waste. None of the existing environmental laws have any direct reference to electronic waste or refer to its handling as hazardous in nature. However several provisions of these laws may apply to various aspects of electronic wastes. Since e-waste or its constituents fall under the category of 'hazardous" and "non hazardous waste", they shall be covered under the purview of "The Hazardous Waste Management Rules, 2003". Respective definitions, their meaning and interpretation under the rule is given below.

3.1 The Hazardous Wastes (Management and Handling) Rules, 2003

The Hazardous Waste (Management and handling) Rule, 2003, defines **"hazardous waste"** as any waste which by reason of any of its physical, chemical, reactive, toxic, flammable, explosive or corrosive characteristics causes danger or likely to cause danger to health or environment, whether alone or when on contact with other wastes or substances, and shall include:

- Waste substances that are generated in the 36 processes indicated in column 2 of Schedule I and consist of wholly or partly of the waste substances referred to in column 3 of same schedule.
- Waste substances that consist wholly or partly of substances indicated in five risks class (A,B,C,D,E) mentioned in Schedule 2, unless the concentration of substances is less than the limit indicated in the same Schedule.
- Waste substances that are indicated in Lists A and B of Schedule 3 (Part A) applicable only in cases of import and export of hazardous wastes in accordance with rules 12, 13 and 14 if they possess any of the hazardous characteristics listed in Part B of schedule 3.

"Disposal" means deposit, treatment, recycling and recovery of any hazardous wastes.

Important features of Schedule 1, 2 and 3, which may cover E-waste are given below.

Schedule 1

Although, there is no direct reference of electronic waste in any column of Schedule 1 (which defines hazardous waste generated through different industrial processes), the "disposal process" of e-waste could be characterized as hazardous processes. The indicative list of these processes is given below.

- Secondary production and/ or use of Zinc
- Secondary production of copper
- Secondary production of lead
- Production and/ or use of cadmium and arsenic and their compounds
- Production of primary and secondary aluminum
- Production of iron and steel including other ferrous alloys (electric furnaces, steel rolling and finishing mills, coke oven and by product plan)
- Production or industrial use of materials made with organo silicon compounds
- Electronic industry
- Waste treatment processes, e.g. incineration, distillation, separation and concentration techniques

As per these regulations, once a waste product is classified as hazardous according to industrial process listed in Schedule 1, it is exempted from the concentration limit requirement set by Schedule 2 of Act, and is considered hazardous irrespective of its concentrations.

Schedule 2

The Schedule 2 of the Hazardous Waste Management and Handling Rules 2003, lists waste substances which should be considered hazardous unless their concentration is less than the limit indicated in the said Schedule. The various classes of substances listed in this Schedule relevant to E-waste are covered in Class A, B, C, D and E are given below. E-waste or its fractions coming broadly under Class A and B are given below.

Class A: Concentration Limit: >= 50 mg/kg

The indicative waste list, which could be part of E-waste or its fractions under this class are given below.

- Antimony and antimony compounds
- Beryllium and beryllium compounds
- Cadmium and cadmium compounds
- Chromium (VI) compounds
- Mercury and mercury compounds
- Halogenated compounds of aromatic rings, e.g. polychlorinated biphenyls, polychloroteriphenyls and their derivatives
- Halogenated aromatic compounds

Class B: Concentration Limit: >= 5,000 mg/kg

The indicative waste list, which could be part of E-waste or its fractions under this class are given below.

- Cobalt compounds
- Copper compounds
- Lead and lead compounds
- Nickel compounds
- Inorganic tin compounds
- Vanadium compounds
- Tungsten compounds
- Silver compounds
- Halogenated aliphatic compounds
- Phenol and phenolic compounds
- Chlorine
- Bromine
- Halogen-containing compounds, which produce acidic vapors on contact with humid air or water

Schedule 3

List of Hazardous Waste to be applicable only for imports and exports are mentioned in schedule 3. It define hazardous waste as “Wastes listed in lists ‘A ’ and ‘B ’ of part A of schedule 3 applicable only in case(s)of export/import of hazardous wastes in accordance with rule 12, 13, and 14 only if they possess any of the hazardous characteristics in part B of said schedule”. This clause defines hazardous waste for the purpose of import and export. It has divided hazardous waste into two parts, A and B. Part A of the schedule deals with two lists of waste to be applicable only for imports and exports purpose. Export and import of items listed in List A and B of part A are permitted only as raw materials for recycling or reuse.

Electronic Waste and Related Items listed in part A, Lists of wastes applicable for Import and Export

Following are the electronic items being mentioned in list A:

A1180 “Electrical and electronic assemblies or scraps containing components such as accumulators and other batteries included on list B, mercury-switches, glass from cathode ray tubes and other activated glass and PCB-capacitors, or contaminated with schedule 2 constituents (e.g. cadmium, mercury, lead, polychlorinated biphenyl)to an extent that they exhibit hazard characteristics indicated in part B of this schedule (see B1110)”.

A1090 Ashes from the incineration of insulated copper wire.

A1150 Precious metal ash from incineration of PCBs not included on list 'B'

A2010 Glass waste from cathode ray tubes and other activated glass.

A3180 Wastes, substances and articles containing, consisting of or contaminated with polychlorinated biphenyls (PCB) and including any other poly brominated analogues of these compounds, at a concentration level of 50 mg/kg or more.

Following are electronic items placed on list B B1110:

1. Electronic assemblies consisting only of metals or alloys

2. Waste Electrical and electronic assemblies scrap (including printed circuit board, electronic components and wires) destined for direct reuse and not for recycling or final disposal.

3. Waste electrical and electronic assemblies scrap (including printed circuit boards) not containing components such as accumulators and other batteries included on list A, mercury switches, glass from cathode ray tubes and other activated glass and PCB- capacitors, or not contaminated with constituents such as cadmium, mercury, lead, polychlorinated biphenyl) or from which these have been removed, to an extent that they do not possess any of the constituents mentioned in Schedule 2 to the extent of concentration limits specified therein.

4. Electrical and electronic assemblies (including printed circuit boards, electronic components and wires) destined for direct reuse and not for recycling or final disposal.

3.2 The Municipal Solid Wastes (Management and Handling) Rules, 2000

"Municipal Solid Waste" includes commercial and residential wastes generated in municipal or notified areas in either solid or semi-solid form excluding industrial hazardous wastes but including treated bio-medical wastes.

"Disposal" means final disposal of municipal solid wastes in terms of the specified measures to prevent contamination of ground-water, surface water and ambient air quality.

"**Processing"** means the process by which solid wastes are transformed into new or recycled products;

"Recycling" means the process of transforming segregated solid wastes into raw materials for producing new products, which may or may not be similar to the original products

"Storage" means the temporary containment of municipal solid wastes in a manner so as to prevent littering, attraction to vectors, stray animals and excessive foul odour.

3.3 Basel Convention

Basel Convention covers all discarded/disposed materials that possess hazardous characteristics as well as all wastes considered hazardous on a national basis. Annex VIII, refers to E-waste, which is considered hazardous under Art. 1, par. 1(a) of the Convention: A1180 Waste electrical and electronic assemblies or scrap containing components such as accumulators and other batteries included on list A, mercury-switches, glass from cathode-rat tubes and other activated glass and PCB-capacitors, or contaminated with Annex I constituents (e.g., cadmium, mercury, lead, polychlorinated biphenyl) to an extent that they possess any of the characteristics contained in Annex III. Annex IX, contains the mirror entry, B1110 Electrical and Electronic assemblies given below.

- Electronic assemblies consisting only of metals or alloys

- Waste electrical and electronic assemblies or scrap (including printed circuit boards) not containing components such as accumulators and other batteries included on List A, mercury-switches, glass from cathode-ray tubes and other activated glass and PCB-capacitors, or not contaminated with Annex 1.

CHAPTER 4

CLASSIFICATION OF E-WASTE

4.0 Composition of E-Waste

Composition of e-waste is very diverse and differs in products across different categories. It contains more than 1000 different substances, which fall under “hazardous” and “non-hazardous” categories. Broadly, it consists of ferrous and non-ferrous metals, plastics, glass, wood & plywood, printed circuit boards, concrete and ceramics, rubber and other items. Iron and steel constitutes about 50% of the e-waste followed by plastics (21%), non ferrous metals (13%) and other constituents. Non-ferrous metals consist of metals like copper, aluminium and precious metals ex. silver, gold, platinum, palladium etc. The presence of elements like lead, mercury, arsenic, cadmium, selenium, and hexavalent chromium and flame retardants beyond threshold quantities in e-waste classifies them as hazardous waste.

4.1 Components of E-Waste

E-waste has been categorized into three main categories, Viz. Large Household Appliances, IT and Telecom and Consumer Equipment. Refrigerator and Washing Machine represent large household appliances, Personal Computer, Monitor and Laptop represent IT and Telecom, while Television represents Consumer Equipment. Each of these E-waste items has been classified with respect to twenty six common components, which could be found in them. These components form the “Building Blocks” of each item and therefore they are readily “identifiable” and “removable”. These components are metal, motor/ compressor, cooling, plastic, insulation, glass, LCD, rubber, wiring/ electrical, concrete, transformer, magnetron, textile, circuit board, fluorescent lamp, incandescent lamp, heating element, thermostat, BFR-containing plastic, batteries, CFC/HCFC/HFC/HC, external electric cables, refractory ceramic fibers, radio active substances and electrolyte capacitors (over L/D 25 mm). The kinds of components, which are found in Refrigerator, Washing Machine, Personal Computers (PC) and TVs, are described in **table 4.1**. The observations from the analysis of table 4.1 are given below.

1. Radioactive substances, refractory ceramic fibers, electrolyte capacitors (over L/D 25 mm), textile and magnetron are not present in any item.

2. Plastic, circuit board and external electric cables are present in majority of items. BFR containing plastic is present in refrigerator, laptop and television.

3. Refrigerators are unique items because of presence of CFC/HCFC/HFC/HC, cooling, insulation, incandescent lamp and compressor.

4. Heating element is found in washing machine, while thermostat is found in both refrigerator and washing machine.
5. Fluorescent lamp is found only in laptop
6. Metal and motor are found in majority of items except refrigerator
7. Transformer is not found in washing machine and refrigerator
8. CRT is found in personal computer and TV, while LCD is found in PC and TV
9. Batteries are found in PC and laptop
10. Concrete is found in washing machine
11. Rubber is found in refrigerator and washing machine
12. Wiring/ Electrical is found in all the items

Large household appliance (refrigerator) may consist of electric motor, a circuit board, a transformer, capacitor, thermal insulation, switches, wiring, plastic casing that contain flame retardants etc. A typical washing machine may consist of the metal casing, concrete ballast, inner and outer drums, a motor, a pump, washing cycle controller unit, switches and other components. The latest trends in these appliances is the phase out of the use of ODS and improvement of energy efficiency. Old washing machines are likely to contain large capacitors, while in relatively new machines, variable speed motors are controlled from the circuit board. IT and Telecom equipments sector is observing a trend of “micro miniaturization”, while CRTs are being replaced by LCD screens. Table 5.1 indicates that the range of different items found in E-waste is diverse classifying it a waste of complex nature. However, it shows that E-waste from these items can be dismantled into relatively small number of common components for further treatments. The composition and hazard content of each of these components is being described in following section to establish the overall hazardousness of each item of E-waste.

Table 4.1: Components in WEEE (by Category)

	Metal	Motor \ Compressor	Cooling	Plastic	Insulation	Glass	CRT	LCD	Rubber	Wiring / Electrical	Concrete	Transformer	Magnetron	Textile	Circuit Board	Fluorescent lamp (ineballast)	Incandescent lamp	Heating element	Thermostat	BFR – containing plastic	Batteries	CFC, HCFC, HFC, HC	External electric cables	Refractory ceramic fibers	Radioactive substances	Electrolyte Capacitors (over L/D 25mm)
Large Household Appliances																										
Refrigerator	■	■	■	■	■	■	-	-	■	■	-	-	-	-	-	-	■	-	■	■	-	■	■	-	-	-
Washing Machine	■	■	-	■	-	■	-	-	■	■	■	-	-	-	■	-	-	■	■	-	-	-	■	-	-	○
IT & Telecom																										
Personal Computer (Base & Keyboard)	■	■	-	■	-	-	-	-	-	■	-	■	-	-	■	-	-	-	-	-	■	-	■	-	-	-
Personal Computer (Monitor)	-	-	-	■	-	-	■	■	-	-	-	-	-	-	■	-	-	-	-	-	-	-	■	-	-	-
Laptop	-	■	-	■	-	-	-	■		■	-	■	-	-	■	■	-	-	-	■	■	-	■	-	-	-
Consumer Equipment																										
Television	■	-	-	■	-	-	■	-	-	■	-	■	-	-	■	-	-	-	-	■	-	-	■	-	-	-

■ Present as a component
○ Possible presence as a component

4.2 Possible hazardous substances present in e-waste

The possible substance of concern, which may be found in selected E-waste item is given in table 4.2.

Table 4.2: Possible Hazardous Substances in Components

Component	Possible Hazardous Content
Metal	
Motor \ Compressor	
Cooling	ODS
Plastic	Phthalate plasticize, BFR
Insulation	Insulation ODS in foam, asbestos, refractory ceramic fiber
Glass	
CRT	Lead, Antimony, Mercury, Phosphors
LCD	Mercury
Rubber	Phthalate plasticizer, BFR
Wiring / Electrical	Phthalate plasticizer, Lead, BFR
Concrete	
Transformer	
Circuit Board	Lead, Beryllium, Antimony, BFR
Fluorescent Lamp	Mercury, Phosphorus, Flame Retardants
Incandescent Lamp	
Heating Element	
Thermostat	Mercury
BFR – containing plastic	BFRs
Batteries	Lead, Lithium, Cadmium, Mercury
CFC, HCFC, HFC, HC	Ozone depleting substances
External electric cables	BFRs, plasticizers
Electrolyte Capacitors (over L/D 25mm)	Glycol, other unknown substances

The substances within the above mentioned components, which cause most concern are the heavy metals such as lead, mercury, cadmium and chromium (VI), halogenated substances (e.g. CFCs), polychlorinated biphenyls, plastics and circuit boards that contain brominated flame retardants (BFRs). BFR can give rise to dioxins and furans during incineration. Other materials and substances that can be present are arsenic, asbestos, nickel and copper. These substances may act as a catalyst to increase the formation of dioxins during incineration. The description about some of these substances where uncertainty exists regarding their “level of concern” based on literature review are given below.

(1) Plastics containing Brominated Flame Retardants (BFRs)

Two families of BFRs have been used in EEE. The first is polybrominated dipheny1 ethers (PBDPEs), which includes DBPE (decabromodipheny1 oxide), and PBPE (pentabromodiphenyl oxide). In the electronics industry, BDPE is the dominant PBDPE BFR and is used primarily in computer housings. The second family of BFRs is the phenolics, which includes TBBPA (tetrabromo-bisphenol A). TBBPA (also referred to as TBBA) is used primarily in printed circuit boards.

(2) Insulation

Materials of concern in these components are ODS in insulation foams, asbestos and refractory ceramic fibre.

(3) Asbestos

Asbestos has been used in older appliances such as coffee pots, toasters and irons. Asbestos was also a component of some heaters and other item that benefit from the heat resistant properties o f the material. Modern appliances do not contain asbestos. However, if a heating appliance is very old (ex. pre 1985), the chances of finding asbestos are high.

(4) Refractory Ceramic Fibers (RCFs)

Respirable RCFs are classified as category 2 carcinogens, which takes into account observation from recent studies involving laboratory animals that suggest these fibers may have potential to cause lung cancer or mesothelioma in humans. This classification, which became effective in January 1999, does not represent a ban on use. However it does mean that any work with RCF is subject to stringent controls[13].

(5) Liquid Crystal Display (LCDs)

LCD consists of liquid crystals, which are embedded between thin layers of glass and electrical elements. A cellular phone display can contain about 0.5 mg of liquid crystals, a notebook display about half a gram. The LCD, first used predominately in notebook and laptop computers, is now moving into the desktop computer market. Most LCDs have a lamp. For small LCDs, the main consideration for the dismantler will be whether or not there is a lamp present. Liquid crystals come under suspicion of being a health hazard. About 50,000 liquid crystal substances are known, but only about 500 are key components for LCD technology. Examples are MBBA (4-methoxybenzylidene-4-butylaniline) and 5CB (4-penty1-4-cyanobipheny1). Currently there appear to be no toxicological tests results on liquid crystal materials.

(6) Components containing Plasticisers/Stabilisers

The concerns here include the use of phthalate plasticizers and lead stabillisers in plastics and rubbers. For example, dibutyl phthalate and diethylhexy1 phthalate are considered “Toxic for Reproduction” at concentrations >=0.5%.

(7) Circuit Boards

While most boards are typically 70% non metallic, they also contain about 16% copper, 4% solder and 2% nickel along with iron, silver, gold, palladium and tantalum. Approximately 90% of the intrinsic value of most scarp boards is in the gold and palladium content. Consequently, traditional reprocessing of circuit boards has concentrated on the recovery of metals values. Some of the components found in circuit boards are described below.

(8) Flame Retardants

The circuit board laminate consists of a glass fibre reinforced epoxy and is likely to contain flame retardant substances at a level of about 15%. The main flame retardant material used in circuit boards is tetrabromobisphenol-A (TBBPA). TBBPA is claimed to have a lower dioxin generation potential than PBDE (pentabromodiphenylether).

(9) Lead

The typical Pb/Sn solder content in scrap of printed circuit boards ranges between 4-6%, consequently lead represents 2-3% of the weight of the original board. The concerns about lead in circuit appear to relate to the possibility of lead leaching from circuit boards disposed of in landfills.

(10) Mercury

It is estimated that 22% of the yearly world consumption of mercury is used in electrical and electronic equipment (ex. in fluorescent lamps). Its use in EEE has declined significantly in recent years. It has been used in thermostats, (position) sensors, relays and switches (ex. on printed circuit boards and in measuring equipment), batteries and discharge lamps. Furthermore, it is used in medical equipment, data transmission, telecommunications, and mobile phones. The estimated concentration level of mercury in computers is 0.002%.

(11) Beryllium

Copper beryllium alloys are used in electronic connectors where a capability for repeated connection and disconnection is desired, and thus where solder is not used to make a permanent joint. Such connectors are often gold plated, so that copper oxide is not created on their surfaces, and does not form a non-electrically conductive barrier between the two connectors. A second use of beryllium in the electronics industry is as beryllium oxide, or beryllia. Beryllia transmits heat very efficiently, and is used in heat sinks. These sinks project heat-generating devices by rapidly distributing their heat to a much larger volume and surface area, where it can be further safely discharged into a moving air stream. Beryllia heat sinks have been used in specific designed parts, which are attached to a heat source, and have also been built into specific microelectronic devices as integral parts of the substrates of those devices. Beryllium oxide (BeO) or beryllia is found in some power transistors, transistor and valve bases, and some resistors.

(12) Capacitors

Capacitors containing hazardous substances have been classified into two types i.e. electrolytic capacitors and capacitors containing Polychlorinated Biphenyls.

(13) Electrolyte Capacitors

Aluminum capacitors are small and cheap for their capacity and can be found in sizes from <1 uF to over 1 farad. They are commonly available up to 450 volts working voltage, with some up to at least 600 volts, much higher than other types of electrolytic capacitors. Aluminum electrolytic capacitors use a layer of aluminum oxide grown on aluminum foil. The aluminum foil forms one electrode the rest is a non-aqueous electrolyte in thin paper separator, and another foil layer for the cathode. The original electrolyte formulae usually comprised a glycol or amine, in which a conductive salt (e.g. sodium borate) is dissolved, plus a trace (1-2%) of water. Many variations on this have been used over the years, although glycol is still often used. Typical contents of a 100µF 10V aluminum capacitor are given in table 4.3.

Table 4.3: Contents of a 100µF 10V aluminum capacitor

Part	Contents (g)	Contents (%)
Aluminum foil	0.17	16%
Paper and electrolyte	0.18	17%
Capsule (aluminum)	0.35	33%
Copper wire	0.12	11%
Rubber lid	0.23	22%

The capacitor is rendered hazardous if an accompanying threshold concentration is more than 25%. Thus, with electrolyte accounting for <17% of a typical capacitor, the glycol content would not render the capacitor hazardous.

(14) Capacitors containing Poly Chlorinated Biphenyls (PCBs)

PCBs were extensively used in electrical equipment such as capacitors and transformers. Their use in open applications was widely banned in 1972 in Europe and they have not been used in the manufacture of new equipment since 1986. Capacitors containing PCBs fall into two categories, according to size. Small capacitors were used in fluorescent/ other discharge lamps and also with fractional horsepower motors used in domestic and light-industrial electrical equipment. Large capacitors were used for power factor correction and similar duties.

4.3 E-waste scenario

Globally, WEEE/ E-waste are most commonly used terms for electronic waste. At UNEP web site, it is cited that “e-waste is a generic term encompassing various forms of electrical and electronic equipment (EEE) that are old, end-of-life electronic appliances and have ceased to be of any value to their owners”. There is no standard definition of WEEE/E-waste. A number of countries have come out with their own definitions, interpretation and usage of the term “E-waste/WEEE”. The most widely accepted definition of WEEE/ E-waste is as per EU directive, which is followed in member countries of European Union and other countries of Europe. At first WEEE/E-waste definition as per EU directive has been described followed by description of definitions in Canada, Japan, USA, Basel Convention and OECD.

Indian Scenario

The electronics industry has emerged as the fastest growing segment of Indian industry both in terms of production and exports. The share of software services in electronics and IT sector has gone up from 38.7 per cent in 1998-99 to 61.8 percent in 2003-04. A review of the industry statistics show that in 1990-91, hardware accounted for nearly 50% of total IT revenues while software's share was 22%. The scenario changed by 1994-95, with hardware share falling to 38% and software's share rising to 41%. This shift in the IT industry began with liberalization, and the opening up of Indian markets together with which there was a change in India’s import policies vis-à-vis hardware leading to substitution of domestically produced hardware by imports. Since the early 1990s, the software industry has been growing at a compound annual growth rate of over 46% (supply chain management, 1999). Output of computers in value terms, for example, increased by 36.0, 19.7 and 57.6 per cent in 2000-01, 2002-03, and

2003-04, respectively. Within this segment, the IT industry is prime mover with an annual growth rate of 42.4% between 1995 and 2000. By the end of financial year 2005-06, India had an installed base of 4.64 million desktops, about 431 thousand notebooks and 89 thousand servers. According to the estimates made by the Manufacturers Association of Information Technology (MAIT) the Indian PC industry is growing at a 25% compounded annual growth rate.

The e-waste inventory based on this obsolescence rate and installed base in India for the year 2005 has been estimated to be 146180.00 tonnes. This is expected to exceed 8,00,000 tonnes by 2012. ***There is a lack of authentic and comprehensive data on e-waste availability for domestic generation of e-waste and the various State Pollution Control Boards have initiated the exercise to collect data on e-waste generation.***

Sixty-five cities in India generate more than 60% of the total e-waste generated in India. Ten states generate 70% of the total e-waste generated in India. Maharashtra ranks first followed by Tamil Nadu, Andhra Pradesh, Uttar Pradesh, West Bengal, Delhi, Karnataka, Gujarat, Madhya Pradesh and Punjab in the list of e-waste generating states in India. Among top ten cities generating e-waste, Mumbai ranks first followed by Delhi, Bangalore, Chennai, Kolkata, Ahmedabad, Hyderabad, Pune, Surat and Nagpur. There are two small e-waste dismantling facilities are functioning in Chennai and Bangalore. There is no large scale organized e-waste recycling facility in India and the entire recycling exists in un-organized sector.

4.4 Basis for Defining e-waste

E-waste definition is driven by three major drivers as given below:

1. Definition of “electrical and electronic equipment”
2. Description of its ‘loss of utility”
3. “Way of disposal”

The most widely accepted definition of e-waste is as per the EU directive. The major features of this definition include definition of “electrical and electronic equipment”, its classification into ten categories and its extent as per voltage rating of 1000 volts for alternating current and 1500 volts for direct current. Electrical and electronic equipment have been further classified into “components”, “sub-assemblies” and “consumables”. In some definitions, the words “product” and ‘assemblies” or the phrase “’product and components” are mentioned in place of “equipment”. The words ‘discarded”, “end of life” and “dispose/ disposal” are invariably used in definitions to describe ‘loss of utility” of electrical and electronic equipment. Similarly, words/ phrases “used goods”, “scrap” and “waste” are invariably used to describe “way of disposal”. These words are being used to harmonize e-waste with least disturbance to existing policies regulations, where sometimes it is treated separately or under hazardous or solid waste management.

"Loss of Utility" indicates variation in consumer behavior, while "Way of Disposal" broadly reflects different national policies and regulations for considering waste as "pollutant" or a 'resource". In other countries, the evolution of e-waste definition started with disposal of computers and televisions where CRT disposal is a major environmental concern. Therefore, computers and televisions were included into coverage of electronic equipment with amendments expected to include other items in future.

4.5 Proposed definition of E-Waste

E-waste comprises of wastes generated from used electronic devices and house hold appliances which are not fit for their original intended use and are destined for recovery, recycling or disposal. Such wastes encompasses wide range of electrical electronic devises such as computers, hand held cellular phones, personal stereos, including large household appliances such as refrigerators, air conditioners etc. E-wastes contain over 1000 different substances many of which are toxic and potentially hazardous for environment and human health, if these are not handled in an environmentally sound manner. The e-waste definitions and terminologies used globally are given in **Annexure – I**.

4.5.1 Proposed Definition

The analysis of hazardous waste rules 2003 and municipal waste rules 2000 with respect to the three drivers describing the E-waste definition is given in table 4.4.

Table 4.4: E-waste reference in Indian regulations with respect to identified drivers

E-waste/ Drivers	**Drivers**		
	Definition of Electrical and Electronic Equipment	**Definition of loss of utility**	**Definition of way of disposal**
"Hazardous" E-waste	Partly covered in Schedule 1 under 'Electronic Industry" and Schedule 3	**X**	Definition of word "Disposal" which includes deposit, treatment, recycling and recovery under Hazardous Waste (Management & Handling) rules 2003.
"Non-Hazardous E-waste	**X**	**X**	Definition of word "Storage, "Processing", "Recycling" and "Disposal" under Municipal Solid Waste (Management and Handling) Rules 2000

Schedules 1, 2 and 3 of the Hazardous Wastes Rules, 2003 show that ambit of these sub clauses is so comprehensive that it will cover each steps of e-waste 'disposal" starting from dismantling, recycling and extraction of metals and import and export. e-waste coverage in Schedule 3 of Hazardous Wastes Rules, 2003 is same as that of Basel Convention. Therefore, the proposed definition of e-waste, which may be incorporated in the regulation, is given below:

The Hazardous Wastes (Management and Handling) Rules, 2003

Under Rule 3, "Definitions", E-waste can be defined as **"Waste Electrical and Electronic Equipment including all components, sub assemblies and their fractions except batteries falling under these rules.**

4.6 Reduction of the Hazardous Substances (RoHS) in the Electronic & electrical Equipments

There is an increasing trend in the reduction in the use of hazardous substances such as lead, cadmium, mercury, polychlorinated biphenyls (pcbs) and other toxic and hazardous substances for which safe substitutes have been found. Many countries have adopted the RoHS regulations in the manufacture of electrical and electronic equipments. The Threshold Limits for each of the hazardous substances is given in **Annexure - II**.

4.7 Extended Producer Responsibility (EPR)

The Extended Producer Responsibility (EPR) is an environment protection strategy that makes the producer responsible for the entire life cycle of the product, especially for take back, recycle and final disposal of the product. Thus the producers' responsibility is extended to the post-consumer stage of the product life cycle. This needs to be included in the legislative framework making EPR a mandatory activity associated with the production of electronic and electrical equipments over a period of time.

4.7.1 Guidelines for the electrical and electronic equipments manufacturers

The producers of all electronic and electrical equipments should be allowed to levy an appropriate fee on the product at the point of sale, to facilitate the operation of the buy back system and enable to provide standardized rates to the customers. The rate list should be made available to the customer.

The producers shall take the responsibility of collection of the end of use equipment through facilitating the establishment of a common collection point and suitable storage infrastructure. Public Private Partnership (PPP) models may also be considered for the same.

The producers of all electronic and electrical equipments may provide the following information along with the products:

(1) Enlisting of hazardous constituents present in the equipment.

(2) A detailed booklet on the handling of the equipment in case of accidental breakage or damage.

(3) A booklet containing instructions on do's and don'ts.

(4) Details on the disposal of the end of use of the product.

(5) List of collection centres or organizations for the deposition of the equipment after use giving contact details such as address, telephone no.s, 24 hr helpline and e-mail.

(6) Facilitate pick-up services.

Chapter 5

GUIDELINES FOR ENVIRONMENTALLY SOUND MANAGEMENT FOR E-WASTE

The Environmentally Sound Technologies for e-waste treatment involves complex treatment rationale is driven by “Material Flow”. This is compared with best available technology and e-waste treatment technology currently used in India.

5.1 E-waste Composition and Recycle Potential

The consumption of e-waste and its recyclable potential is specific for each appliance. In order to handle this complexity, the parts/materials found in e-waste may be divided broadly into six categories as follows:

- Iron and steel, used for casings and frames
- Non-ferrous metals, especially copper used in cables, and aluminum
- Glass used for screens, windows
- Plastic used as casing, in cables and for circuit boards
- Electronic components
- Others (rubber, wood, ceramic etc.).

Annexure-III provides an overview of the composition of the three appliances selected for the study. The recovery potential (typical values) of items of economic value from PC, TV and Refrigerators has been described in **Annexure–IV**, **Annexure-V**, and **Annexure-VI** respectively.

5.2 Assessment of Hazardousness of e-waste

Guidelines for assessment of hazardousness of E-waste have been described in terms of basis, rational and approach and methodology.

5.2.1 Basis

Assessment of hazardousness of E-waste or its component has been carried out based on Indian environmental regulations on hazardous waste, “The hazardous waste (Management and handling) Rules 2003”.

5.2.2 Rationale

A number of global publications have mentioned that the scope of EU’s WEEE Directives and RoHS is narrow with respect to description of hazardous ness of WEEE. Therefore, the Indian regulation has been taken as basis of determining hazardous ness of E-waste, where Schedule 1 lists hazardous waste similar to

'absolute" entry (irrespective of concentration) in "European Waste Catalogue" and Schedule 2 lists hazardous waste similar to " mirror" entry Greater than or equal to the threshold limit value in "European Waste Catalogue".

5.2.3 Approach and Methodology

The approach and methodology to determine the hazardousness has been described in following steps as shown in figure 5.1. This approach follows the basis used by "Department for Environment, Food and Natural Affairs", Government of United Kingdom to classify E-waste. However, it has been customized as per Indian situation.

Step 1: Identify the E-waste category item

The identification includes the E-waste items and its tentative year of manufacture. The year of manufacture gives a number of information ex. Technology and likely component present in the E-waste.

Step 2: Identify the E-waste composition or determine it

The identification of E-waste composition or its components can be determined by its year of manufacture. Ideally, industry association should maintain record of "Electrical and Electronic Equipment" composition, which should be regularly updated to facilitate its treatment, once it becomes E-waste. In case of doubt, carry out testing of E-waste to find out the concentration.

Step 3: Identify possible hazardous content in E-waste

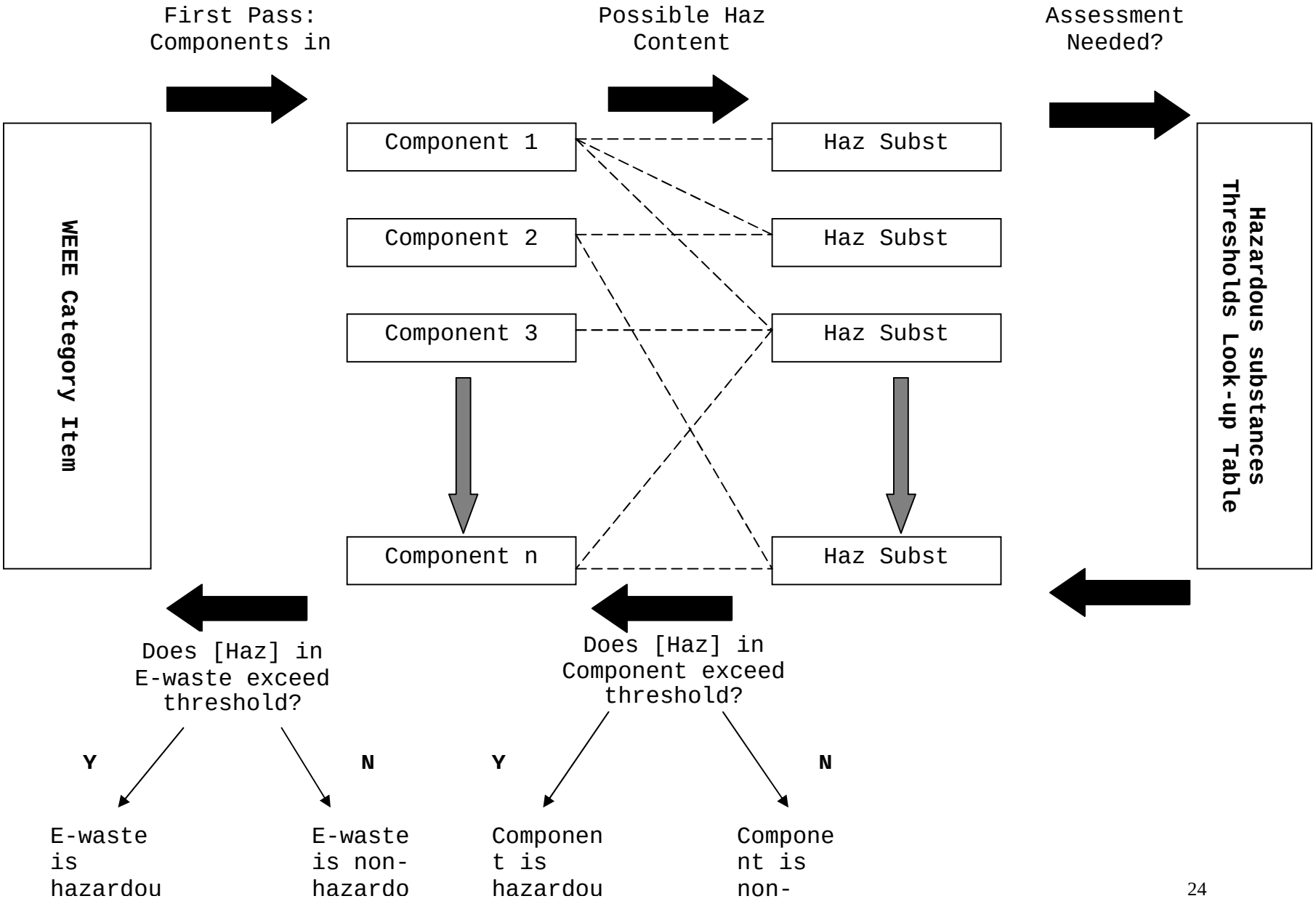
If the E-waste has hazardous content, then refer schedule 1 and schedule 2 of "The hazardous waste (Management and handling) Rules 2003". A comparison of thresholds of hazardous substances followed in Europe with respect to that mentioned in Indian regulations, which may occur in E-waste, is given at **Annexure - VII.**

Step 4: Identify, whether the E-waste component is hazardous or the entire E-waste item is hazardous.

The determination of hazardousness of E-waste from washing machine, refrigerator, computer monitor and personal computer is given in appendix 1. The contents of these E-waste items have been taken from the data of globally accepted data of industry associations.

It can be concluded that E-waste generated from televisions, monitors and personal computers is hazardous in nature as per schedule 1 and schedule 2 of “The hazardous waste (Management and handling) Rules 2003”. A comparison of the thresholds mentioned in Indian regulations with that of thresholds followed in Europe for E-waste shows that they are stricter. It can also be inferred that E-waste/ components, which are hazardous in nature need to be covered under the purview of “The hazardous waste (Management and handling) Rules 2003”, The Batteries (Management and Handling) Rules, 2001, The Ozone Depleting Substances (Regulation and Control) Rules, 2000.

Figure 5.1: Approach and Methodology for assessment of hazardousness of E-waste



5.3 Recycling, Reuse and Recovery Options

The composition of e-waste consists of diverse items like ferrous and non ferrous metals, glass, plastic, electronic components and other items and it is also revealed that e-waste consists of hazardous elements. Therefore, the major approach to treat e-waste is to reduce the concentration of these hazardous chemicals and elements through recycle and recovery. In the process of recycling or recovery, certain e-waste fractions act as secondary raw material for recovery of valuable items. The recycle and recovery includes the following unit operations.

(i) Dismantling:
Removal of parts containing dangerous substances (CFCs, Hg switches, PCB); removal of easily accessible parts containing valuable substances (cable containing copper, steel, iron, precious metal containing parts, e.g. contacts).

(ii) Segregation of ferrous metal, non-ferrous metal and plastic
This separation is normally done in a shredder process.

(iii) Refurbishment and reuse:
Refurbishment and reuse of e-waste has potential for those used electrical and electronic equipments which can be easily refurbished to put to its original use.

(iv) Recycling/recovery of valuable materials
Ferrous metals in electrical are furnaces, non-ferrous metals in smelting plants, precious metals in separating works.

(v) Treatment/disposal of dangerous materials and waste
Shredder light fraction is disposed of in landfill sites or sometimes incinerated (expensive), CFCs are treated thermally, PCB is incinerated or disposed of in underground storages, Hg is often recycled or disposed of in underground landfill sites.

The value of recovery from the elements would be much higher if appropriate technologies are used.

5.4 Treatment & Disposal Options

The presence of hazardous elements in e-waste offers the potential of increasing the intensity of their discharge in environment due to landfilling and incineration. The potential treatment disposal options based on the composition are given below:

- Landfilling
- Incineration

Landfilling

The literature review reveals that degradation processes in landfills are very complicated and run over a wide time span. At present it is not possible to quantify environmental impacts from E-waste in landfills for the following reasons:

- Landfills contain mixtures of various waste streams;
- Emission of pollutants from landfills can be delayed for many years;
- According to climatic conditions and technologies applied in landfills (e.g. leachate collection and treatment, impermeable bottom layers, gas collection), data on the concentration of substances in leachate and landfill gas from municipal waste landfill sites differs with a factor 2-3.

One of the studies on landfills reports that the environmental risks from landfilling of e-waste cannot be neglected because the conditions in a landfill site are different from a native soil, particularly concerning the leaching behavior of metals. In addition it is known that cadmium and mercury are emitted in diffuse form or via the landfill gas combustion plant. Although the risks cannot be quantified and traced back to e-waste, landfilling does not appear to be an environmentally sound treatment method for substances, which are volatile and not biologically degradable (Cd, Hg, CFC), persistent (PCB) or with unknown behaviour in a landfill site (brominated flame retardants). As a consequence of the complex material mixture in e-waste, it is not possible to exclude environmental (long-term) risks even in secured landfilling.

Incineration

Advantage of incineration of e-waste is the reduction of waste volume and the utilization of the energy content of combustible materials. Some plants remove iron from the slag for recycling. By incineration some environmentally hazardous organic substances are converted into less hazardous compounds. Disadvantage of incineration are the emission to air of substances escaping flue gas cleaning and the large amount of residues from gas cleaning and combustion.

There is no available research study or comparable data, which indicates the impact of e-waste emissions into the overall performance of municipal waste incineration plants. Waste incineration plants contribute significantly to the annual emissions of cadmium and mercury. In addition, heavy metals not emitted into the atmosphere are transferred to slag and exhaust gas residues and can re-enter the environment on disposal. Therefore, e-waste incineration will increase these emissions, if no reduction measures like removal of heavy metals from are taken.

5.5 E-waste Recycling/Treatment technologies in India

In this context, it is pertinent to assess the e-waste recycling scenario in India, where recycling of e-waste to recover items of economic value is carried out.

The assessment of e-waste recycling sector in India indicates that e-waste trade starts from formal dismantling sector and moves to informal recycling sector. e-waste movement from formal to informal sector is driven by trade and can be tracked by trade value chain. This e-waste trade value chain can be mapped based on material flow from formal sector to informal sector. An example of this chain mapped during "Delhi Study" given in **Annexure – VIII.**

This chain was identified considering bottom-up approach with three levels of e-waste generation hierarchy. The three levels of e-waste generation hierarchy give rise to three types of stakeholders involved in e-waste trade as described below.

1. 1st Level – Preliminary e-waste Generators.
2. 2nd Level – Secondary e-waste Generators.
3. 3rd Level – Tertiary e-waste Generators.

The input to "Preliminary e-waste Generator" comes from formal organized market like manufacturers, importers, offices and organized markets, where e-waste from domestic consumers comes either in exchange schemes or as a discarded item. Therefore, the major stakeholders are scrap dealers/ dismantlers who purchase e-waste from the first level in bulk quantities. These stakeholders have limited capacity of dismantling and are involved in trading of e-waste with" Secondary e-waste Generators". The market between first and second level is semi formal i.e. part formal, while the market between second and third level is completely informal. Stakeholders falling under" Secondary e-waste Generators" have limited financial capacity and are involved in item/ component wise dismantling process and segregation ex. Dismantling of CRT, PCB, plastic and glass from e-waste. 'Tertiary Level Stakeholders" are the major stakeholders between second and third level and are metal extractors, plastic extractors and electronic item extractors. They use extraction process, which are hazardous in nature. The characteristics of emissions from e-waste treatment in semi formal and informal sector in India are as follows:

1. Generation of mixed e-waste fractions along with hazardous waste after dismantling
2. Generation of effluents during metal extraction ex. Acid bath process for copper extraction from printed circuit board
3. Air emissions due to burning of printed circuit board
4. Inefficient secondary raw material generation

The entire e-waste treatment is being carried out in an unregulated environment, where there is no control on emissions. There are two e-waste dismantling facilities in formal sector in India. These facilities are M/s. Trishiraya Recycling facilities, Chennai and M/s E-Parisara, Bangalore.

CHAPTER 6

ENVIRONMENTALLY SOUND TREATMENT TECHNOLOGY FOR E-WASTE

6.1 Environmentally sound E-waste treatment technologies

Environmentally sound E-waste treatment technologies are used at three levels as described below:

1. 1st level treatment
2. 2nd level treatment
3. 3rd level treatment

Analysis

All the three levels of e-waste treatment are based on material flow. The material flows from 1st level to 3rd level treatment. Each level treatment consists of unit operations, where e-waste is treated and out put of 1st level treatment serves as input to 2nd level treatment. After the third level treatment, the residues are disposed of either in TSDF or incinerated. The efficiency of operations at first and second level determines the quantity of residues going to TSDF or incineration. The simplified version of all the three treatments is shown in figure 6.1, while a comprehensive version detailing each stage is given at **Annexure – IX.** EST at each level of treatment is described in terms of input, unit operations, output and emissions.

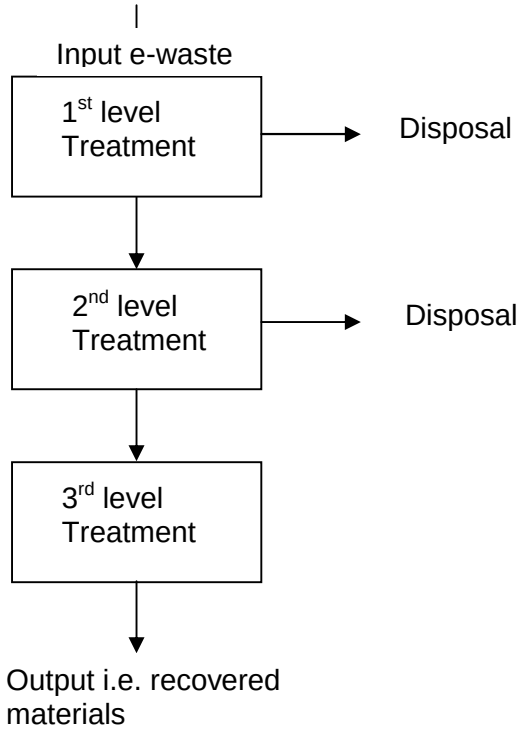


Figure 6.1: Simplified version of EST for e-waste

6.1.1 EST for 1st Level Treatment

Input: e-waste items like TV, refrigerator and Personal Computers (PC)

Unit Operations: There are three units operations at first level of e-waste treatment

1. Decontamination : Removal of all liquids and Gases
2. Dismantling -manual/mechanized breaking
3. Segregation

All the three unit operations are dry processes, which do not require usage of water.

1. Decontamination

The first treatment step is to decontaminate e-waste and render it non-hazardous. This involves removal of all types of liquids and gases (if any) under negative pressure, their recovery and storage.

2. Dismantling

The decontaminated e-waste or the e-waste requiring no decontamination are dismantled to remove the components from the used equipments. The dismantling process could be manual or mechanized requiring adequate safety measures to be followed in the operations.

3. Segregation

After dismantling the components are segregated into hazardous and non-hazardous components of e-waste fractions to be sent for 3rd level treatment.

Output:

1. Segregated hazardous wastes like CFC, Hg Switches, batteries and capacitors
2. Decontaminated e-waste consisting of segregated non-hazardous E-waste like plastic, CRT, circuit board and cables

Emissions: The emissions coming out of 1st level treatment is given in table 6.1.

Table 6.1: Emissions from 1st level E-waste treatment

Unit Operations/ Emissions	Dismantling	Segregation
Air	√ (fugitive)	X
Water	X	X
Noise	√	√
Land/ Soil Contamination due to spillage	√	√
Generation of hazardous waste	√	√

6.1.2 EST for 2nd Level Treatment

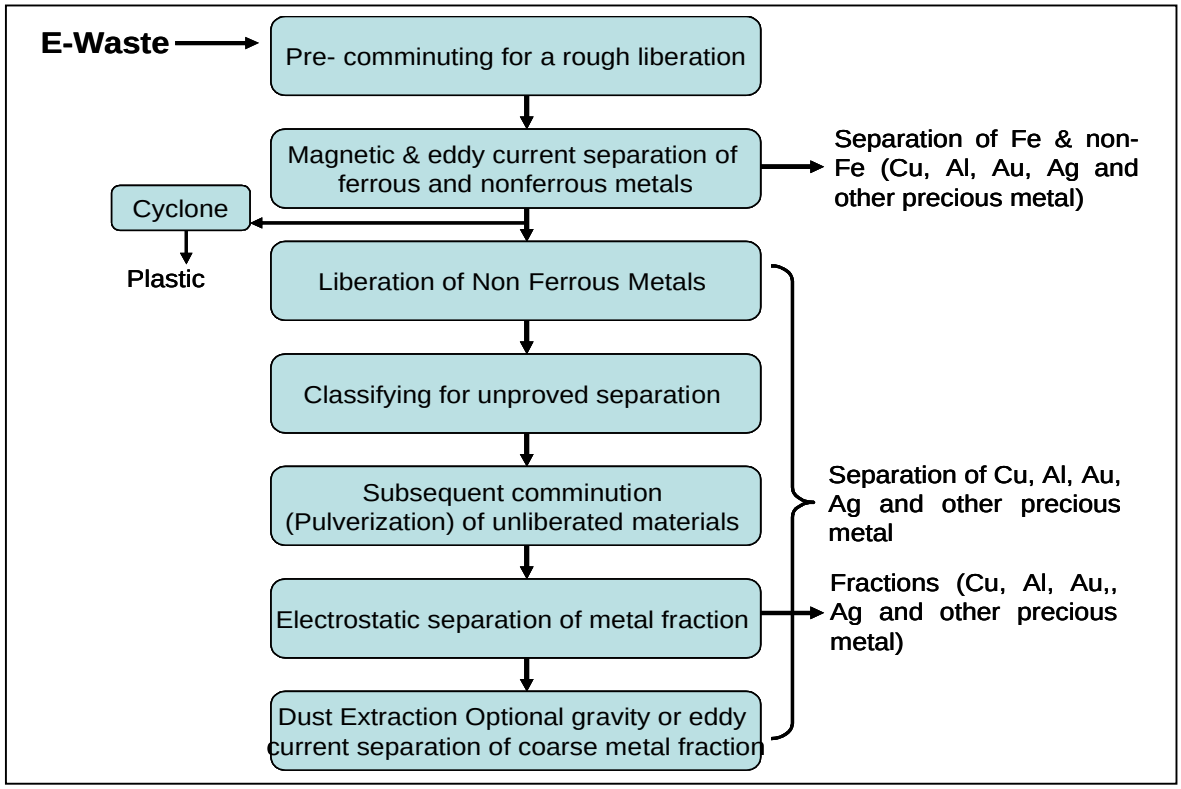
Input: Decontaminated E-waste consisting segregated non hazardous e-waste like plastic, CRT, circuit board and cables.

Unit Operations: There are three unit operations at second level of E-waste treatment

1. Hammering
2. Shredding
3. Special treatment Processes comprising of
    (i) CRT treatment consisting of separation of funnels and screen glass.
    (ii) Electromagnetic separation
    (iii) Eddy current separation
    (iv) Density separation using water

The two major unit operations are hammering and shredding. The major objective of these two unit operations is size reduction. The third unit operation consists of special treatment processes. Electromagnetic and eddy current separation utilizes properties of different elements like electrical conductivity, magnetic properties and density to separate ferrous, non ferrous metal and precious metal fractions. Plastic fractions consisting of sorted plastic after 1st level treatment, plastic mixture and plastic with flame retardants after second level treatment, glass and lead are separated during this treatment. The efficiency of this treatment determines the recovery rate of metal and segregated E-waste fractions for third level treatment. The simplified version of this treatment technology showing combination of all three unit operations is given in Figure 6.2.

Figure 6.2: Process flow of Non CRT based e-waste treatment



1. The proposed technology for sorting, treatment, including recycling and disposal of E-waste is fully based on dry process using mechanical operations.

2. The pre-comminuting stage includes separation of Plastic, CRT and remaining non CRT based E-waste. Equipments like hammer mill and shear shredder will be used at comminuting stage to cut and pulverize E-waste and prepare it as a feedstock to magnetic and eddy current separation.

3. A heavy-duty hammer mill grinds the material to achieve separation of inert materials and metals.

4. After separation of metals from inert material, metal fraction consisting of Ferrous and Non-Ferrous metals are subjected to magnetic current separation. After separation of Ferrous containing fraction, Non-ferrous fraction is classified into different non-metal fractions, electrostatic separation and pulverization.

5. The ground material is then screened and de dusted subsequently followed by separation of valuable metal fraction using electrostatic, gravimetric separation and eddy current separation technologies to

recover fractions of Copper (Cu), Aluminum (Al), residual fractions containing Gold (Au), Silver (Au) and other precious metals. This results in recovery of clean metallic concentrates, which are sold for further refining to smelters. Sometimes water may be used for separation at last stage.

6. Electric conductivity-based separation separates materials of different electric conductivity (or resistivity) mainly different fractions of non-ferrous metals from E-waste. Eddy current separation technique has been used based on electrical conductivity for non ferrous metal separation from E-waste. Its operability is based on the use of rare earth permanent magnets. When a conductive particle is exposed to an alternating magnetic field, eddy currents will be induced in that object, generating a magnetic field to oppose the magnetic field. The interactions between the magnetic field and the induced eddy currents lead to the appearance of electro dynamic actions upon conductive non-ferrous particles and are responsible for the separation process.

7. The efficacy of the recycling system is dependent on the expected yields/ output of the recycling system. The expected yields/ output from the recycling system are dependent on the optimization of separation parameters. These parameters are given below:
   - Particle size
   - Particle shape
   - Feeding rate/ RPM
   - Optimum operations

Figure 6.3 shows the non- ferrous metal distribution (which forms the backbone of financial viability of recycling system) as a function of size range for PC scrap. It can be seen that aluminum is mainly distributed in the coarse fractions (+6.7 mm), but other metals are mainly distributed in the fine fractions (−5 mm).

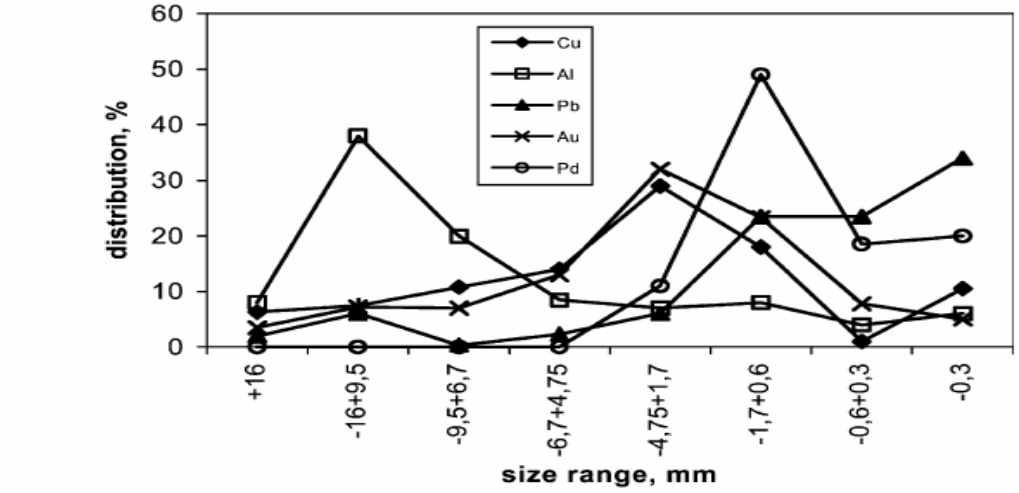


Figure 6.3: Non- Ferrous Metal Distribution Vs Size range for PC scrap

Size properties are essential for choosing an effective separation technique. Therefore, eddy current separator is best for granular non-ferrous materials having size greater than 5mm. The eddy current separation will ensure better separation of Al fraction in comparison to fraction containing Cu, Ag and Au.

8. Particle shape is dependent on comminuting and separation. Since hammer mills and screens will be used in the proposed technology, the variations are expected to be the same as that of Best Available Technology (BAT).

9. The feeding rate can be optimized based on the speed and width of the conveyor.

6.1.2.1 CRT treatment technology

The salient features of CRT treatment technology are given below.

1. CRT is manually removed from plastic/ wooden casing.

2. Picture tube is split and the funnel section is then lifted off the screen section and the internal metal mask can be lifted to facilitate internal phosphor coating.

3. Internal phosphor coating is removed by using an abrasive wire brush and a strong vacuum system to clean the inside and recover the coating. The extracted air is cleaned through an air filter system to collect the phosphor dust.

Different types of splitting technology used are given below.

- NiChrome hot wire cutting

  A NiChrome wire or ribbon is wrapped round a CRT and electrically heated for at least 30 seconds to causes a thermal differential across the thickness of the glass. The area is then cooled (e.g. with a water-soaked sponge) to create thermal stress which results in a crack. When this is lightly tapped, the screen separates from the funnel section.

- Thermal shock

  The CRT tube is subjected to localized heat followed by cold air. This creates stress at the frit line where the leaded funnel glass is joined to the unleaded panel glass and the tube comes apart.

- Laser cutting

  A laser beam is focused inside and this heats up the glass. It is immediately followed by a cold water spray that cools the surface of the glass and causes it to crack along the cut line.

- Diamond wire method

  In this method, a wire with a very small diameter, which is embedded with industrial diamond is used to cut the glass as the CRT is passed through the cutting plane.

- Diamond saw separation

  Diamond saw separation uses either wet or dry process. Wet saw separation involves rotating the CRT in an enclosure while one or more saw blades cut through the CRT around its entire circumference. Coolant is sprayed on to the surface of the saw blades as they cut. This is to control temperature and prevent warping.

- Water-jet separation

  This technology uses a high-pressure spray of water containing abrasive, directed at the surface to be cut. The water is focused through a single or double nozzle-spraying configuration set at a specific distance.

6.1.3 3rd Level E-waste Treatment

The 3rd level E-waste treatment is carried out mainly to recover ferrous, non-ferrous metals, plastics and other items of economic value. The major recovery operations are focused on ferrous and non ferrous metal recovery, which is either geographically carried out at different places or at one place in an integrated facility. The following sections describe the unit operations, processes, available technology and environmental implications.

6.1.3.1 Input/ Output and Unit Operations

The input, output and unit operations at 3rd level treatment are described in table 6.2.

Table 6.2: Input/ Output and unit operations for 3rd level treatment of e-waste

Input/ WEEE Residues	Unit Operation/ Disposal/ Recycling Technique	Output
Sorted Plastic	Recycling	Plastic Product
Plastic Mixture	Energy Recovery/ Incineration	Energy Recovery
Plastic Mixture with FR	Incineration	Energy Recovery
CRT	Breaking/ Recycling	Glass Cullet
Lead Smelting	Secondary Lead Smelter	Lead
Ferrous metal scrap	Secondary steel/ iron recycling	Iron
Non Ferrous metal Scrap	Secondary copper and aluminum smelting	Copper/ Aluminum
Precious Metals	Au/ Ag separation (refining)	Gold/ Silver/ Platinum and Palladium
Batteries (Lead Acid/ NiMH and Li ION)	Lead recovery and smelting Remelting and separation	Lead
CFC	Recovery/ Reuse and Incineration	CFC/ Energy recovery
Oil	Recovery/ Reuse and Incineration	Oil recovery/ energy
Capacitors	Incineration	Energy recovery
Mercury	Separation and Distillation	Mercury

The description of some of the 3rd level WEEE/ E-waste processes are described below.

6.1.3.2 Plastic Recycling

There are three different types of plastic recycling options i.e. chemical recycling, mechanical recycling and thermal recycling. All the three processes are shown in figure 6.3. In chemical recycling process, waste plastics are used as raw materials for petrochemical processes or as reductant in a metal smelter. In mechanical recycling process, shredding and identification process is used to make new plastic product. In thermal recycling process, plastics are used as alternative fuel.

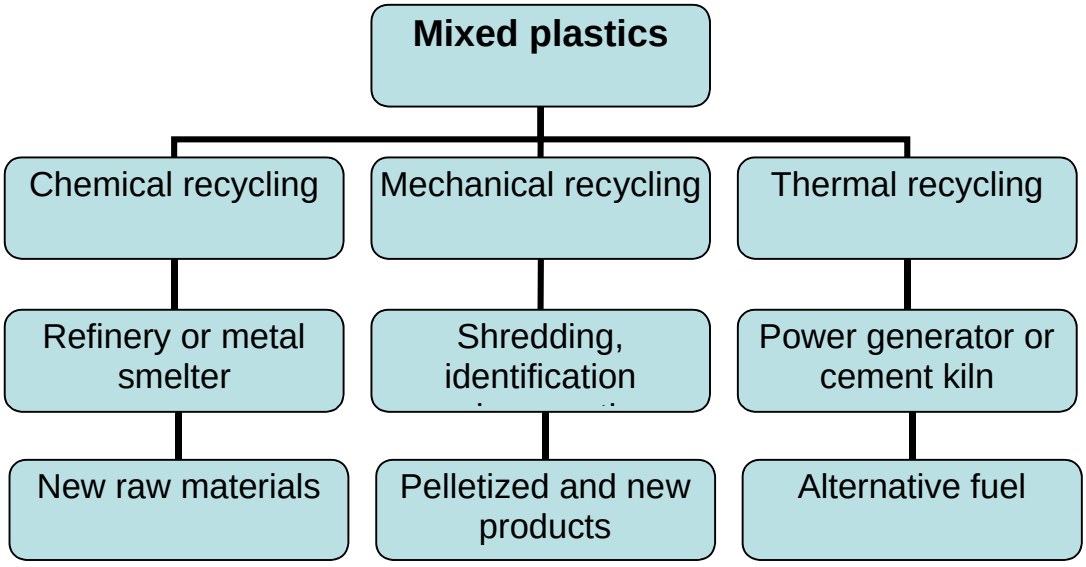
The two major types of plastic resins, which are used in electronics, are “thermosets” and “thermoplastics”. Thermosets are shredded and recycled because they cannot be re-melted and formed into new products, while thermoplastics can be re-melted and formed into new products.

6.1.3.3 Mechanical Recycling Process

Mechanical recycling process is shown in figure 6.4.

The first step is sorting process, where contaminated plastics such as laminated and/ or painted plastics are removed. The methods, which may be used for sorting, are grinding, cryogenic method, abrasion/ abrasive technique, solvent stripping method and high temperature aqueous based paint removal method. Any of the method is used for removal of paints and coating from waste plastics.

Figure 6.4: Recycling options for managing plastics from end-of-life electronics



Shear-shredder and hammer mills are generally used for size reduction and liberation of metals (coarse fraction) followed by granulation and milling for further size reduction. Granulators use a fixed screen or grate to control particle size, while hammer mills allow particles between hammers and the walls to exit the mills.

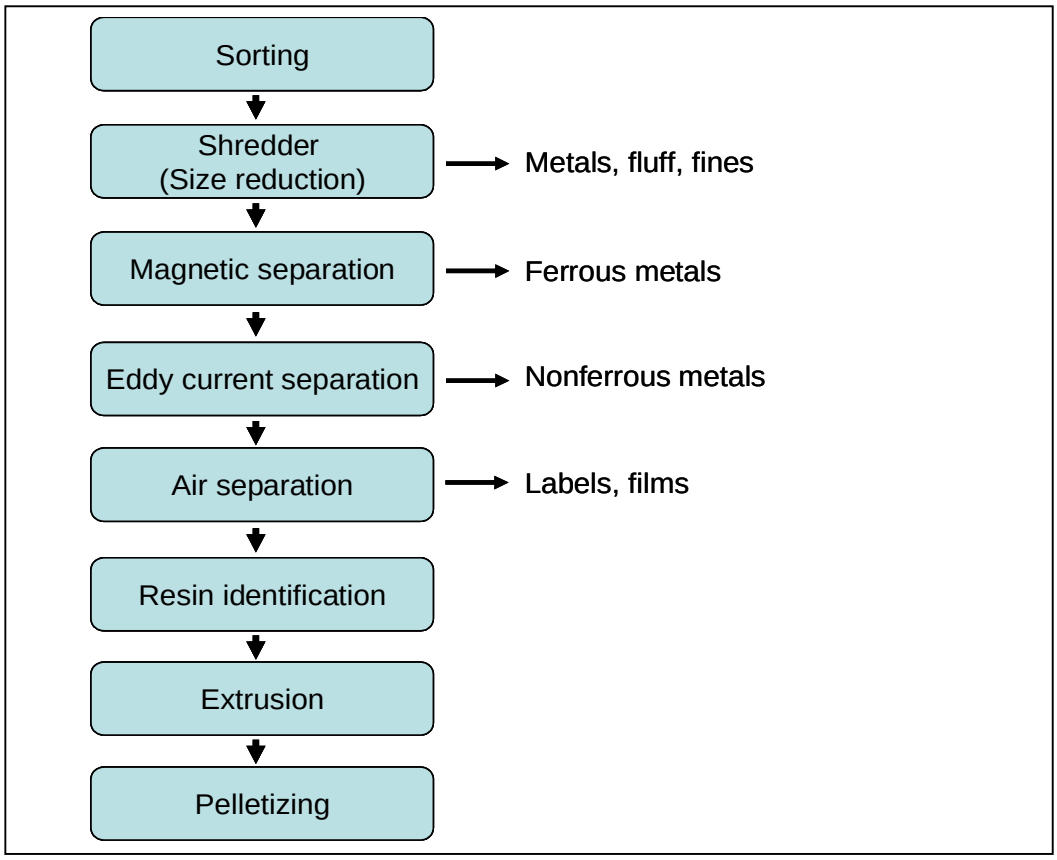
Magnetic separators are used for ferrous metals separation, while eddy current separators are used for non ferrous metals separation. Air separation system is used to separate light fractions such as paper, labels and films. Resin identification can be carried out by using a number of techniques like turboelectric separator, high speed accelerator and X-ray fluorescence spectroscopy.

In hydro cyclones separation technique, plastic fractions are separated using density separation technique, which is made more effective by enhancing material wettability. In turboelectric separation technique, plastic resins are

separated on the basis of surface charge transfer phenomena. Different plastic resins are mixed and contact one another in a rotating drum to allow charging. Negatively charged particles are pulled towards the positive electrode and positively charged particles are pulled towards negative electrode. This technique has been found to be most effective for materials with a particle size between 2-4 mm. In high accelerator separation technique, a high speed accelerator is used to de-laminate shredded plastic waste, which is further separated by air classification, sieve and electrostatics. X-ray fluorescence spectroscopy is effective in identifying heavy metals as well as flame-retardants.

After identification and sorting of different resins, they are extruded and palletized.

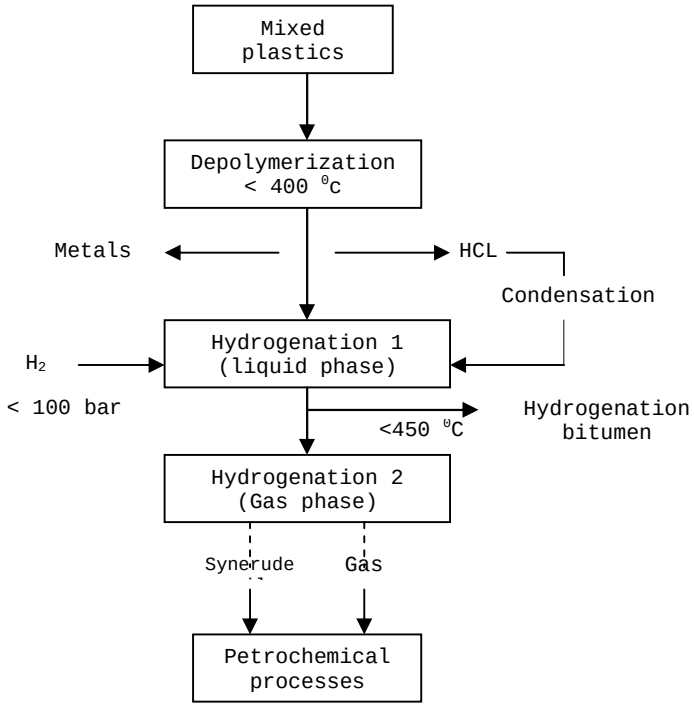
Figure 6.5: Representative process flow diagram for the mechanical recycling of post consumer plastics



6.1.3.4 Chemical Recycling Process

Chemical recycling process is shown in figure 6.6. This process was developed by the Association of Plastic Manufacturers in Europe (APME). The different steps in this process are given below.

Figure 6.6: De-polymerization of plastics and conversion processes



1. Mixed plastic waste is first de-polymerized at about 350-400°C and dehalogenated (Br and Cl). This step also includes removal of metals.

2. In hydrogenation unit 1, the remaining polymer chains from depolymerized unit are cracked at temperatures between 350-400° C and hydrogenated at pressure greater than 100 bar. After hydrogenation, the liquid product is subjected to distillation and left over inert material is collected in the bottom of distillation column as residue, hydrogenation bitumen.

3. In hydrogenation unit 2, high quality products like off gas and sync rude are obtained by hydro-treatment, which are sent to petrochemical process.

6.1.3.5 Thermal Recycling Process

In thermal recycling process, plastics are used as fuel for energy recovery. Since plastics have high calorific value, which is equivalent to or greater than coal, they can be combusted to produce heat energy in cement kilns. APME has found thermal recycling of plastic as the most environmentally sound option for managing WEEE/ E-waste plastic fraction.

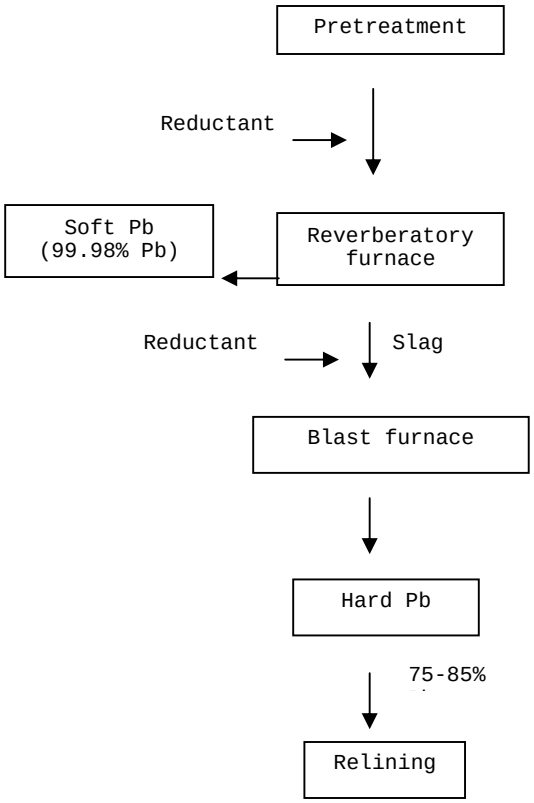
(i) Metals Recycling

Metals recycling have been described below in terms of lead recycling, copper recycling and precious metals recycling. After sorting of metal fractions at 2nd level e-waste treatment, they are sent to metal recovery facilities. These metal recovery facilities use the following processes to recover metals.

(ii) Lead Recovery

Reverberatory furnace and blast furnace are used to recover lead from e-waste fraction. The process is shown in figure 6.7 and involves the following steps.

Figure 6.7: Processes flow for secondary lead recovery



1. A reverberatory furnace is charged with lead containing materials and reductants. In this furnace, the reduction of lead compounds is carried out to produce lead bullion and slag. Lead bullion is 99.9% while slag contains 60-70% wt. % lead and a soft (pure) lead product. The following reactions occur in the reverberatory furnace.

$$PbO + C \longrightarrow Pb + CO$$

$$2\,Sb + 3PbO \longrightarrow 3\,Pb + Sb_2O_3$$

$$2\,As + 3PbO \longrightarrow 3\,Pb + As_2O_3$$

$$Sn + 2PbO \longrightarrow 2Pb + SnO_2$$

2. Slag in reverberatory furnace is continuously tapped onto a slag caster. It consists of a thin, fluid layer on top of the heavier lead layer in the furnace.

3. Lead bullion is tapped from the furnace when the metal level builds up to a height that only small amounts of lead appear in the slag.

4. Lead is recovered from the slag by charging it in blast furnace along with other lead containing materials and fluxing agents like iron and limestone.

5. Hard lead is recovered from the blast furnace, which contains 75-85 wt. % Pb and 15-25 wt. % Sb. Slag contains 1-3% lead. Slag contains CaO, SiO_2 and FeO.

6. Flue gas emissions from reverberatory furnace are collected by bag house and feedback into the furnace to recover lead. Slag from blast furnace is disposed of in hazardous waste landfill sites.

(iii) Copper Recycling

The copper recycling process is shown in figure 6.8. It involves the following steps.

1. E-waste fraction containing Cu is fed into a blast furnace, which are reduced by scrap iron and plastics to produce “black copper”. Black copper contains 70-85 wt. % copper. The following reactions occur in blast furnace. Sn, Pb and Zn are also reduced as gas fumes.

$$Fe + Cu_2O \longrightarrow FeO + 2Cu$$

$$2Zn + C \longrightarrow 2\,Zn\,(g) + CO_2$$

2. The black copper is fed into converter and oxidized using air or enriched oxygen to produce blister copper having 95 wt.

% purity. Sn, Pb and Zn are removed, while Fe is removed as slag.

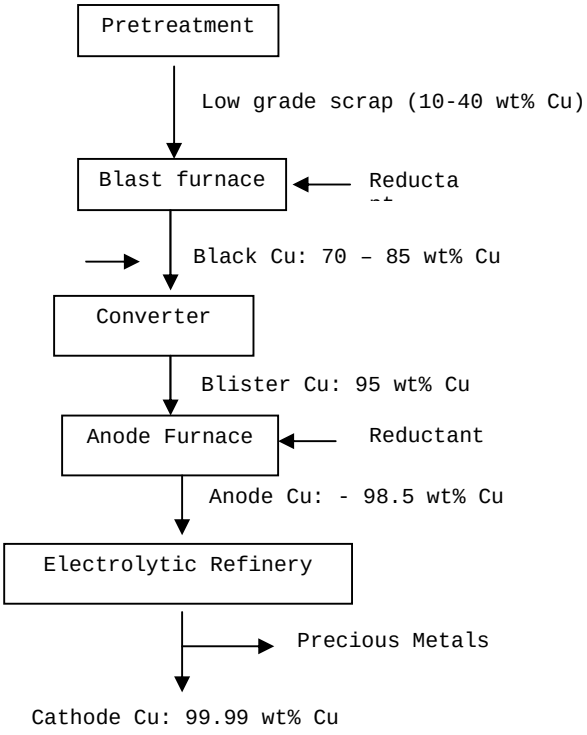
3. Blister copper and scrap Cu are melted and reduced by coke or wood or waste plastic in anode furnace. Other less noble metal are oxidized and removed from blister copper. Sulfur is also removed from the anode furnace. The following reduction reaction occurs in the anode furnace.

$$2CuO + C \longrightarrow 2\,Cu + CO_2$$

4. Recovered anode copper is further purified in electrolytic process where it is dissolved in H_2SO_4 electrolyte with other elements such as Ni, Zn and Fe. The pure copper 99.99 wt. %) is deposited on the cathodes.

5. The by-products of copper recovery process and slag are reused for roof shingles, sand blasting and ballasts for railroads. The anode slime from electrolytic process is used for precious metal recovery. The entire secondary recovery of Cu uses only one-sixth of the energy that would be required to produce Cu from ore.

Figure 6.8: Process flow for secondary copper recovery



(iv) Precious Metals Recovery

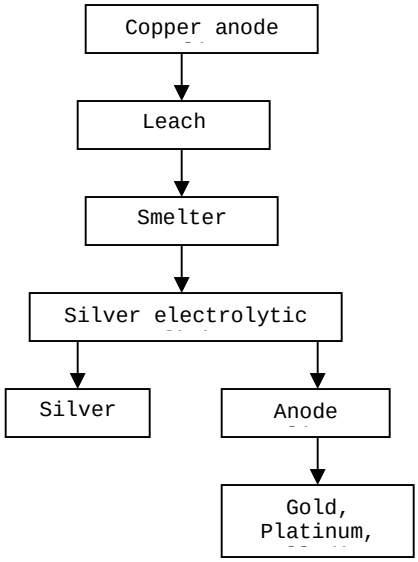
The precious metals recovery process is shown in figure 6.9. The anode slime from copper electrolytic process is used for precious metal recovery. The process involves the following steps.

1. Anode slime is leached by pressure.
2. The leached residue is then dried and, after the addition of fluxes, smelted in a precious metals furnace. Selenium is recovered during smelting.

3. The remaining material from smelter is caste into anode and undergoes electrolysis to form high-purity silver cathode and anode gold slime.

4. The anode gold slime is further leached and high purity gold, palladium and platinum sludge are recovered.

Figure 6.9: Precious metals recovery process



6.2 Environmental Impacts of the 1st, 2nd and 3rd level e-waste treatment system

In order to assess environmental impacts of e-waste treatment, an example of environmental impacts of entire Swiss take back and recycling system has been described by comparing it with a baseline system. Swiss take back recycling system included take back, collection, sorting, transportation, dismantling and secondary material processing steps. The baseline system included e-waste disposal by incineration in municipal waste incineration plant (MSWI) and primary production of raw material. The impacts have been assessed with respect to

environmental attributes like acidification, climate change, eutrophication, photochemical oxidation, ozone and resources depletion. A comparison between the two scenarios has been given at **Annexure - X**. The environmental impact of the e-waste recycling system is shown with dark bars on the positive side, while the avoided primary production is shown as bright bars on the negative side of the x-axis. In the first row, the value on the negative side represents the incineration of the complete e-waste in an MSWI plant. In the very last row, the bars are on the reverse side since these bars represent the substitute energy generated by the incineration of organic materials in either of the two systems. It can be inferred that the sum of the burden produced (dark bars) is much lower than the burden avoided (bright bars). The various impact categories are dominated by the primary production of steel and precious metals.

6.3 Technology Currently Used in India

For non CRT E-waste, the two E-waste treatment facilities in India use the following technologies.

1. Dismantling
2. Pulverization/ Hammering
3. Shredding
4. Density separation using water

The CRT treatment technology as used by CRT manufacturer in India for discarded CRT's, is shown in Figure 6.10.

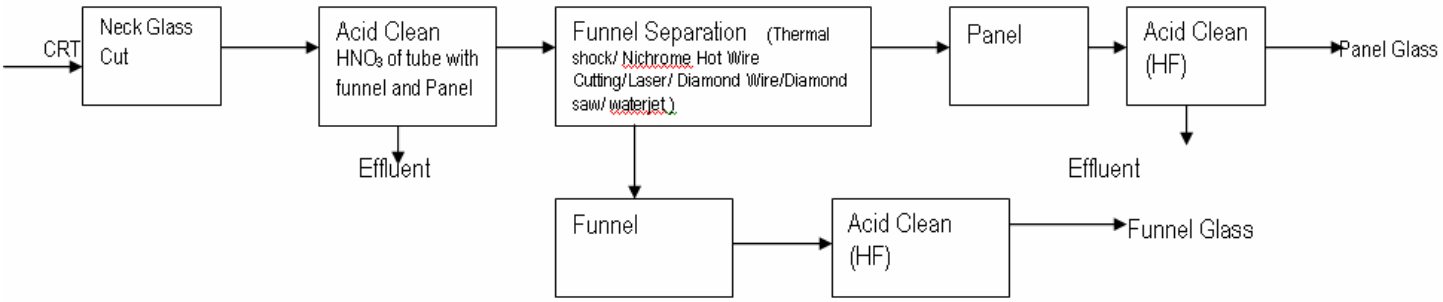


Figure 6.10: CRT Treatment Options used in India

However, both the E-waste treatment facilities at Chennai and Bangalore use thermal shock splitting technology along with abrasive wire brush and vacuum system for CRT treatment. There is no interaction with water or acid for CRT treatment in both the facilities.

Output: The output from the 2nd level treatment technology is given below:

1. Ferrous metal scrap (secondary raw material)
2. Non ferrous metal scrap mainly copper and aluminum
3. Precious metal scrap mainly silver, gold, palladium
4. Plastic consisting of sorted plastic, plastic with flame retardants and plastic mixture
5. Glass fraction (secondary raw material)
6. Lead (Secondary raw material)

Emissions: The emissions coming out of 2nd level treatment is given in table 6.3.

Table 6.3: Emissions from 2nd level E-waste treatment

Unit Operations/ Emissions	Dismantling	Shredding	Special Treatment Process			
			CRT	Electro magnetic	Eddy Current	Density
Air	√ (fugitive)	√ (fugitive)	X	√ (fugitive)	√ (fugitive)	X
Water	X	X	√	X	X	
Noise	√	√	√	√	√	X
Land/ Soil Contamination due to spillage	√	√	√	√	√	√
Generation of hazardous waste	√	√	√	X	X	X

The salient features of internationally acceptable for Guidelines for Collection, Refurbishment, Transboundary Movement, Recovery and Recycling of End of Life Mobile Phones are available at web site i.e. http://www.basel.int/industry/mppiwp/guid-info/index.html

6.4 Best Available Technology

Best available technologies (BAT) have been described by highlighting the existing e-waste treatment process in Switzerland (Europe) and Japan. The salient features of these technologies are given below.

1. The process combines manual and machine procedures.

2. The e-waste is at first cut, crushed and finally sorted into discreet product streams. These streams consist of scrap iron, non-ferrous metal fractions, PC and TV casing components (consisting of wood and plastics), granulates of mixed plastics, cathode ray tubes, printed circuit boards,

copper cables, components containing organic pollutants such as batteries and condensers, and fine particulates (dust).

3. The machine processes include breaking of / crushing the equipment in a hammer mill. Further, the crushed material is separated according to density, granulate size and magnetic properties, and multiple pulverizations by milling using magnetic and eddy current separation systems.

The analysis of the best available technology shows that the process uses a combination of magnetic and electric conductivity based separation. The research publications sites that magnetic separators, in particular, low-intensity drum separators are widely used for the recovery of ferromagnetic metals from non-ferrous metals and other non-magnetic wastes. Over the past decade, there have been many advances in the design and operation of high-intensity magnetic separators, mainly as a result of the introduction of rare earth alloy permanent magnets capable of providing very high field strengths and gradients. Literature cites that magnetic separation leads to recovery of about 90% to 95% of ferrous metal from E-waste. Currently, eddy current separators are almost exclusively used for waste reclamation where they are particularly suited to handling the relatively coarse sized feeds of size > 5 mm. However, recent developments show that eddy current separation process has been designed to separate small particles. It has been reported that eddy current separation leads to more than 90 % recovery of non-ferrous metals from the E-waste.

6.5 Available Operating Facilities

Available facilities in the world, which are being used for recovery of ferrous and non-ferrous metals have been described in terms of geographically distributed facilities and integrated facilities.

An example of geographically distributed 3rd level E-waste treatment facility has been described by an environmentally complying operation of such facility in North America. The salient features of this operation are given below.

1. Approximately 50% of the output from recycling plants is shipped copper smelter and the balance (mainly steel and aluminum) is shipped to its approved facilities for smelting and refining.

2. The recycler has two plants; one focused on sampling and preparation of copper and precious metals from E-waste fractions, which is sent for final recovery at the smelter/refinery.

3. At the sampling facility circuit boards and other E-waste residues after second level of treatment are prepared for smelting, sampled and assayed for precious metal content.

4. The assayed material is then sent to copper smelter. Precious metals are recovered at the copper smelter through three stages of refinement; the reactor, the converters, and the anode furnaces, which produce 99.1% pure copper.

5. Precious metals are recovered at other facility, where precious metals and copper alloyed in the anode product are leached, smelted and refined through electrolysis to separate copper from precious metals.

Example of an integrated 3rd level E-waste treatment facility has been described by an environmentally complying operation of such facility in Europe. The specific process followed by the recycler is given at **Annexure – XI.**

Chapter 7

GUIDELINES FOR ESTABLISHMENT OF INTEGRATED E-WASTE RECYCLING & TREATMENT FACILITY

Guidelines for establishment of E-waste Recycling & Treatment Facility shall be in line with the existing Guidelines/best practices/requirements in India for establishing and operating "Recycling and Treatment and Disposal Facilities" for hazardous wastes. Such facilities shall be set up in the organized sector. However, the activities presently operating in the informal sector need to be upgraded to provide a support system for the integrated facility. This would enable to bring the non-formal sector in the main stream of the activity and facilitate to ensure environmental compliances. The proposed mechanism for the e-waste facility is only an illustrative model and details have to be worked out to develop such facilities.

7.1 Facility Operation Requirements

- **Collection**
- **Storage**
- **Dismantling & Segregation**
- **Recycling**
- **Treatment & Disposal**

7.1.1 Collection Systems for e-waste

A producer is responsible for his products he may be involved in the establishment of the take back system for end of use electronic and electrical equipments. The producer responsibility could be either Individual or collective. Individual model requires each producer to be responsible for managing the e-waste generated by their products. The producer shall announce a take back system. The individual producers can have direct contact with dismantlers or recyclers which allows them to get back the re-usable components from their obsolete equipments. The producers can also get the data from the collector/ dismantler/recycler about the specific composition and characteristics of the products. In the case of collective producer responsibility the producer would enter into a contractual agreements with a collection agency which would be responsible for collection of the waste from the generator. The producers through the collection agency have to pay a fixed price for their products to the generator, as in the collective responsibility model. The take back system may provide free collection or provide discount on purchase of new items. This facilitates in establishing a feasible and effective collection system to enable the channelization of the e-waste to appropriate recycling facilities and increasing re-use of certain components. The economic rationale behind is to facilitate the transfer of the benefits to the consumers enabling them to get better price on the sale of used equipments.

7.1.2 Storage areas

(1) The storage areas for string the e-waste in a facility can be located within the facility - **on-site storage** or located at a place outside the facility - **off-site storage** including the ware houses. Such storage areas should be covered areas for storage of e-waste till such time that the waste is recycled or treated. The storages could also be the warehouses hired for this purpose.

(2) Appropriate containers should be used for storing different e-waste items separately and there should be no mixing of different kinds of e-waste

(3) The purpose of the weatherproof covering for storage at treatment sites is to minimize the contamination of clean surface and rain waters, to facilitate the reuse of those whole appliances and components intended for recycling and to assist in the containment of hazardous materials and fluids. The areas that are likely to require weatherproof covering will therefore include the storage areas and the treatment areas for the treating hazardous or fluid containing e-waste or whole appliances or components intended for recycling. The type of weatherproof covering required will depend of the types and quantities of waste and the storage and treatment activities undertaken. Weatherproof covering may in some circumstances simply involve a lid or cover over a container but in others it may involve the construction of a roofed building.

(4) Impermeable surfaces should be provide for appropriate areas. “Impermeable surface” means a surface or pavement constructed and maintained to a standard sufficient to prevent the transmission of liquids beyond the pavement surface. The impermeable surface should be associated with a sealed drainage system and may be needed even where weatherproof covering is used. This means a drainage system with impermeable components which does not leak and which will ensure that no liquid will run off the pavement other than via the system and all liquids entering the system are collected in a sealed sump.

(5) Appropriate spillage collection facilities should be provided. The spillage collection facilities include the impermeable pavement and sealed drainage system as the primary means of containment. However, spill kits to deal with spillages of oils, fuel and acids should be provided and used as appropriate.

(6) Appropriate sites must provide appropriate storage for disassembled spare parts. Some spare parts (e.g. motors and compressors) will contain oil and/or other fluids. Such parts must be appropriately segregated and stored in containers that are secured such that oil and other fluids cannot escape from them. These containers must be stored on an area with an

impermeable surface and a sealed drainage system.

(7) Other components and residues arising from the treatment of e-waste will need to be contained following their removal for disposal or recovery. Where they contain hazardous substances they should be stored on impermeable surfaces and in appropriate containers or bays with weatherproof covering. Containers should be clearly labeled to identify their contents and must be secure so that liquids, including rainwater, cannot enter them. Components should be segregated having regard to their eventual destinations and the compatibility of the component types. All batteries should be handled and stored having regard to the potential fire risk associated with them.

7.1.3 Dismantling & Segregation of dismantled parts

(1) Dismantling and segregation of e-waste are the first steps towards recycling of the e-waste. These are cost effective and labour intensive activities that are mostly carried out in the informal sector which needs to be brought into the mainstream recycling activity. Such activities may be retained with the existing dismantling units to become a feeder system for the Integrated Facility or provisions could be made in the integrated facility for setting up a shed for dismantling and segregation.

(2) Dismantling of e-waste may be carried out manually or mechanically depending upon the scale of operations and the e-waste being handled. Manual Dismantling should only involve the of used electronic and electrical equipments where there is no likelihood for being in contact with hazardous substances. An integrated facility should provide a mechanical dismantling facility to dismantle e-waste containing hazardous substances.

7.1.4 Recycling

(1) Recycling of e-waste comprises of various stages with options of technologies available for recycling the various components of e-waste which may be referred to in Chapters 5 & 6.

(2) The integrated e-waste recycling facility should opt for the Best Available Technologies (BAT) and provide the state of the art facility complying with all the environmental norms in the terms of emissions, effluents, noise waste treatment and disposal etc.

7.1.5 Treatment & Disposal

(1) Provisions should be made of equipment for the treatment of water, including rainwater, in compliance with health and environmental regulations. However, it should be remembered that as a matter of best

practice, operators of treatment facilities should take appropriate steps to minimize the contamination of clean waters. All liquid runoff from an impermeable pavement used for the treatment of hazardous e-waste and hazardous components will be regarded as being contaminated, unless it can be shown otherwise (irrespective of whether there happens to be any activity on the pavement at the time.)

(2) On most sites, two systems for the management of water will be necessary, for clean water and for contaminated water. Clean water can be dealt with by surface water drains that should carry only uncontaminated water from roofs to a watercourse or soak away. The treatment of contaminated water to the necessary standard will require a sealed drainage system, as defined above. It may be necessary to obtain consent if water is to be discharged.

(3) Impermeable surfaces should be provide for appropriate areas. “Impermeable surface” means a surface or pavement constructed and maintained to a standard sufficient to prevent the transmission of liquids beyond the pavement surface. The impermeable surface should be associated with a sealed drainage system and may be needed even where weatherproof covering is used. This means a drainage system with impermeable components which does not leak and which will ensure that no liquid will run off the pavement other than via the system and all liquids entering the system are collected in a sealed sump.

(4) The activity of treating e-waste itself carries a risk of pollution that must be managed. All treatment activities must take place within an area provided with an impermeable surface. The type of impermeable surface required is likely to depend on a number of factors, including:

- type and quantity of e-waste being processed
- whether it contains hazardous substances and fluids
- type and volume of other materials dealt with
- type and level of activity undertaken on the surface
- length of time the surface is meant to be in service
- level of maintenance

Whether a surface is in fact impermeable will depend on how it is constructed and the use it is put to. A surface will not be impermeable and therefore will be unacceptable if, it has slabs or paving not properly joined or sealed,It is composed solely of hard standing made up of crushed or broken bricks or other types of aggregate and spillages or surface water will not be contained within the system.

(5) Spillage collection facilities include the impermeable pavement and sealed drainage system as the primary means of containment. However, spill kits to deal with spillages of oils, fuel and acids should be provided and used as appropriate.

(6) Records to be maintained on the treated waste to ensure that e-waste entering a treatment facility and components and materials leaving each site (together with their destinations).

(7) Operators of treatment facilities need to be aware that there will be a data reporting requirement placed on them. The emphasis will be on obligated producers to report compliance, and in this context they should engage ATFs that provide treatment compliance services to ensure they can show adequate verification of treatment for the e-waste for which they have responsibility.

7.2 Procedures for Setting-up & Management of integrated e-waste facility.

For any processing and recycling facilities that receive designated materials, it must be ensured that:

1. Facilities are fully licensed by all appropriate governing authorities. The degree of licensing necessary will vary depending upon the particular jurisdiction, as well as the size and nature of the facility.

2. Necessary Environmental Clearances (EC) should be obtained based on the scale of operations as prescribed in the Environmental Clearance notification dated 14 September 2006.

3. Facilities should have an Environmental Management System (EMS) in place.

4. Facility should be registered as a Recycler under the Hazardous Wastes (Management and Handling) Rules 2003 with the Central Pollution Control Board.

5. Facility should have obtained consents under the Water Pollution (Control & Prevention) Act, 1974 and Air Pollution (Control & Prevention) Act, 1981.

6. A facility has a written plan describing the facility's risk management objectives for environmental performance and compliance and its plans for attaining these objectives based on a "plan-do-check-act" continual improvement model.

7. Regular re-evaluation of Environment, Health and Safety (EHS) objectives and monitoring of progress toward achievement of these objectives is conducted and documented at all facilities.

8. Facilities take sufficient measures to safeguard occupational and environmental health and safety. Such measures may be indicated by local, state, national and international regulations, agreements, principles and

standards, as well as by industry standards and Guidelines. Except as noted below, such measures for all facilities include:

- EH&S training of personnel.

- An up-to-date, written hazardous materials identification and management plan that specifically addresses at least the following: lead, mercury, beryllium, cadmium, batteries, toner, phosphor compounds, PCBs, and brominated flame retardants and other halogenated materials, with particular focus on possible generation of by-product dioxins and furans.

- Where materials are shredded or heated, appropriate measures to protect workers, the general public and the environment from hazardous dusts and emissions. Such measures include adaptations in equipment design or operational practices, air flow controls, personal protective devices for workers, pollution control equipment or a combination of these measures.

- An up-to-date, written plan for reporting and responding to exceptional pollutant releases, including emergencies such as accidents, spills, fires, and explosions.

- Liability insurance for pollutant releases, accidents and other emergencies.

- Completion of an EH&S audit, preferably by a recognized independent auditor, on an annual basis. However, for small businesses, greater flexibility may be needed, and an audit every three years may be appropriate.

9. Facilities have a regularly-implemented and documented monitoring and recordkeeping program that tracks key process parameters, compliance with relevant safety procedures, effluents and emissions, and incoming, stored and outgoing materials and wastes.

10. Facilities have an adequate plan for closure. The need for closure plans and financial guarantees is determined by applicable laws and regulations, taking into consideration the level of risk. Closure plans should be updated periodically, and financial guarantees should ensure that the necessary measures are undertaken upon definite cessation of activities to prevent any environmental damage and return the site of operation to a satisfactory state, as required by the applicable laws and regulations.

7.3 Procedures for compliance with the existing regulations and Guidelines

1. Existing Indian Guidelines/ best practices/ requirements for establishment and operation of storage, treatment, and disposal facilities for hazardous wastes may be adequate for establishing and operating Integrated E-waste Management

Facility (IEWMF). This will minimize interventions in existing regulatory institutional mechanism related to pollution prevention, abatement and control.

2. Permission needs to be given to Secured Landfilling and incineration solely for e-waste Residues Treatment

3. Plastic containing flame retardants can be burnt in common hazardous waste incineration facilities. But monitoring and control of plastic burning at these facilities is a big environmental health and safety issue. Therefore, plastic, which cannot be recycled and is hazardous in nature is recommended to be landfilled in nearby TSDF/SLF.

4. CFCs shall be handled as per the Montreal Protocol.

   (The provisions for disposal of CFCs laid out in the Montreal Protocol are available at the UNEP website i.e. http://www.unep.org/ozone/montreal. The Handbook for Montreal Protocol on substances that deplete the Ozone layer Seventh Edition (2006) is available on web site i.e. http://www.unep.ch/ozone/index.shtml)

5. Used Oil needs to be disposed out as per Hazardous Waste Management Rules, 2003.

   (The provisions of rules for disposal of used oil is available at CPCB's web site i.e. http://www.cpcb.nic.in/Hazardous%20Waste/default_Hazardous_Waste.html)

6. Capacitors containing PCB's can be incinerated in common hazardous waste incineration facilities.

7. Existing Lead recycling facilities from batteries fall under the existing environmental regulations for air, water, noise, land and soil pollution and generation of hazardous waste. In case lead recovery is very low, they can be temporarily stored at e-waste dismantling facility and later disposed in TSDF.

   (The provisions of rules for disposal of lead acid battery plates is available at CPCB's web site i.e. http://www.cpcb.nic.in/Hazardous%20Waste/default_Hazardous_Waste.html)

8. Mercury recovery facilities using distillation process in India fall under the existing environmental regulations for air, water, noise, land and soil pollution and generation of hazardous waste. In case mercury recovery from e-waste is very low, they can be temporarily stored at e-waste dismantling facility and later disposed in TSDF.

9. There is a need for collection and transportation system for e-waste. This will also ensure availability of e-waste to IEWMF. An organization consisting of industries or industry association at national and local level can be made responsible for collection and transportation of e-waste. Such type of organizations is functional in e-waste management system outside India. They act as important link between e-waste generator and dismantler. But in the

absence of such organization, the e-waste treatment facility operator will integrate backward with generators, which will have higher cost implications.

General Suggestions

1. The land for e-waste treatment facility shall be provided on the similar lines as for the TSDF facility by the State Government.

2. Land cost constitutes about 25% to 30% of total capital cost, which is very significant. This cost can be reduced if respective state government provides long term lease as its contribution to an operator. Further, if the available land is not suitable as per commercial or from environmental point of view, the state government should provide some financial incentive like difference in commercial rate and government rate. This will catalyze and speed up establishment of IEWMF.

3. CRT breaking and glass recycling is being practiced in organized sector in India. These facilities fall under the purview of existing environmental regulations for air, water, noise, land and soil pollution and generation of hazardous waste. Lead either joins the recycling stream or can be disposed off in TSDF facility.

4. Existing ferrous and non ferrous metal recycling facilities fall under the purview of existing environmental regulations for air, water, noise, land and soil pollution and generation of hazardous waste.

5. The equipment used in dismantling facility is recommended to be covered under pollution control equipment so that the treatment facility can charge 100% depreciation in the first year. This will improve financial viability of the e-waste facility.

6. The complete recycling of e-waste including the Metal Recovery should be promoted for setting-up of IEWMF.

7. Concept of Extended Producer Responsibility can be thought off in the Indian Context.

Annexure - I

International Scenario

Basel Convention

Basel Convention covers all discarded/disposed materials that possess hazardous characteristics as well as all wastes considered hazardous on a national basis. Annex VIII, refers to e-waste, which is considered hazardous under Art. 1, par. 1(a) of the Convention: A1180 Waste electrical and electronic assemblies or scrap containing components such as accumulators and other batteries included on list A, mercury-switches, glass from cathode-rat tubes and other activated glass and PCB-capacitors, or contaminated with Annex I constituents (e.g., cadmium, mercury, lead, polychlorinated biphenyl) to an extent that they possess any of the characteristics contained in Annex III. Annex IX, contains the mirror entry, B1110 Electrical and Electronic assemblies given below.

- Electronic assemblies consisting only of metals or alloys

- Waste electrical and electronic assemblies or scrap (including printed circuit boards) not containing components such as accumulators and other batteries included on List A, mercury-switches, glass from cathode-ray tubes and other activated glass and PCB-capacitors, or not contaminated with Annex 1.

OECD

OECD (2001)

WEEE / E-waste have been defined as “any appliance using an electric power supply that has reached its end-of-life.”

Other Countries

European Union (EU)

Definition as per EU directive has been described below. Countries, which have transposed this definition into their national legislations are Austria, Belgium, Cyprus, Czech Republic, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, The Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Slovakia, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland and United Kingdom.

WEEE Directive (EU, 2002a)

“Electrical or electronic equipment which is waste including all components, sub-assemblies and consumables, which are part of the product at the time of discarding.” Directive 75/442/EEC, Article 1(a) defines “waste” as “any substance or object which

the holder disposes of or is required to dispose of pursuant to the provisions of national law in force."

(a) 'electrical and electronic equipment' or 'EEE' means equipment which is dependent on electrical currents or electromagnetic fields in order to work properly and equipment for the generation, transfer and measurement of such current and fields falling under the categories set out in Annex IA to Directive 2002/96/EC (WEEE) and designed for use with a voltage rating not exceeding 1000 volts for alternating current and 1500 volts for direct current.

Further EU Directives 2002/95/EC of 27 January 2003 on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipments has also come into force w.e.f January 2007. These directives provide for the reduction and elimination of hazardous substances used in electrical and electronic equipments.

Categories of WEEE covered under these directives are as follows :

WEEE Directive (EU, 2002a)

Annex IA

Categories of electrical and electronic equipment covered by this Directive

1. Large household appliances
2. Small household appliances
3. It and telecommunications equipment
4. Consumer equipment
5. Lighting equipment
6. Electrical and electronic tools (with the exception of large-scale stationary industrial tools)
7. Toys, leisure and sports equipment
8. Medical devices (with the exception of all implanted and infected products)
9. Monitoring and control instruments
10. Automatic dispensers

Annex IB

List of products, which fall under the categories of Annex IA are given below.

1. Large household appliances

Large cooling appliances
Refrigerators
Freezers
Other large appliances used for refrigeration, conservation and storage of food
Washing machines

Clothes dryers
Dish washing machines
Cooking
Electric hot plates
Microwaves
Other large appliances used for cooking and other processing of food
Electric heating appliances
Electric radiators
Other fanning, exhaust ventilation and conditioning equipment

2. Small household appliances

Vacuum cleaners
Carpet sweepers
Other appliances for cleaning
Appliances used for sewing, knitting, weaving and other processing for textiles
Iron and other appliances for ironing, mangling and other care of clothing
Toasters
Fryers
Grinders, coffee machines and equipment for opening or sealing containers or packages
Electric knives
Appliances for hair-cutting, hair drying, tooth brushing, shaving, massage and other body care appliances
Clocks, watches and equipment for the purpose of measuring indicating or registering time Scales.

3. IT and Telecommunications equipment

Centralised data processing
Mainframes
Minicomputers
Printer units
Personal computing:
Personal computers (CPU, mouse, screen and keyboard included)
Laptop computer (CPU, mouse, screen and keyboard included)
Notebook computers
Notepad computers
Printers
Copying equipment
Electrical and electronic typewriters
Pocket and desk calculators
And other products and equipment for the collection, storage, processing, presentation or communication of information by electronic means
User terminals and systems
Facsimile

Telex
Telephones
Pay telephones
Cordless telephones
Cellular telephones
Answering systems
And other products or equipment of transmitting sound, images or other information by telecommunications

4. Consumer equipment

Radio sets
Television sets
Video cameras
Video recorders
Hi-fi recorders
Audio amplifiers
Musical instruments
And other products or equipment for the purpose of recording or reproducing sound or image, including signals or other technologies for the distribution of sound and image than by telecommunications

5. Lighting equipment

Luminaries for fluorescent lamps with the exception of luminaries in households
Straight fluorescent lamps
Compact fluorescent lamps
High intensity discharge lamps, including pressure sodium lamps and metal lamps
Low pressure sodium lamps
Other lighting or equipment for the purpose of spreading or controlling light with the exception of filament bulbs

6. Electrical and electronic tools (with the exception large-scale stationary industrial tools)

Drills
Saws
Sewing machines
Equipment for turning, milling, sanding, grinding, sawing, cutting, shearing, drilling, making, holes, punching, folding, bending or similar processing of wood, metal and other materials
Tools for riveting, nailing or screwing or removing rivets, nails, screws or similar uses
Tools for welding, soldering or similar use
Equipment for spraying, spreading, dispersing or other treatment of liquid or gaseous substances by other means Tools for mowing or other gardening activities

7. Toys, leisure and sports equipment

Electric trains or car racing sets
Hand-held video game consoles
Video games
Computers for biking, diving, running, rowing, etc.
Sports equipment with electric or electronic components
Coin slot machines

8. Medical devices (with the exception of all implanted and infected products)

Radiotherapy equipment
Cardiology
Dialysis
Pulmonary ventilators
Nuclear medicine
Laboratory equipment for in-vitro diagnosis
Analysers
Freezers
Fertilization tests
Other appliances for detecting, preventing, monitoring, treating, alleviating illness, injury or disability

9. Monitoring and control instruments

Smoke detector
Heating regulators
Thermostats
Measuring, weighing or adjusting appliances for household or as laboratory equipment
Other monitoring and control instruments used in industrial installations (e.g. in control panels)

10. Automatic dispensers

Automatic dispensers for hot drinks
Automatic dispensers for hot or cold bottles or cans
Automatic dispensers for solid products
Automatic dispensers for money
All appliances which deliver automatically all kind of products

Canada

Canada's WEEE/ E-waste regulations are in the process of being developed at provincial level. Alberta, Saskatchewan, British Columbia, Ontario and Nova Scotia have WEEE/ E-waste regulations in lace.

The details of the regulations of each province are as follows:

E-waste definition in *Canada*

Canada's WEEE/ E-waste regulations are in the process of being developed at provincial level. Alberta, Saskatchewan, British Columbia, Ontario and Nova Scotia have WEEE/ E-waste regulations in lace. The WEEE/ E-waste definitions or statements as per these regulations are given below.

Alberta

Electronics Designation Regulation A.R.94/2004 published on May 12, 2004 enforced from October 1, 2004 as Appendix to Environmental Protection and Enhancement Act defines "Electronics" as all electrical and electronic equipment or devices, whether intended for consumers, industrial or commercial use, and includes, without limitation,

- Television
- Computers, laptops and notebooks, including CPUs, keyboards, mouse, cables and other components in the computer
- Computer monitors
- Computer printers, including printers that have scanning or fax capabilities, or both
- Scanners
- Audio and video playback and recording systems
- Telephones and fax machines
- Cell phones or other wireless devices and
- Electronic game equipment, but does not include electronics contained within and affixed to a motor vehicle

Electronics has been defined as designated material for the purpose of Part 9, Division 1 of the Act and the "Designated Material Recycling and Management Regulation". The term used instead of WEEE/E-waste is "Disposal of Electronics" under this regulation.

British Columbia

Schedule 3,"Electronic Product Category" was included in "British Columbia Recycling Regulation" dated October 7, 2004 as amended on February 16, 2006. The electronic product category consists of "Computers" that are designed for desktop use by an individual, for desktop use as a server or to be portable, except hand held devices, "Desktop Printers" and "Televisions". The electronic product category does not include computers and televisions that are part of or attached to vehicles, marine vessels or commercial or industrial equipment.

Computers include a computer monitor and computer peripheral. Computer peripheral means a keyboard, mouse or cable that attaches or is attached to a computer. Desktop printer means a printer that will print on paper not exceeding 8.5 inches in width but

does not include a label printer.

“British Columbia Stewardship Plan for End-of-Life Electronics”, a plan formulated in response to the above regulation defines WEEE/ E-waste as “End of Life” electronics where electronics means the electronic product category mentioned above.

Nova Scotia

“Solid Waste-Resource Management Regulations” made under Section 102 of the Environment Act as amended on February 22,2007 mentions “Electronic Products Stewardship Program” in Part II. “Electronic Product” means an electrical device or electronic equipment that is a designated material. “Designated Material” has been defined as materials listed in Column 1 of Schedule “B” and includes following electronic items.

- Televisions
- Desktop, laptop and notebook computers, including CPU’s, keyboards, mice, cables and other components in the computer
- Computer monitors
- Computer printers, including printers that have scanning or fax capabilities or both
- Computer scanners
- Audio and video playback and recording systems
- Telephones and fax machines
- Cell phones and other wireless devices

“Electronic Product Stewardship Program” means a program that establishes a process for collection, transportation, reuse and recycling of electronic products and, if no further options exist, the disposal of any residual electronic product components and incorporates the principles of a pollution prevention hierarchy by replacing disposal with reuse and recycling of electronic products.

Ontario

The Waste Electronic and Electrical Equipment (WEEE) regulation under the *Waste Diversion Act, 2002* (WDA) was filed on December 14, 2004. The regulation designates seven categories of electronic and electrical equipment as waste, and targets more than 200 items that could be designated, including computers, telephones, broadcast equipment, televisions and CD players, children's toys, power tools, lawn mowers and navigational and medical instruments. Products targeted under Ontario WEEE legislation are given in below.

Table : Products Designated under Ontario Legislation

Priority Categories	List of WEEE Products	
Household Appliances	• Air conditioners • Clothes dryers • Clothes washers • Dishwashing machines	• Freezers • Refrigerators • Stove
IT Equipment	• CD-ROM and disk drives • Computers (desktop, handheld, laptop, notebook, notepad) • Monitors (CRT, LCD, plasma)	• PDAs • Keyboard, mouse, terminals • Printers, copiers, typewriters
Telecommunications equipment	• Fax/telephone answering machine • Modems	• Pagers • Telephones (cell, cordless, wire)
Audio-Visual Equipment	• Sound equipment • Cameras	• Televisions • Video player, projector, recorder

Saskatchewan

"The Waste Electronic Equipment Regulations" filed on October 13, 2005 under The Environmental Management and Protection Act, 2002, defines WEEE/ E-waste as "waste electronic equipment", which means electronic equipment that the consumer no longer wants.

"Electronic Equipment" means any electronic equipment listed in Column 1 of Table 1 of these regulations. This table includes following electronic equipment

- Personal desktop computer, including the central processing unit and all other parts contained in the computer
- Personal notebook computer, including the central processing unit and all other parts contained in the computer
- Computer monitor, including cathode ray tube, liquid crystal display and plasma,
- Computer mouse, including cables
- Computer printer including dot matrix; ink jet; laser; thermal and computer printer with scanning or facsimile capabilities or both
- Television (cathode ray tube, liquid crystal display, plasma and rear projection)

Japan

There is no specific definition of WEEE/ E-waste as defined in the regulatory system.

E-waste is covered under laws to promote recycling within Japan. The two major laws covering broad range of E-waste items are “The Law for Recycling of Specified Kinds of Home Appliances (Home Appliances Recycling Law)” enacted in 1998 and “The Law for Promotion of the Effective Utilization of Resources” enacted in 2000.

In “The Law for Recycling of Specified Kinds of Home Appliances (Home Appliances Recycling Law)”, E-waste is referred as ”Used Consumer Electric Goods Discarded by Consumers”. This law covers TVs, Refrigerators, Washing Machines and Air Conditioners.

In “The Law for Promotion of the Effective Utilization of Resources”, E-waste is covered under “Used goods and by-products” which have been generated and their large part is discarded. This law covers personal computers (home and office) and other electronic items. According to this law “Used goods” means any articles that are collected, used or unused, or is disposed of (except radioactive materials or those contaminated thereby). “By-product” means any articles obtained secondarily in the process of manufacturing, processing, repair or sale of the product; in the process of supply of energy; or in the process of construction pertaining to architecture and civil engineering (hereinafter referred to as “construction work”) except radioactive materials or those contaminated thereby.

USA

According to USEPA, Electronic products that are “near” or at the “end of their useful life” are referred to as “e-waste” or “e-scrap.” Recyclers prefer the term “e-scrap” since “waste” refers only to what is left after the product has been reused, recovered or recycled. However, “E-waste” is the most commonly used term.

In developed countries, currently, it equals 1% of total solid waste generation and is expected to grow to 2% by 2010. In USA, it accounts 1% to 3% of the total municipal waste generation. In EU, historically, e-waste is growing three times faster than average annual municipal solid waste generation. A recent source estimates that total amount of e-waste generation in EU ranges from 5 to 7 million tonnes per annum or about 14 to 15 kg per capita and is expected to grow at a rate of 3% to 5% per year. In developing countries, it ranges 0.01% to 1% of the total municipal solid waste generation. In China and India, though annual generation per capita is less than 1 kg, it is growing at an exponential pace.

Annexure - II

HAZARDOUS SUBSTANCES THAT CAN OCCUR IN E-WASTE

S.No.	Hazardous Substance	Use	Risk	Regulatory requirements with threshold quantities
1.	Short Chain Chloro Paraffins, Alkanes, C_{10}-$_{13}$	Amounts less than 1% by weight of SCCP are present in mid chain chlorinated paraffin's (MCCP). Used as secondary plasticizer and flame retardant for PVC and chlorinated rubber in cable insulation	Very toxic to aquatic organisms. It may cause long term effects in the aquatic environment.	Halogenated Aliphatic Compounds Covered under schedule 2, B11 >=0.5%
2.	Antimony trioxide	The major use is as a flame retardant synergist in plastics etc. It increases the flame retardant effectiveness of halogenated flame retardant compounds thereby minimizing their level.	Limited evidence of a carcinogenic effect	Antimony and antimony compounds Covered under Schedule 2 as A1 >=0.005%
3	Beryllium metal	Chassis, rotating mirrors in laser printers; windows for X-ray generators and detectors for research and medical purposes. Benefits of use include: Low density; high stiffness; high specific heat and lightweight rigidity for precision instrumentation.	Very toxic on inhalation. It may cause cancer by inhalation. Beryllium component scrap is classified as non-hazardous in the OECD, Basel and EU regime. However, it is recommended that beryllium metal components should be segregated from equipment at end-of-life and returned to the supplier for recycling.	Beryllium and cadmium compounds Covered under Schedule 2 as A3 >=0.005%
4	Beryllium oxide (Beryllia)	Used in heat sink electrical insulators for electrical and electronic systems and devices. It has the benefits of very high thermal conductivity; very high electrical resistivity; low dielectric constant; low loss factor; high breakdown voltage; and chemically inert. Beryllium ceramic components should be separated from equipment at end-of-life and returned to the supplier for recycling. Beryllia components should not be passed through crushing and shredding operations without proper controls, due to the risk of dust generation. Beryllia ceramic component scrap is classified as non-hazardous in the OECD, Basel and EU Waste control Systems.	Very toxic by inhalation. It may cause cancer by inhalation	Beryllium and cadmium compounds Covered under Schedule 2 as A3 >=0.005%

S.No.	Hazardous Substance	Use	Risk	Regulatory requirements with threshold quantities
4	Beryllium oxide (Beryllia)	Used in heat sink electrical insulators for electrical and electronic systems and devices.. Beryllium ceramic components should be separated from equipment at end-of-life and returned to the supplier for recycling. Beryllia components should not be passed through crushing and shredding operations without proper controls, due to the risk of dust generation. Beryllia ceramic component scrap is classified as non-hazardous in the OECD, Basel and EU Waste control Systems.	Very toxic by inhalation. It may cause cancer by inhalation	Beryllium and cadmium compounds Covered under Schedule 2 as A3 >=0.005%
5	Cadmium	Cadmium metal or powder may be used as part of the negative electrode material in nickel-cadmium (NiCd) batteries, as an electrodeposited, vacuum deposited or mechanically deposited coating on iron, steel, aluminium-base materials, titanium-base alloys or other non-ferrous alloys, and as an alloying element in low-melting brazing, soldering and other specialty alloys.	Very toxic by inhalation. It may cause cancer. Harmful to aquatic organisms	Cadmium and Beryllium compounds Covered under Schedule 2 as A4 >=0.005%
6	Cadmium oxide	Cadmium oxide is utilized most often as part of the negative cadmium electrode in nickel-cadmium and some silver-cadmium military batteries. Cadmium oxide is also part of silver-cadmium oxide (ag-CdO) electrical contact alloys.	May cause cancer by inhalation. Toxic by inhalation. Toxic if swallowed. Danger of serious damage to health by prolonged exposure Harmful if swallowed	Cadmium and Beryllium compounds Covered under Schedule 2 as A4 >=0.005%

S.No.	Hazardous Substance	Use	Risk	Regulatory requirements with threshold quantities
7	Cadmium sulphide	Cadmium sulphide serves as the basis compound for a series of pigments and semiconducting compounds with a wide range of uses. Apart from it use in red, orange and yellow pigments for plastics, glasses, ceramics, enamels and artists colours, cadmium sulphide is also used for phosphors in x-ray fluorescent screens, cathode ray tubes and electronic devices; smoke alarm photoreceptors; photographic exposure meters; and photovoltaic energy conversion systems.	Limited evidence of a carcinogenic effect Toxic by inhalation. Toxic if swallowed. Danger of serous damage to health by prolonged exposure Harmful if swallowed. It may cause long term effects in the aquatic environment.	Cadmium and Beryllium compounds Covered under Schedule 2 as A4 >=0.005%
8	Chromium VI	Used as colorant in pigments (e.g. lead chromate) and as corrosion inhibitor (sodium dichromate) in circulating water systems e.g. absorption heat pumps and (industrial) heat exchangers in freezers and refrigerators. Chromium (VI) has historically has been used by the electronics industry as an anti-corrosion treatment, as well as an electrical shielding material for certain sheet metals[29].	Toxic if swallowed/very very toxic by inhalation. It may cause heritable genetic damage. It may cause cancer by inhalation. Very toxic to aquatic organisms and may cause long term effects in the aquatic environment.	Chromium (VI) compounds Covered under Schedule 2 as A5 >=0.005%
9	Copper beryllium alloys	Used in electrical connector terminations; switch components; relay springs; electromagnetic radiation seals.	Components in end-of-life electrical equipment can be recycled as part of the general copper recycle stream. There is generally no need for component extraction prior to equipment recycling. Toxic by inhalation	Beryllium and Beryllium compounds covered under Schedule 2 as A3 >=0.005%

S.No.	Name	Usage	Substance Risk	Regulatory requirements with threshold quantities
10	Decabromodiphenylether (DBDE)	Used as a flame retardant in electrical and electronic plastics.	Potential for forming brominated dibenzodioxins or furans (PBDD/F) in uncontrolled thermal processes, and possibility that higher PBDEs could debrominate to form the tetra and penta BDEs found in marine environment food chain	Halogenated Compounds of Aromatic Rings covered under Schedule 2 as A16 >=0.005%
11	Lead	Used in batteries, solders, alloying element for machining metals, printed circuit boards, components, incandescent light bulbs, and weighting	Processing of metallic lead may give rise to lead compounds, which are all, classified as dangerous substances. The land filling of WEEE has given rise concerns over possible leaching of lead into the environment.	Lead and Lead compounds covered under Schedule 2 as B4 >=0.5%
12	Lead oxide	Occurs in leaded glass in cathode ray tubes, light bulbs and photocopier pastes. Lead oxide is also used in batteries.	May cause harm to the unborn child Harmful by inhalation/harmful if swallowed	Lead and Lead compounds covered under Schedule 2 as B4 >=0.5%

S.No.	Name	Usage	Substance Risk	Regulatory requirements with threshold quantities
13	Liquid Crystals: Commercially available liquid crystals (LC) are mixtures of 10 to 20 substances, which belong to the group of substituted phenycyclohexanes, alkylbenzenes and cyclohexylbenzens. The chemical substances contain oxygen, fluorine, hydrogen and carbon. About 250 chemical substances are used for formulating more than thousand marketed liquid crystals.	Liquid crystal mixture are used as electroactive layer in liquid crystal display (LCD). Today LCDs are a widely used components in electric and electronic (E&E) products as i.e. mobile phones, notebooks, automotive displays, electronic games, PC monitors, etc.	Press articles claiming that LCDs contain carcinogenic azo-dyes. More current articles talk about hazardous ingredients. Toxicological studies on a large number of single liquid crystals have been performed according to OECD Guidelines and EU regulation. SO far no indications of carcinogenic potential and acute oral toxicity have been found.	Not covered under schedule 1 and 2
14	Mercury	It is estimated that 22 % of the yearly world consumption of mercury is used in electrical and electronic equipment. It is basically used in thermostats, (position) sensors, relays and switches (e.g. on printed circuit boards and in measuring equipment) and discharge lamps. It is used in data transmission, telecommunications, mobile phones batteries, and certain lightsources[30].	Very toxic to aquatic organisms and may cause long term effects in the aquatic environment. Effects in humans are mainly affecting the central nervous system effects (CNS) as well as the kidney. Toxic by inhalation	Mercury and mercury compounds covered under Schedule 2 as A6 >=0.005%
15	Mineral Wool: [Man-made vitreous (silicate) fibers with random orientation with alkaline oxide and alkali earth oxide ($Na_2O+K_2O+CaO+MgO+BaO$) content greater than 18 % by weight]		Limited evidence of carcinogenic effect Irrigating to the skin	Not covered under schedule 1 and 2

S.No.	Name	Usage	Substance Risk	Regulatory requirements with threshold quantities
16	Octabromodiphenylether (OBDE)	Flame retardant in plastics used for electrical and electronic equipment	Possible risk of harm to the unborn child	Halogenated Compounds of Aromatic Rings covered under Schedule 2 as A16 >=0.005%
17	Polychlorobiphenyls : The level of 50 mg/kg (0.005%) should be the defining threshold concentration for wastes containing PCBs and PCTs: above that concentration such waste should be considered as hazardous.	PCBs were extensively used in electrical equipment such as capacitors and transformers. Small capacitors include motor start capacitors and ballast capacitors. Motor start capacitors are used with single phase motors to provide starting torque; these capacitors can be found also in household electrical appliances including refrigerators, cookers, washing machines, air-conditioners, dishwashers. Ballast capacitors are found within fluorescent, mercury, and sodium lighting fixtures, and neon lights; they weight up to 1.6 kg, of which 0.05 kg are PCBs (USEPA, 1987)[33].	Very toxic to aquatic organisms and may cause long term effects in the aquatic environment	Halogenated Compounds of Aromatic Rings covered under Schedule 2 as A16 >=0.005%
18	Polyvinyl chloride (PVC)		As with any material containing chlorine, potential for forming dioxins and furans in case of uncontrolled burning. Liberation of HCL gas during combustion. Recent health/ environmental concerns have been raised about some additives used in PVC processing i.e. • Heavy metals used as stabilizers Phthalate plasticizers, although these have been used for more than 40 years without any measurable impact on health and environment.	Halogenated Aliphatic Compounds covered under Schedule 2 as B11 >=0.5%

S.No.	Name	Usage	Substance Risk	Regulatory requirements with threshold quantities
19	Refractory Ceramic Fibers: [Man-made vitreous (silicate) fibers with random orientation with alkaline oxide and alkali earth oxide ($Na_2O+K_2O+CaO+MgO+BaO$) content less or equal to 18 % by weight]		May cause cancer by inhalation. Irritating to the skin	Not covered under schedule 1 and 2
20	Tetrabromobisphenol-A (TBBPA): TBBPA is the largest volume brominated flame retardant in production today. It is used as a reactive (primary use) or additive flame retardant in polymers, such as ABS, epoxy and poly-carbonate resins, high impact polystyrene (HIPS), phenolic resins, adhesives and others. Its main use in E&E equipment is as a reactive flame retardant in printed writing boards.		• Perception of potential to form brominated dioxins/furans in thermal processes. • Perception of potential for endrocrine modulating effects (hormone disrupter). • The whole substances group of BFRs is listed in general on the Danish list of “unwanted substances”	Halogenated Compounds of aromatic rings covered under Schedule 2 as A16 >=.005%

Annexure - III

Average weight and composition of selected appliances (typical)

Appliances	Average weight (kg)	Fe % weight	Non Fe-metal % weight	Glass % weight	Plastic % weight	Electronic components % weight	Others % weight
Refrigerators and freezers	48	64.4	6	1.4	13		15.1
Personal computer	29.6	53.3	8.4	15	23.3	17.3	0.7
TV sets	36.2	5.3	5.4	62	22.9	0.9	3.5

Annexure - IV

Recoverable quantity of elements in a PC (typical)

Elements	Content (% of total weight)	Content (kg)	Recycling efficiency (%)	Recoverable weight of element (kg)
Plastics	23	6.25	20%	1.25069408
Lead	6	1.71	5%	0.08566368
Aluminum	14	3.85	80%	3.08389248
Germanium	0.0016	0.00	0%	0
Gallium	0.0013	0.00	0%	0
Iron	20	5.57	80%	4.45453312
Tin	1	0.27	70%	0.19188512
Copper	7	1.88	90%	1.69614576
Barium	0.0315	0.01	0%	0
Nickel	0.8503	0.23	0%	0
Zinc	2	0.60	60%	0.35979072
Tanialum	0.0157	0.00	0%	0
Indium	0.0016	0.00	60%	0.00026112
Vanadium	0.0002	0.00	0%	0
Terbium	0	0.00	0%	0
Beryllium	0.0157	0.00	0%	0
Gold	0.0016	0.00	99%	0.000430848
Europium	0.0002	0.00	0%	0
Tritium	0.0157	0.00	0%	0
Ruthenium	0.0016	0.00	80%	0.00034816
Cobalt	0.0157	0.00	85%	0.00362984
Palladium	0.0003	0.00	95%	0.00007752
Manganese	0.0315	0.01	0%	0
Silver	0.0189	0.01	98%	0.005037984
Antinomy	0.0094	0.00	0%	0
Bismuth	0.0063	0.00	0%	0
Chromium	0.0063	0.00	0%	0
Cadmium	0.0094	0.00	0%	0
Selenium	0.0016	0.00	70%	0.00030464
Niobium	0.0002	0.00	0%	0
Yttrium	0.0002	0.00	0%	0
Rhodium	0	0.00	50%	0
Mercury	0.0022	0.00	0%	0
Arsenic	0.0013	0.00	0%	0
Silica	24.8803	6.77	0%	0

Annexure - V

Recoverable quantity of elements in a TV (typical)

Elements	%	PPM	Recoverable Weight of element (kg)
Aluminum	1.2		0.4344
Copper	3.4		1.2308
Lead	0.2		0.0724
Zinc	0.3		0.1086
Nickel	0.038		0.013756
Iron	12		4.344
Plastic	26		9.412
Glass	53		19.186
Silver		20	0.000724
Gold		10	0.000362

Annexure-VI

Materials recovered from refrigerators (typical)

Material Type	**%**
CFCs	0.20
Oil	0.32
Ferrous Metals	46.61
Non-Ferrous Metals	4.97
Plastics	13.84
Compressors	23.80
Cables/Plugs	0.55
Spent PurFoam	7.60
Glass	0.81
Mixed Waste	1.30
Total	**100.00**

Annexure - VII

Comparison of thresholds

S.No	Name	Substance Risk	Threshold as per Indian Regulation		Threshold as followed in Europe
1.	Short Chain Chloro Paraffins, Alkanes, C_{10}-13	Very toxic to aquatic organisms. It may cause long term effects in the aquatic environment.	>=0.5%	Covered under schedule 2 as B11 Halogenated Aliphatic Compounds	>=25%
2.	Antimony trioxide	Limited evidence of a carcinogenic effect	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A1 Antimony and antimony compounds	>=1%
3	Beryllium metal	Beryllium component scrap is classified as non-hazardous in the OECD, Basel and EU Waste Control Systems. However, it is recommended that beryllium metal components should be segregated from equipment at end-of-life and returned to the supplier for recycling. Very toxic by inhalation. It may cause cancer by inhalation.	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A3 Beryllium and cadmium compounds	>=0.1%
4	Beryllium oxide (Beryllia)	Very toxic by inhalation. It may cause cancer by inhalation	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A3 Beryllium and cadmium compounds	>=0.1%
5	Cadmium	Very toxic by inhalation. It may cause cancer. Harmful to aquatic organisms	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A4 cadmium and Beryllium compounds	>=0.1% to 25% Depending on risk phrase or perception
6	Cadmium oxide	May cause cancer by inhalation. Toxic by inhalation. Toxic if swallowed. Danger of serious damage to health by prolonged exposure Harmful if swallowed	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A4 cadmium and Beryllium compounds	>=0.1% to 25% Depending on risk phrase or perception

7	Cadmium sulphide	Limited evidence of a carcinogenic effect Toxic by inhalation. Toxic if swallowed. Danger of serous damage to health by prolonged exposure Harmful if swallowed. It may cause long term effects in the aquatic environment.	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A4 cadmium and Beryllium compounds	>=1% to 25% Depending on risk phrase or perception
8	Chromium VI	Toxic if swallowed/very very toxic by inhalation. It may cause heritable genetic damage. It may cause cancer by inhalation. Very toxic to aquatic organisms and may cause long term effects in the aquatic environment.	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A5 Chromium (VI) compounds	>=0.1% to 0.25% Depending on risk phrase or perception
9	Copper beryllium alloys	Components in end-of-life electrical equipment can be recycled as part of the general copper recycle stream. There is generally no need for component extraction prior to equipment recycling. Toxic by inhalation	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A3 Beryllium and Beryllium compounds	>=0.1% to 3% Depending on risk phrase or perception
10	Decabromodiphenylether (DBDE)	Potential for forming brominated dibenzodioxins or furans (PBDD/F) in uncontrolled thermal processes, and possibility that higher PBDEs could debrominate to form the tetra and penta BDEs found in marine environment food chain	>=0.005%	Covered under Schedule 2 as A16 Halogenated Compounds of Aromatic Rings	Threshold is not mentioned as risk assessment studies are ongoing
11	Lead	Processing of metallic lead may give rise to lead compounds, which are all, classified as dangerous substances. The land filling of WEEE has given rise concerns over possible leaching of lead into the environment.	>=0.5%	Schedule 2 as B4 Lead and Lead compounds	Threshold limit not mentioned
12	Lead oxide	May cause harm to the unborn child Harmful by inhalation/harmful if swallowed	>=0.5%	Cover under Schedule 2 as B4 Lead and Lead compounds	>=0.5% to >=25%

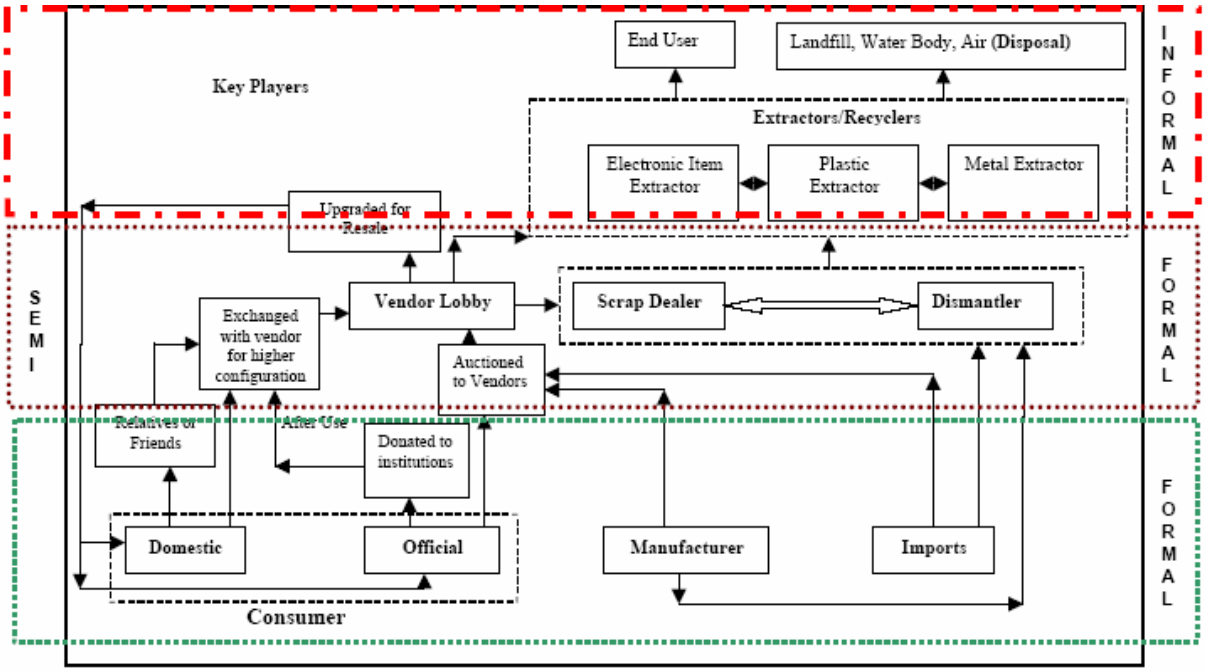
13	Liquid Crystals: Commercially available liquid crystals (LC) are mixtures of 10 to 20 substances, which belong to the group of substituted phenycyclohexanes , alkylbenzenes and cyclohexylbenzens. The chemical substances contain oxygen, fluorine, hydrogen and carbon. About 250 chemical substances are used for formulating more than thousand marketed liquid crystals.	Press articles claiming that LCDs contain carcinogenic azo-dyes. More current articles talk about hazardous ingredients. Toxicological studies on a large number of single liquid crystals have been performed according to OECD Guidelines and EU regulation. SO far no indications of carcinogenic potential and acute oral toxicity have been found.		Not covered under schedule 1 and 2	Threshold limit not mentioned
14	Mercury	Very toxic to aquatic organisms and may cause long term effects in the aquatic environment. Effects in humans are mainly affecting the central nervous system effects (CNS) as well as the kidney. Toxic by inhalation	>=0.005%	Cover under Schedule 2 as A6 Mercury and mercury compounds	>=3% to >=0.25%
15	Mineral Wool: [Man-made vitreous (silicate) fibers with random orientation with alkaline oxide and alkali earth oxide ($Na_2O+K_2O+CaO+MgO+BaO$) content greater than 18 % by weight]	Limited evidence of carcinogenic effect Irrigating to the skin		Not covered under schedule 1 and 2	>=1% to >=20%
16	Octabromodiphenyl ether (OBDE)	Possible risk of harm to the unborn child	>=0.005%	Cover under Schedule 2 as A16 Halogenated Compounds of Aromatic Rings	>=5%

17	Polychlorobiphenyls : The level of 50 mg/kg (0.005%) should be the defining threshold concentration for wastes containing PCBs and PCTs: above that concentration such waste should be considered as hazardous.	Very toxic to aquatic organisms and may cause long term effects in the aquatic environment	>=0.005%	Cover under Schedule 2 as A16 Halogenated Compounds of Aromatic Rings	>=0.25%
18	Polyvinyl chloride (PVC)	As with any material containing chlorine, potential for forming dioxins and furans in case of uncontrolled burning. Liberation of HCL gas during combustion. Recent health/environmental concerns have been raised about some additives used in PVC processing i.e. • Heavy metals used as stabilizers • Phthalate plasticizers, although these have been used for more than 40 years without any measurable impact on health and environment.	>=0.5%	Cover under Schedule 2 as B11 Halogenated Aliphatic Compounds	
19	Refractory Ceramic Fibers: [Man-made vitreous (silicate) fibers with random orientation with alkaline oxide and alkali earth oxide ($Na_2O+K_2O+CaO+MgO+BaO$) content less or equal to 18 % by weight]	May cause cancer by inhalation. Irritating to the skin		Not covered under schedule 1 and 2	>=0.1% to >=20%

20	Tetrabromobisphenol-A (TBBPA): TBBPA is the largest volume brominated flame retardant in production today. It is used as a reactive (primary use) or additive flame retardant in polymers, such as ABS, epoxy and poly-carbonate resins, high impact polystyrene (HIPS), phenollic resins, adhesives and others. Its main use in E&E equipment is as a reactive flame retardant in printed writing boards.	• Perception of potential to form brominated dioxins/furans in thermal processes. • Perception of potential for endrocrine modulating effects (hormone disrupter). • The whole substances group of BFRs is listed in general on the Danish list of "unwanted substances"	>=.005%	Cover under Schedule 2 as A16 Halogenated Compounds of aromatic rings,	Not mentioned

Annexure - VIII

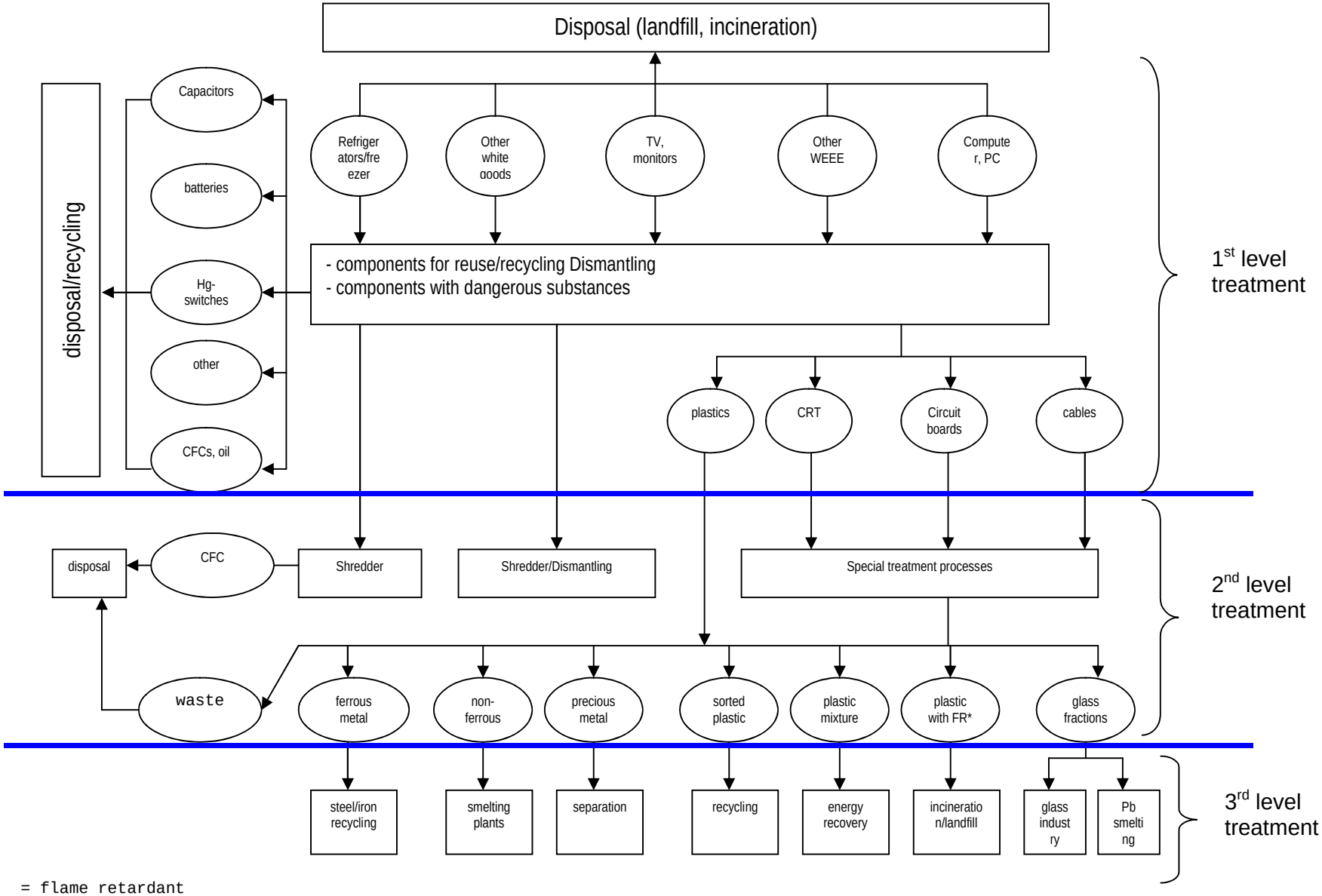
E-waste trade value chain



Source: Presentation of Delhi study, CPCB/ MoEF, March 2004

Annexure - IX

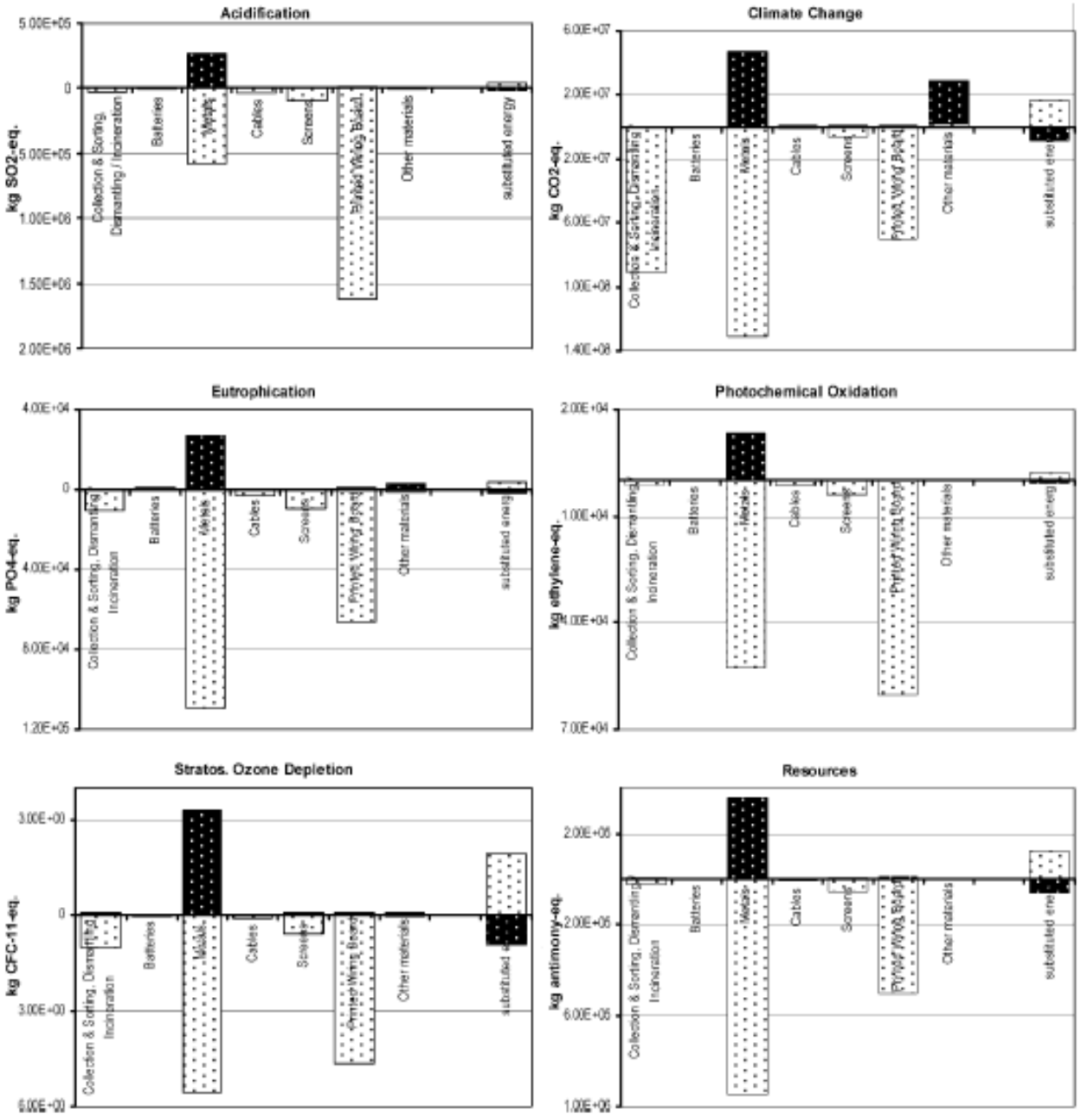
Environmentally Sound Treatment (EST) schemes for E-waste



* FR = flame retardant
CFC = chlorofluorocarbon

Annexure - X

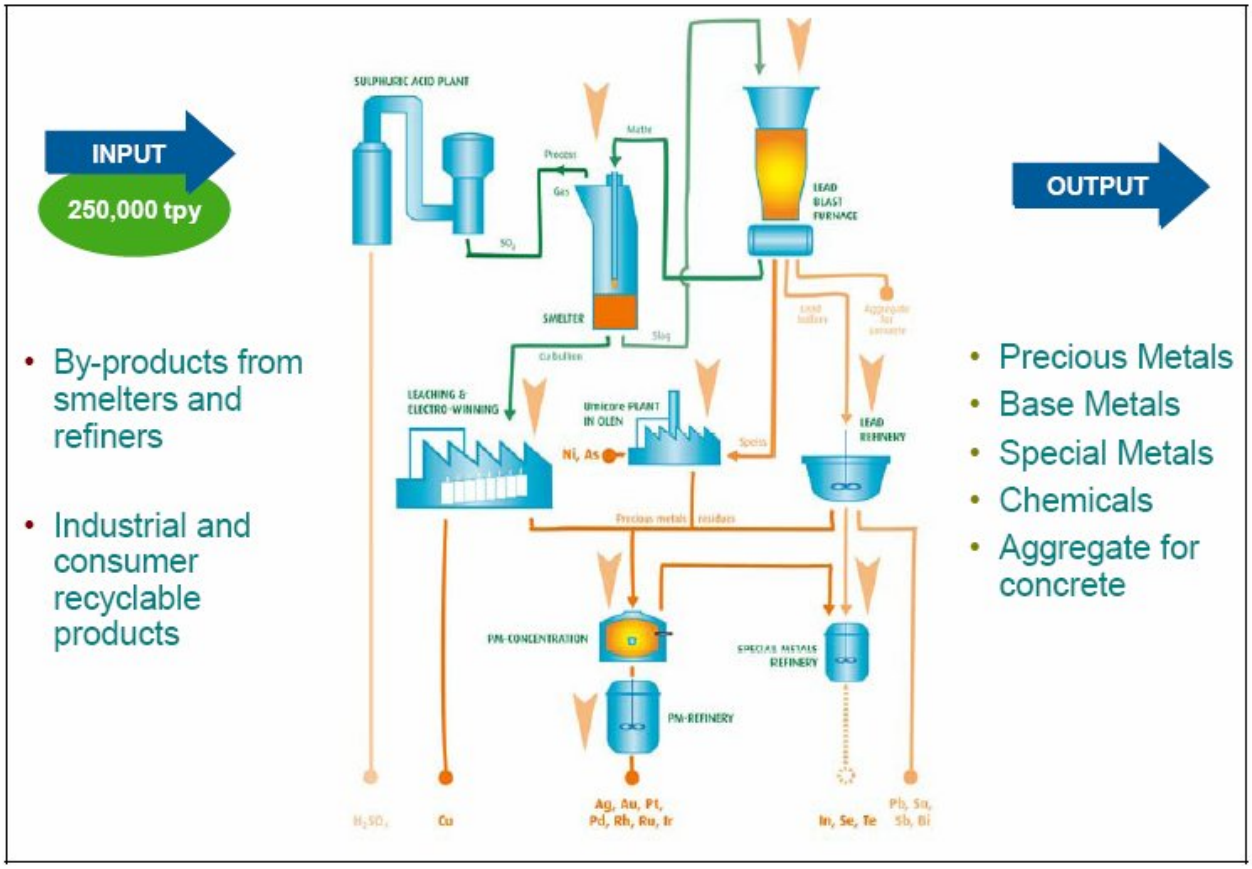
Environmental impacts of the WEEE recycling system, i.e. collection, sorting and further treatment (dark bars), compared with the avoided environmental impacts of the WEEE incineration and the primary production of the raw materials (bright bars)



Source: R.Hishier et al. Does WEEE recycling make sense from an environmental perspective? The environmental impacts of the Swiss take-back and recycling systems for waste electrical and electronic equipment (WEEE), Environmental Impact Assessment Review 25 92005) 525-539

Annexure - XI

PROCESS FLOW DIAGRAM OF AN INTEGRATED FACILITY



Source: Recycling of electronic scrap at Umicore's integrated metals smelter and refinery, Proceedings of EMC 2005

The salient features of this operation are given below.

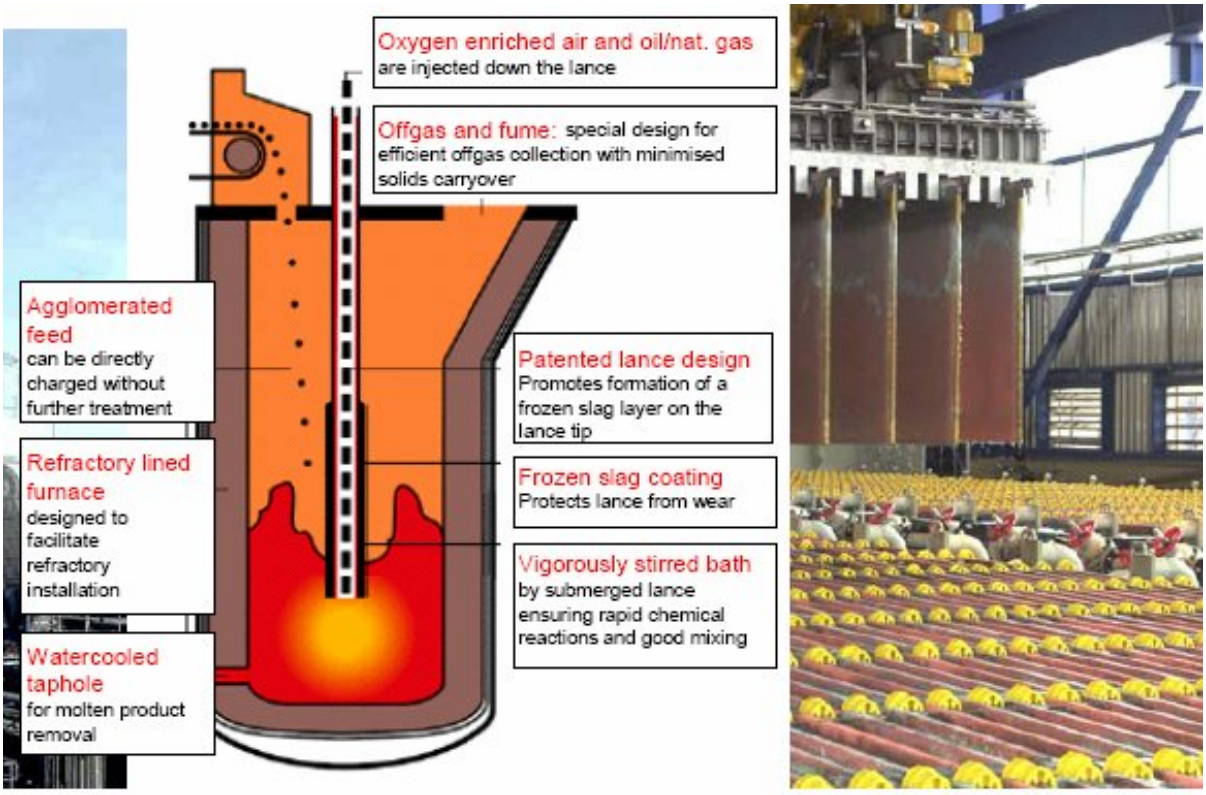
1. The integrated operations are based on two major processes, which are precious metal operations (PMO) involving recovery of gold, silver, platinum, palladium, rhodium, iridium and ruthenium and base metal operations (BMO) involving recovery of Pb, Cu, Ni, Sb, Sn, Bi, Se, In, Te, As.

2. The processes are based on complex lead/ copper/ nickel metallurgy, using these base metals as collectors for precious metals and special metals, such as Sb, Bi, Sn, Se, Te, In.

3. At first at the sampling facility, circuit boards and other E-waste residues after second level of treatment are prepared for smelting by sampling and assaying for precious metal content.

4. The PMO include smelter, copper leaching & electro winning plant and precious metals refinery. The smelter furnace uses submerged lance combustion technology as shown in figure given below. The technology involves injection of oxygen-enriched air and fuel in a molten bath and addition of coke as a reducing agent for the metals. Plastics or other organic substances that are contained in the input feed partially substitute the coke and fuel as energy source. The smelter separates precious metals in copper bullion from all other metals concentrated in a lead slag.

Figure : Smelting and Electro winning during PMO in an integrated plant



Source: Recycling of electronic scrap at Umicore's integrated metals smelter and refinery, Proceedings of EMC 2005

5. After leaching out copper in leaching and copper electro winning plant, the precious metals are collected in a residue that is further refined at a precious metal in-house refinery.

6. The BMO include lead recovery from lead slag obtained from PMO. The main steps in BMO are the lead blast furnace, lead refinery and special metal plants.

7. The lead blast furnace reduces the oxidized lead slag from the smelter together with other high lead containing raw materials and transforms them into impure lead bullion, nickel speiss, copper matte and deleted slag.

8. The impure lead bullion, collecting most of the non-precious metals is treated in lead refinery. The lead refinery leads to production of lead and sodium antimonite and special metals residues. These residues are further refined into special metals refinery to produce indium, selenium and tellurium.

9. Bismuth and tin intermediates and nickel speiss are sent to other locations for their recovery. Copper matte is fed into blast furnace used in PMO.

10. The by-products from the integrated facility include sulfuric acid, gas, waste water and slag from lead blast furnace. Sulfuric acid is further used, while, waste water, gas are cleaned before discharge while slag is physically calibrated for usage in concrete industry or as dyke fortification substance.

11. Air is cleaned using bag house filter, electroflters and scrubbers before discharging into stack. SO_2 and NO_x are continuously monitored at stack, while diffuse emissions are from stockyards and roads are controlled by intensive sprinkling. Other measures to control air pollution include dust free emptying of shipped drums/ big bags, dust free sampling procedures, storage of critical materials in containers inside a warehouse, emptying of the containers under aspiration and transport in covered belt system.

12. Water pollution is controlled by using waste water treatment plant where acids are neutralized while metals, sulphates and fluorine are removed by physico-chemical processes. Some of the major parameters in addition to basic water quality parameters, which are monitored, are lead, zinc, copper, nitrates and nitrites and sulphates.

Appendix - 1

REFERENCES :

1. Compendium on National WEEE Legislation, United Nations University, United Nations Environment Program, 2006.
2. Implementation of the Waste Electrical and Electronic Equipment Directive in the EU, European Commission, Directorate General, Joint Research Centre, IPTS, 2006.
3. Information Technology (IT) and Telecommunication (Telecom) Waste in Canada – 2003, Final Draft, Updated, Environment Canada, 2003.
4. IRGSSA (2004) Management, handling and practices of E-waste recycling in Delhi. IRGSSA, India.
5. WEEE Directive (EU, 2002a).

LIST OF WEBSITES :

1. *www.usepa.gov/epaoswer/hazwaste/recycle/ecycling/index.htm*
2. *www.defra.gov.uk/environment/waste/index.htm*
3. *www.ec.gc.ca*
4. *www.environment.gov.au*
5. *http://ec.europa.eu/environment/waste/weee/index_en.htm*
6. *www.ewasteguide.info*
7. *www.basel.int*
8. *www.unep.org*
9. *http://www.unep.ch/ozone/index.shtml*
10. *www.cpcb.nic.in/Hazardous%20Waste/default_Hazardous_Waste.html*
11. *http://www.basel.int/industry/mppiwp/guid-info/index.html*

写真集

スクラップマーケットの様子

スクラップマーケットの様子

学校ルート


green gene
PARTICIPATION
AWARD
SHARDAYATAN HIGH SCHOOL
Inter-School Domestic Hazardous Waste
Collection Competition,
January 17th to 22nd 2011.
Organised by
GEPIL